

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/1(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)昨日はトラブル等発生し、被ばく関係も発生してお騒がせした。後ほどの説明としては、水処理関係のアレバ対応について本日までの調査状況について説明したい。海は荒れており、ダスト関係や海廻り作業について日曜くらいまで延期し、計画の練り直しとなっている。また台風対策については各部において、パトロールを行うなど固縛等の台風対策を行っているところ。3号機についてはCS系からの注水を1m3で本日14時半くらいから行っており、いまのところパラメータ等の変化は見られないが状況を監視しているところ。

(1F 吉田)天気は朝若干雨が降ったが他は問題ない。本日は熱中症等なかった。
(1F 発電班)1号機は3.8m3で注水中。3号機はCS系注水に併せて15:20に3.5→3.8m3に変更している。パラメータはRPV底部ヘッドは88℃、SFPが30℃、D/W圧力が24kPagで安定。2号機については3.6m3で炉注中。RPV底部ヘッドが113℃、SFPが35℃、D/W圧力が15kPga安定中。3号機は14:58にCS系からの注水が1m3になったが、現在FDWが6.8m3でCS系が1.8m3となっていて、全体の流量が8m3を超えているので今後調整する。RPV底部ヘッドが109.9℃で、調整後様子を見る。SFPは33℃、D/W圧力が0.2kPagで変化なし。4号機41℃で安定。56号機も冷温停止中で変化なし。

(1F1～4復旧班)本日SFP注水実施。4号機でヒドラジン約2t注水。2号機はプロセス建屋に移送継続、3号機もHTI建屋に移送継続中。水位は2号機でTBで16mm下降、トレンチで18mm下降。3号機TBで4mmトレンチで6mm下降、4号機で9mm下降。受け入れ側集中ラド、プロセス建屋で39mm下降、OP4883mm。HTIで154mm上昇で、OP2841mm。本日、サリーのベッセル交換のため7時間ほど停止してため。サリーは16:04に稼働しているのでまた下降傾向になる。アレバのアクチフローをバイパスする以外は順調。56号機、本日はメガフロートの移送なし、仮設タンクへの移送は10～16時予定どおり実施。明日は移送共になし。明日の台風状況によるが、6号機のRHR(C)の電動機のつり込みをおこなう。台風の影響によるが来週当該ポンプを起動予定。

(1F 土木班)台風の状況によるがG,Hエアータンク計画設置中。無人ガラ撤去は12号機の4縁盤廻り、継続実施。海関係は台風接近により休工。

(1F 建築班)台風の状況によるが、1号Rxカバーリング工事は本日鉄骨部材の班入実施 明日は鉄骨の建て方を実施。34号Rx建屋上部のガラ撤去の準備工事は引き続き周辺の路盤整備実施する。スラッジ設備も継続して鉄筋の組み立ておよびPC搬入据え付けを行う。本日より夜間作業として大型ダンプによるガラの運搬作業を実施する。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化C)水処理Tより、超高速沈殿装置アクチフローの漏えいの状況について。現在バイパスして運転は継続している。昨日14:12に監視カメラによりリーク確認。その後アクチフローをバイパスして継続処理を実施している。17:25にリーク停止を確認、保有水は全部ブローしている。18時から現場調査を実施。確認した結果、スラッジ移送ポンプ(B)のケーシングに穴が空いていることを確認。雰囲気線量は高く15mSv/h ほど、漏えい水をスラッジ部分が高く15mSv/hで、約1.3m³の漏えい。スラッジ移送ポンプ(B)は鋳鉄製のケーシングにゴムライニングが付いている一般的なもの。写真によれば水がまだ滴っている状態で、底部フランジ部に約5mm程度の穴が空いていた。今のところまだモノを調べる状況には至っていません。15mS/h程あるので、腐食といったことや鋳物ということで、添加物の状況、また雰囲気環境などといったことも勘案して現場調査を実施していきたい。水処理はアクチフローをバイパスしているが、運転、水処理は継続しており、Cs134、137で7.5~8.8Bq/cc程度でそのまま処理が出来ている状況。前段のマルチフローという装置で沈殿させているので、後段側の能力を前段側が補うことができる。1日2回ほど当面は確認しながら行きたい。今後は作業性を考慮して詳細調査を行う。またB系ポンプを隔離しているがA系ポンプが使えるので、こちらの方を復旧させるなり対応したい。

(広報班)午前中レクは11:00~12:15。代替冷却設備のフレキシブルホースの原因と対策。昨日のベッセル作業で水がかかってしまった件、発生が9:53で報告が19:30以降なり、本日再度略図を用いて11時に説明している。3点目は環境影響評価について、主な変更点は、大半が検出限界未満でこちらの合理化、また検出がされている海底土の充実化、敷地外の降下物の測定を行うことなどを一覽に纏めて報告している。質問は水がかぶった作業について集中している。作業内容や詳しい位置関係、時系列や原因関係、時間が掛かった理由など。本日午後の会見は18時より実施中。

(官庁連絡班)昨日あったベッセル交換中の計画線量越えについて、NISA 森山審議官より本日12:55に以下2点指示を受けている。

①作業において想定外の過剰被ばくや内部取り込みがあった場合には NISA への迅速な情報共有、②15条通報用紙を用いた報告を行っていくこと。情報班、広報班、官庁連絡班で、1F、2F、安定化センターと相談し具体的な運用を定めて、一両日中に運用を開始したい。

(安定化C小森)内部取り込みや過剰被ばくについて、作業が終わってから判明することもあるので、状況が分かるようにしておく管理方式、連絡が付くようにするなど、安定化センターでの反省点として意識併せを良く行わせて頂きたい。時間が遅れることによる反響はよく意識して対応していくこととしたい。

(1F吉田)政権が変わって、新しい体制になると、見学・視察が多くなることが予

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

想される。対応者が同じため、また案内者は所長、ユニット所長あたりとなり、厚労省指示の100mSvの制限もあるため、視察等々についてはよくよく調整して実施して頂きたい。

(安定化 C 小森)限られたリソースで、限られた線量限度でやっているの、ご視察ご確認等は重要だが、本店としても対応して欲しい。

(本店■■■■)各省庁についてもなるべく一緒に行って頂くということで、対応者のリソースと被ばくの問題もあるので、協力を働きかけて行きたい。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/2(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長)本日、台風の影響で断続的に雨が降りました。台風そのものは四国中国地方のようですが、週末には雨雲がかかっては流れていくという状況が予想されます。海側は荒れていますので、工事は全休となっている。

安定化 C からのトピックスとして後ほど説明しますが、3号機については、昨日からCS系からの圧力容器のシュラウドの内側への注水を行っている。温度は下がりはじめおり、24時間後に $2\text{m}^3/\text{h}$ にしています。2号機についてもCS系からの注入をトライするため、本日現場の調査を行っており、状況を併せて説明します。

4号機SFPについて、脱塩を含めて冷却をしているが、プールライナの裏側のライナドレンの分析をした。その結果を含めて後ほど紹介します。屋根がないのでい るんな水が入っており、ライナドレンの微少漏えいの可能性もあるということで、しっかりと傾向を見る必要がある。本日もライナドレンの水とプールの水の両方を分析しています。

3号機 R/B ガラ撤去関係で、主変圧器の油漏れを発生させた件について、現時点での調査状況の概要を説明する。防油堤の外に入っていないようです。

(1F ■■■) 今ほど安定化 C 長から説明があったように、台風の接近にともないまして本日は断続的に非常に強い雨が降り、また晴れ間が覗いたり、非常に不規則な天気でした。湿度が非常に高いという条件で皆さん作業やっていただいた。海側の方は本日最大で7mの波があったが、明日も10mという予報がありましたので、昨日から海に関する作業を中止しています。本日も熱中症、けが人は発生していません。

プラントの方は、3号機の件は後ほど。その他の内容は各班から紹介いただきます。6号機の現場の復旧が徐々に進んでおりますが、本日、RHRS 本体のモータ取り付けが終了し、来週テストランに向けての準備が進んでいます。

(1F 発電) 1号機は $3.6\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 37.7°C 、SFP 温度は 30.5°C 、D/W 圧力は 24kPagage で安定しています。

2号機は、本日7:17に $3.4\text{m}^3/\text{h}$ から $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に炉注水量を調整しており、17時時点で $3.7\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っています。RPV 底部ヘッド温度は 113°C 、SFP 温度 35°C 、D/W 圧力は 15kPagage で安定しています。

3号機は、本日14:50にCS系の流量を $2\text{m}^3/\text{h}$ とし、17時時点でFDWからの $7\text{m}^3/\text{h}$ とあわせて $9\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っています。パラメータ等は後ほど説明するので割愛します。SFP 温度は 33°C です。

5号機 SFP 温度は 41°C で安定しています。5, 6号機は変化なし。

(1~4号復旧) 炉注水について、2号機で7:17に $3.4\text{m}^3/\text{h}$ から $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整し

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ています。3号機の CS 系からの注水は割愛させていただく。SFP 関係は作業なし。水移送については、2号機立坑からプロセス建屋へ、3号機は HTI 建屋へ移送を継続しています。水位関係は、2号機タービン建屋で 14mm 下降、トレンチで 11mm 降下、3号機タービン建屋で 1mm 下降、トレンチで 4mm 降下、4号機は 3mm 上昇しています。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス建屋は 38mm 下降して OP4788mm、HTI 建屋は 24mm 下降して OP2775mm で順調に下降しています。

アレバ・キュリオン・サリーは順調に稼働しており、本日キュリオン H ベッセルを3塔交換している。

(5, 6号復旧)6号機 RHRS (C)について、電動機の接続(?)が終わりました。来週、モーター単体試験、週の後半にテストランの予定です。メガフロートの移送について、本日の移送はありません。明日の予定もありません。タービン地下から仮設タンクへの移送についても、本日の移送はありません。明日の予定もありません。

雨の関係で、6号機 R/B の HPCS D/G 室からタービンの方に 2.5m³ 移送しています。明日も現場の水位を確認してから移送する予定です。

(1F 土木)高濃度 RO 凝縮水タンク設置継続しています。ガラ撤去について、無人にて1, 2号機ポンプ室周りでコンテナ8個撤去しています。海作業の方は、本日高波浪のため休工です。明日は、ガラ撤去を予定していますが、その他の工事は台風のため休工または待機です。

(1F 建築)1号機カバーリング工事について、本日北側の2節の鉄骨建方を行いました。また、物揚場からの鉄骨の荷ふりを行いました。明日について、南側の鉄骨建方ですが、台風の様子を見ながら実施する予定です。3号機 R/B 上部ガレキ撤去準備工事について、本日は路盤整備とガレキの片づけです。明日も継続で行います。4号機の上部ガレキ撤去工事について、本日、主排気ダクトとバスダクトの解体を行いました。明日も継続でバスダクトの解体を行います。滞留水関係ですが、スラッジ貯蔵施設建築工事について、本日は基礎の配筋 PC の搬入で、明日も継続で行います。

(1F ■■■) 3号機の CS の方から流入したということで、特にモニタリングの値とかダストはないことを確認していますが、その後変化はないということでよいですか？

(1F 保安)その後変動ありません。

(1F ■■■) 熱中症の関係で、7月は 20 人であったが8月は 5 名に減少した。今月は 0 にしたいと思います。いろいろな対策を行ってきたことが、少しずつ効果を出していると思います。1F から以上です。

(安定化 C 所長)安定化 C の方でもパトロールすべきところとか、週末の台風対策について、土日についても連絡できる体制にしたいと思います。3号機 CS 系から

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の注水を行っているので温度変化の状況と、MP で 24 時間データ監視をしてきたのでその紹介をお願いします。

(原子炉安全評価■■■■) (書面説明) CS のインサービスにつきまして、前半の流量を CS から増やしていく場合の監視ポイントとして、胴フランジ、上蓋フランジ、スタッドボルト、胴フランジ下部、そのほか底部ヘッド上部と下部ヘッドの6つのポイントを監視している。これが上部の胴フランジ等の温度ですが、CS インサービスしてから、それまでほとんど変化のなかった上部の温度が着実に低下していることがわかる。その他、D/W 圧力は特に変化はないため、外部への影響はないと考える。参考までに、RPV 底部の温度ですが、底部ヘッド上部は若干の低下傾向を示している。このことから、CS から入れた水が底部にたどり着いて、底部の温度を下げていると考える。以上のことから、本日 $2\text{m}^3/\text{h}$ に増量しておりますが、監視を続けることで、明日 $3\text{m}^3/\text{h}$ に増やすかどうかの判断をしていきたい。

続いて環境モニタリングの結果を報告します。昨日14時から本日14時まで24時間の MP 監視強化を行ってきました。MP1~8とMP7と8についてはバックグラウンドが高いため平行観測をしており、計10点の監視をしましたが、結果としてはほぼ変化のない状態でした。一部降雨による低下はありましたが、全体として変化のない状態でした。ダストサンプリングを14:10 15:20 23:20 5:20の4回行っていますが、いずれも検出されなかった。最初の24時間の間には環境への影響はなかったと判断している。

(安定化 C 所長)引き続き温度の継続監視を行っていきたいと思いますので、関係者の方はお願いします

(本店高橋フェロー) 下部ヘッドの温度の見解は？

(原子炉安全評価■■■■) 下部ヘッドと底部ヘッド上部の位置の違いからすると、底部ヘッド上部の方が若干上側で底部ヘッドが底となりますが、上から垂れてきた水がたどり着いて温度が下がっていると思われる。下部ヘッドについては、もともと水に浸っていると考えられますので、上から入ってきた水に対して大きく影響を受けないと考える。この状態が維持されると思われる。

(本店高橋フェロー) 要するに、温度が上がっていくわけではなく、変わらない状態という見解か？

(原子炉安全評価■■■■) はい。若干高くなっている点も見受けられるが、揺らぎの範囲と考えています。

(安定化 C 所長) 2号機の CS 注水について、9月半ばを目指していますが、現場状況について説明願います。

(安定化 C) (書面説明) 2号機も3号機と同様 CS 系からの注入の準備を進めておりますが、本日、注入点の現場調査を行いましたので紹介します。やり方は3号機と同じで、R/B の 2 階に安全弁があり、これをとりはずして補助治具をつけて SUS

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

フレキシブルチューブを結束して MUW 系から CS を通して炉内に注水する。本日は R/B 2 階の安全弁周辺の雰囲気線量と治具が取り付けられるかということで干渉物の確認を行った。写真がぼけているが、治具を取り付ける上で不都合はないことを確認した。線量について、安全弁付近で 25mSv/h、操作用階段の上で 30mSv/h 床面で 40mSv/h であり、3号機に比べ若干低めとなっている。ただし、1階から 2 階への階段踊り場で 50mSv/h と高いところがある。作業予定について、本日は現場の調査をしまして、来週 6 日火曜日に隔離弁の電源を活かすための架設ケーブルを接続して、隔離弁の作動試験を行います。その後 10 日から 14 日で建屋内にホースを引いて治具を取り付け、順調にいけば 9 月 15 日くらいから CS 系から注水ができると考えております。

(安定化 C 所長)線量が高いので、作業管理・被ばく管理に注意してください。

4号機 SFP ライナドレン水の分析について説明願います。

(安定化 C ■■■)4号機の SFP ライナドレンの状況について、SFP 冷却フレキホースに腐食と思われる漏えいがありましたので、SFP の状況の確認をした。SFP ライナーについては、隙間に水がたまったらフロアグラスで見られるようになっている集合管でレベル計に集められる。写真は 10カ所から集まっており、最終的にはレベル計に集められる。SFP 下部補強工事のため 4本確認できないが、6本確認できる。漏洩状況は、昨日では 1秒に 2滴程度であったが、昨日のサンプリング時は 1時間に 1リットル程度でした。本日プール水とライナドレンのサンプリングを行っています。本日の漏えい状況は、はじめは 1秒に 1滴程度でしたが、サンプリングのために 30分後に戻ってきたところ連続的に滴下している状況でした。その時雨が降っていたのでその影響が考えられ、1時間に 4リットル程度の漏えいでした。サンプリング結果については、ph が約 8.7、塩素濃度は 1500ppm で SFP の中でも塩素があるので、SFP からの漏えいについてははっきり言えないが、全体に海水を注入しており、上から放水しているということもあるため、たまっている可能性がある。SFP にヒドラジンを入れているが昨日の段階では検出されていない。放射能関係では、セシウム 137 が 2.2×10^4 Bq/リットル、セシウム 134 が 1.7×10^4 Bq/リットル、ヨウ素は検出されていません。今後の予定は、天候等の影響もあるため、SFP と併せてライナドレンのサンプリングを継続して行っていく。

(安定化 C 所長)本日測った SFP の水質とライナドレンの水質をまとめて報告してください。いずれにしても継続監視をよろしく願います。

3号機主変圧器をカバーリング工事で壊してしまったことについて、調査状況の説明願います。

(安定化 C)このたびはこういった事態を起こしてしまって申し訳ありません。先週 25 日の木曜日に発生しています。ガレキがかなり積もっていた状態で、漏れた油がどこに流れたかの調査に手間取っていました。昨日の夕方にだいたいの行き

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

先が分かってきたので中間報告を行います。行き先としては、ここに防災タンクが埋設されており、漏れた場所から流れて行き、ここに防災タンクの受けピットがあるが、これを介してタンク内にたまっているのではないかと判明した。詳細はこのピットの中およびそこに至る経過で掘削中にガラ関係が変色していることが分かった。最終的にはこのピットに対して棒を差し込んで調査を行い、20cm程度油があり、概ね防災タンクに流れ込んでいるという状況にある。今後については、防災タンクにアクセスできる開口が2カ所あるが、現状この上に鉄板及び地震時に倒れたクレーンがあるため、こちらの解体をすすめてその後に調査を行う。この状況について、本日1Fサイトにて所轄の消防署に説明しており、防油堤内からもれていないということであれば当面として特段の処置不要で、経過観察をしてくださいということとで了解を得ている。

(安定化C所長)作業そのものは線量が高く、ガレキが多数あるので慎重にお願いします。

(本店広報)本日は11時と18時に当社単独の会見を行っています。午前の会見は40分で終わっており、主に31日の身体汚染についての質問が繰り返しあり、3号機炉注水に関する質問がありました。午後については、ライナドレンの分析結果と台風対策を説明する予定です。

(安定化C所長)週末になり、土日は台風になるということで、設備あるいは何かあった場合の連絡をしっかりとれるように関係者の皆様よろしくをお願いします。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/3(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C 所長)本日は台風の影響で雨が断続的に降る状況。9月半ばに原子炉の注水量を増やそうとトライするところ、また炉心注水のスプレイ系からの注水で冷温停止状態に持って行くチャレンジを行う月になるので、水処理側は台風の影響も懸念されるが水位も順調に下がっている。この一週間くらいはその対応に注力したい。海側の工事などは本日は延期しているが、電気関係は継続しているが特段大きなものはない。安定化センターからは後ほど炉心注水側の補足と昨日4号機の SFP のライナードレンとプール水のサンプリングを行っているので、その説明を行いたい。

(1F 所長)本日は週末の土曜日で台風も来ているので、作業は少なめであった。けが人熱中症等の発生は無かった。1号、2号で炉注水流量が下がり気味なのを3.8m³/hに戻す作業、また3号機での CS 系での注水流量を1.0m³/hにする作業あり。水処理設備は順調に稼働していて、滞留水の水位は下降している。

(1F 発電)1号機、9:40に炉注水量を3.5→3.8m³/hに調整。17時現在3.8m³/h。炉底部ヘッドが86.5°C、SFP が30°C、D/W圧力が23kPagで安定。2号機 9:40も3.4→3.8m³/hに調整。17時で3.8m³/h。RPVヘッド上部で112.7°C、SFPが35°C、D/W圧力が15kPag、3号機はCS系で14:37に2.0→3.0 m³/hに変更。17時現在でFDW系7.0m³/hとあわせ10.0m³/hで注水中。RPV底部ヘッドは105.6°C、底部ヘッド上部が102.6°C、全体的に緩やかに低下傾向。このまま2日後に給水系からの流量を1m³/hづつ下げていき4m³まで低下させる予定。SFPは33°C、D/W圧力は0.2kPag、4号機SFPは41°C、56号機は冷温停止中でパラメータ変化なし。

(復旧班)水移送・水処理は順調に継続、2号機はTb・トレンチで15mm下がって、水位は3277mm、3号機はTb・トレンチは3mm下降で3382mm、4号機は3mm低下して、3249mm。プロセス建屋は朝から41mm下がって、4694mm。HTIは19mm下降の2715mm。1号機は9mm上昇して4767mm、雨の影響と考えられる。本日ベッセル交換等は無かったが、明日キュリオンHベッセル3塔、サリーのベッセル1塔交換予定。4号機 SFP16.6m³注水。明日は4号機のSFPフレキシブルチューブパトロール、サンプリング、塩分除去装置の濃縮廃液移送といった作業が予定されている。中操のデジレコ明日も交換、パラメータ注意したい。明日56号機、仮設タンクメガフロート移送はなし。6号機の HPCSD/G トレンチ室本日移送実施、明日も実施予定。

(1F 土木)本日台風の影響で屋外作業が制限されていたがガラ撤去12号ポンプ室廻り本日終了。海工事は引き続き休工。ガラ撤去無人機、集塵機によるもの、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

来週は1~4号機海側の10m盤に作業を移す予定。

(1F 建築)1号機 Rx/B カバー工事、南東の〇〇、西の梁の立て替え完了。明日は天候の状況のみて継続。3号機 Rx/B 上部のガラ撤去準備作業、路盤整備作業明日も継続。4号機Rx/B上部ガラ撤去はスタック等の解体終了。スラッジ貯蔵施設、基礎の張り込み、L型PC 盤据え付け作業本日実施、明日は休工。

(安定化C 所長)3号機の CS 系からの注水について。

(原子炉安全評価G ()) (書画参照) CS 系インサースビス後の温度について。D/W 圧力は変化なし。胴フランジ、下部、スタットボルト、上蓋フランジ等が順調に下がってきている。上蓋フランジの2℃程の上昇は今のデータでは下がってきているので、監視していきたい。圧力容器の底部側の温度は底部ヘッド上部は昨日から下がってきている、下部ヘッドについては昨日は下がり傾向が無かったが本日2m3/h にして以降、下がり始めた。このように CS 系を使うことにより、温度の低下ができることを確認した。

(小森)このまま48時間引き続き傾向を見ていって、必要あらば解説・報告方。

(冷却 T ()) 4号機の SFP ライナードレンのデータサンプリングを昨日実施している。(書画参照)雨が降っていたのもあって、塩化物イオンが1500出ているので、値としてはまだ大きい。漏えいではなく、初期の海水注水の影響と考えられる。

(小森)端的に言って、微少漏えいの可能性は否定できないが、今の段階では断定はできないということが? (); Yes (小森)塩化物は回り込みが考えられること、雨がふると屋根がないので、後ろ側に回り込んでいるのは事実のようなので、天候が晴れている日などにも見てみて推察し、ただしライナーの微少漏えいは今後もリスクあるので定期的に見ていくことでよろしく願いたい。

(本店広報)本日プレス状況。11時については、作業も少なく20分。サリーの性能、期待通りの値であること。3号機 CS 系での注水の話、ライナードレンのサンプリング結果の話。夕方は現在実施中だが先ほどのライナードレンのサンプリング結果の話。注水に関連してモニタリングを実施したが濃度線量率に有意な影響なかったことをご説明する予定。

(安定化C 所長)台風はゆっくりしていて、福島は暴風圏には入らないが、雨が少し続きそうなので、引き続き安定化センターの連絡体制は維持していきたい。1Fとも連携していきたい。以上。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/4(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)本日は日曜日ということで、お仕事ご苦労様ですが、現場の作業としては、海廻りの作業はしていませんが、天候はそれ程荒れることなく、落ち着いた状況で陸側、建屋内の作業、点検をしています。無事に終わったと言いたいところですが、朝一番でケガ人が出たということは誠に申し訳ないと思っていますし、また再発防止を徹底しなければならないと思っています。ヤードの方で、蒸発濃縮装置の工事をしていた方がライナープレートを持っていて、躓いて持っていたライナープレートで左手をケガしたと。その後、骨折を含めて左手ではありますが、かなり通院、加療を要するようなケガになってしまったということです。ここについては、後ほど状況について説明しますが、もう少し彫り込んだ対策が必要ではないかと思っています。関係する企業だけではなく、連絡も含めて反省点があるように思っていますので、継続して原因、対策をとっていく必要があると思っています。3号機の原子炉への注水、CSでの注水は極めて効果的のようになっています。後ほどトレンドについて紹介します。水処理関係については、ケガの話に加え、蒸発濃縮装置の運転の仕方について、紹介しておきたい。かなり水処理が進んでいますので、淡水を含めた水バランスの観点から蒸発濃縮装置の運転方法を考えていきたいという紹介があります。AREVAの装置については、前段側の沈殿槽しか使っていません。ポンプで漏れがありまして前段しか使っていませんが、水質の状況について紹介します。後は比較的淡々と仕事が進んでいたという状況です。

(1Fユニット所長)今日も週末で、作業は比較的少なめでした。今朝方、屋外でケガをされた方がいました。夕方のEMで協力企業の方々に事例を紹介して注意を喚起しました。明日から通常通り3000名を超える作業員の方が入ってきますので、注意をして作業を進めたいと思います。プラントは、パラメータはどの号機も安定して推移してまして、CSから炉注している3号機、RPVの下部の温度が100℃近くまで下がってきていて、温度低下が継続しています。水処理装置は、今日、ベッセル交換していますが、運転そのものは順調に継続してまして、T/B、プロセス主建屋、それぞれの滞留水の水位も下降している状況です。

(1F発電班)プラントは安定しています。1号機は、原子炉注水が3.7m³/h、RPV底部ヘッド温度が85.4℃、使用済燃料プール水温度は30℃、ドライウエル圧力は24kPagageです。2号機は、原子炉注水が3.8m³/h、RPV底部ヘッド温度が112℃、使用済燃料プール水温度は35℃、ドライウエル圧力は16kPagageで安定です。3号機は、3日の10:30以降、CS系から3.0m³/h、給水系から7.0m³/h、合わせて10m³/hで注水中ですが、RPV底部ヘッド温度が101℃、RPV

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

底部ヘッド上部温度が98.3℃まで下がっています。使用済み燃料プール水温度は33℃、ドライウエル圧力0.2kPagage で安定しています。順調にいけば明日、注水流量を1m³/h低下させる予定です。4号機の使用済み燃料プール水温度は40℃です。5、6号機は、特段トピックスはありません。

(1F1～4復旧班)水移送は順調に継続しています。水処理は、KURION、AREVA は継続運転で、SARRY は本日9:24から11:01までベッセル交換のために停止しましたが、今、再起動して順調に運転しています。この関係で、水位はT/B、プロセス主建屋は順調に下がっていますが、HTI建屋は SARRY の関係で上がっています。2号機は、朝に比べて14～15mm下降していて、高い方のT/Bの水位はOP3236です。3号機は、4～5mmの下降で、高い方のトレンチでOP3371です。4号機は、T/Bで6mmの下降で、OP3231です。プロセス主建屋は朝から31mm下降して、OP4607です。HTI建屋で158mm上昇して、OP2843です。1号機のR/Bは朝から4mmの上昇でOP4784ですが、上昇傾向は大分収まってきています。4号の使用済み燃料プール関係で、フレキシブルチューブのパトロール、プール水のサンプリング、4号のプール水の塩分除去装置の濃縮廃液の移送作業が行われています。また、1～2号中操ならびに3号中操のデジレコの接続点の整理が継続、所内共通電源設備工事では、充電器盤、分電盤の取り付け作業を行いました。蒸発濃縮装置の3A、3B、3Cの設置工事で朝方ケガがありまして作業は中止しています。400×400×9mmの鉄板3枚、27kgを運搬中、鉄板を纏めてあったナイロン(聞き取れず)で足を取られて転倒したもので、骨折等大きなケガになっています。対策等については、今後サイトとしては安推連で周知していきませんが、本日の事象について、復旧班長へのケガの第一報がなかったこと、ケガの際には5、6号医療室に行くこと周知がなされていますが徹底されていないということで、安推連の場で再徹底したいと思います。

(1F5～6復旧班)明日の作業ですが、6号の滞留水について、仮設タンク、メガフロートへの移送はありません。6号のHPCS D/Gトップトレンチの滞留水については水位の状況を見て判断したいと思っています。

(1F土木班)高濃度ROのタンク、セシウム吸着塔等々、作業は継続となっています。明日も引き続きです。ガラ撤去ですが、本日はメンテナンスということで現場作業はありませんでした。明日は、無人機はタービン海側10m盤に移動させます。集塵機の作業が、3号機のCST 前から南側、こちらの方で作業が始まります。海側の作業ですが、本日は、海側は天候が悪かったため実施していません。明日、海上状況を見て、1～4の海峡の矢板打ちの作業を計画しています。明日はシルトフェンスの開閉の予定はありません。

(1F建築班)1号機R/Bカバー工事ですが、台風による風の影響が心配されましたが、問題なく作業は完了しています。本日は、第二期の鉄骨の建方で、南東の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

柱、東側の梁、南側の梁の取付を完了しています。明日から第三期の鉄骨準備に着手します。3号機R/B上部の瓦礫撤去は、本日は路盤整備作業と瓦礫撤去を行っています。明日も路盤整備作業を実施します。4号機R/B上部の瓦礫撤去ですが、本日は休工でした。明日はオペフロ上部の鉄筋切断作業を実施します。スラッジ貯蔵施設ですが、こちらも本日休工でした。明日は、スラッジ塔で基礎、配筋作業、設備塔でBC板の搬入据付作業を行います。

(安定化C所長)プラントのデータで、3号機の炉心スプレイからの注入ということで、状況の解説をお願いします。

(安定化C安全評価G)(書画を使用)3号機CSですが、9/1にインサーブスして、1日ごとに1m³、2m³、3m³と流量をあげてきました。20日程度のRPVの温度の推移を示していますが、効果はテキメンというか、順調な冷却効果を示しています。RPVの上部を示したグラフと下部を示したグラフですが、これについてもCSを追加してから、順調に温度が低下していることが分かります。温度だけ見てもCSの有効性は一目瞭然ですが、数値的に具体的に比較したもの示します。8/18にFDWを9m³にした時期があり、昨日9/3にFDWを7m³、CSを2m³にしたときの温度を比較したものがこれです。合計が9m³で比較になるということで並べています。各部位の温度を表で示していますが、真ん中あたりでCSを入れた温度がかなり低くなっている事が分かります。RPV底部ヘッド上部、RPV下部ヘッドはCSを入れている方が温度が高いという結果になっていますが、先程にもあったように、温度が平定する前で、3°C/dayで下降している途中であり、それを考慮すると、CSを用いたケースの方が、同じ9m³でも冷却効果はかなり高いと考えています。こちらがCS系の流量変更の手順ですが、9/1から1m³、CSを入れて、明日からFDW系を1m³ずつ下げ操作に入ります。下げ操作に入ると、冷却が懸念されますが、CSからの冷却が効果的に効いていますので、冷却については絞ることについては問題ないものと考えています。流量を絞る操作ですので、パラメータを監視しつつ進めたいと考えています。

(安定化C所長)バランスを見ている色々な注水パターンを決めていく、重要な試行だと思えます。よくパラメータをみて何かあればホールドするという事で監視を継続していきます。水処理側で何件か補足をします。

(安定化C水処理PJ部)(書画を使用)本日、早朝からケガ人が発生しました。状況について説明します。本日は朝6:35頃、作業開始が6:00でするので開始してまもなくですが、ヤードの工事で、蒸発凝縮装置、エバポレータの設置の工事ですが、東芝の下の三洋工業の作業員です。場所は水処理装置が海沿いにありますが、そこから丘の上にあがってCエリアに中央制御室とか主に淡水化する装置、RO装置、蒸発凝縮装置が集中しているところです。こちらの場所でケガが起きました。ケガの状況ですが、重量物運搬中に転倒ということで、機器の下敷きにする

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

鉄板、40cm四方の鉄板が1ピース10kgですが、それを力持ちだったのか、3つ纏めて運んでいただいていたもらっていました。そのとき、足元に固縛のテープが転がっていて、足をつまずき転倒したということです。左手4指に重傷を負われたということで、半年くらい全治にかかる診断をいただいています。一番いけなかったのは、重量物を運ぶ時に、安易に手で運搬してしまっていた、台車を使うべきであったし、ヤードの管理エリアの中で致し方ないかもしれませんが、革手袋等の保護衣をつけておらず、通常の手袋、その上にゴム手袋という、一般の状態で重量物、しかも金属製プレートを運んでしまっていました。本日、事例の紹介と1日作業の休止をさせてみんなに周知することを義務づけています。もう一点、先程、連絡がよろしくなかったということでしたが、言わずもがな、今、発電所の中で運用されている連絡体制表です。第一の発見者は、いつ、どこで、どのようなことが起きたかを発見者が電話連絡で復旧班長に連絡しなければなりません。今回の場合は、本人が付き添いの人間と直接、免震棟に戻ってこられて、そこで、ケガをしたということで発見者は直接、医療班に第一報を、第一情報が入ってきたという状況でした。通常のルーチンから外れていて、連絡についても徹底したという次第です。今後も工事が続きますので、同じ事が起きないように何度も繰り返しながらやっていきたいと思えます。続きまして、エバポレータ、設置している蒸発濃縮装置の既設が2系統あります。そちらで淡水等を作りながら、ROで作って、淡水をエバポレータで更に絞り出して作っていますが、淡水の発生量をシミュレーションして分析しています。まず、淡水の発生するエリア、淡水の保管エリアはここですが、ROを出た淡水がD地点のエリアのタンクに貯めて原子炉注入へ。それから、エバポレータ、蒸発濃縮装置から出た淡水が、C エリアを出てHのラインに戻って炉内に注水するラインがあります。淡水の発生ですが、青い点線で順次、淡水を貯めるタンクを作っていますが、Bエリアに追加のタンクを投入しながら、淡水を貯めておく領域を増やそうと思っていますが、蒸発濃縮装置が淡水を作りすぎてしまうので、現状、炉内の注水量が17tonありますが、17tonをまかなうだけの淡水はROの処理で十分できていますので、そちらで十分でありますので、9/4の段階ですが、蒸発濃縮装置を停止すると、このあたり、今のシミュレーション、12日、13日がタンク余剰分と、増えていく、貯めていく淡水が逼迫してきますので、このあたりを少しでも回避したいということで、蒸発濃縮装置をスタンバイ状態にしておきたいと思えます。滞留水の処理もおかげさまで順調に進んでいまして、本日も70tonで継続して処理ができていますので、建屋の水位が下がっていく状況で、改めて、滞留水の処理量の変更を考えていきたいと思えます。処理量を変えれば淡水の生成量も変わりますので、バランスをとっていきます。ただし、淡水を貯めるためのタンクの増設はクリティカルになりますので、これを超えないような淡水の発生を管理する、そのための一つの方法が、蒸発濃縮装置の停止ということです。まとめ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ますと、8月頃から蒸発濃縮装置が稼働してまして、処理量もともと50tonで処理する予定が、今、70tonで安定して処理しています。淡水発生量が増加したにもかかわらず原子炉注水量はあまり変化していませんので、今月あたりの淡水の安定したストレージが難しくなっています。Bエリアのタンクを順次投入しても、13日頃逼迫するような状況であり、濃縮海水とバランスを見ながら、淡水処理は止めていないので、濃縮海水タンク側のタンクに水が多く分配されることとなります。こちらのバランスになりますので、淡水と濃縮海水側のタンクの容量、濃縮海水側のタンクは幸い余裕がありますので、そちらに振りたいということです。バランスを取りながら、淡水生成量を調整したいということです。炉心スプレイ、CSから炉内に注水している試験もしていますので、炉注の水量の増加を今後検討していただくことを考えていますが、必要な時期に必要な量だけ再稼働して供給をしていきたいと思います。エバポレータで25tonくらいは加算できますので、そのような量を勘案して、稼働していきたいと思います。3点目です。先般 AREVA の凝集沈殿装置のなかで、アクチフローという装置のスラッジを回収するポンプですが、ケーシングに穴が開いていて、リークがありアクチフローをバイパスしています。そのときに、アクチフローは凝集沈殿装置の一役を担う設計ですので、そちらばバイパスされたときに全体の処理の性能がどう変わるか、1日2回ほどサンプリングしています。8/31の16時にバイパスして、1ケタくらいDFが悪くなっています。放射能濃度が上がりますが、今、 1×10^6 、10Bq/ccくらいのところで推移している、10もしくは20くらいですが、そのあたりで推移しているということです。ROの受け入れ可能な設計値を出しましたが、10の2乗、100Bqですので、こちらの方は十分余裕があるということと、比較的安定してきているのではないかというような状況です。もう数日間と同じように様子を見ながら状況を確認していきたいと思います。

(安定化C所長)ケガは、通報の事は水処理に限らず徹底することですが、水処理は環境、ダストも含めて下がってきていて、全面マスクの作業をどうするか、この間も議論がありましたが、視野が狭くなる、革手袋は是非やってもらわなければなりません、作業環境を良くしていくような背景、改善していくことも重要と思いますので、直接要因ではないですが、もう一段考える必要があるかと。このような工事が続きますので、熱中症対策という観点もありますので、先週来検討してもらっていますが、放射線管理等々と連携して検討するに値すると思います。3つめ水処理の AREVA 関係ですが、SARRY の出口濃度も10の1乗でしたでしょうか。

(安定化C 水処理PJ部)今、10の0乗で安定しています。

(安定化C所長)SARRYは一つのシステムで、セシウムも10の0乗までいっているということですね。ROで処理できることですので、この先、今のアクチフローについてどういう運用するのか、修理するのはどのようなタイミングで考えていますか。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化C水処理PJ部)来週、別のKURIONのポンプの修理するタイミングで、1日、2日滞留水処理装置を停止するタイミングがありますので、そのときにアクチフローの穴の開いたポンプを隔離して漏れの水がないようにして、設備の復帰に入ります。その後、アクチフローは再利用していくか、このままバイパスができて、性能が今のところ実績が確保されてきましたので、このままバイパスし続けるか判断したいと思います。もう一点、AREVAの設備の性能として、スラッジという高線量の排出物ができます。スラッジをなるべく抑えた方が、廃棄物の低減に繋がりますので、排出物量を抑える確認試験等を検討したいと思います。そのためにはアクチフローを一旦復帰させることも考えています。そこは判断したいと思います。いずれにしても最終的に性能が出て、かつ、廃棄物が少なくなることを模索したいと思います。

(安定化C所長)いろいろな変数があって、処理量も滞留水の量を減らしていることと、注水する量を今後どうするかということと、タンクの容量をどうするかということと、DF、除去係数をあげるということ。おそらく、流量を減らすとKURIONも除去性能が上がるので、アクチフローは使わなくても良いという話に結び付くかもしれませんが、SARRYとKURION、AREVAの組合せをどうするかというようなバランスも変数として入ってきて、非常に頭の中がこんがらがりそうですが、よく計画を練って進めて行ければよいと思います。引き続き検討してもらって、方向が定まったらご紹介ください。

(本店広報班)本日のプレスへの説明状況ですが、午前中は11時と午後は6時からプレス説明を行っています。作業量も少ないということで、午前中は20分で終わってしまっていて、午後も基本的には定例の紹介という内容になります。午前中のやりとりは今までおさらいみたいなやりとりで終わっています。

(安定化C所長)本日の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/5(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C) 本日、作業にあられた皆様、業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日は、月曜日、週が開けて約 3000 名の作業の方が現場に戻ってこられました。様々なエリアで作業を展開していただきました。一部、台風 13 号の影響で、波が高く海の工事が休工になっていますが、その他継続作業は展開されています。昨日の会議で報告しましたように、3号機の炉注量、これは CS ラインから既に 3m³/h 注入しているところですが、本日は給水ラインから注水している量を 7m³/h から 6m³/h に変えるオペレーションを行いました。水処理は、AREVA 装置が2段ある装置のうち1段がポンプの故障でバイパス運転しながらありますが、順調に SARRY、AREVA、KURION、この3つで約 70m³/h で処理を続けていまして、T/B、プロセス主建屋の水位が順調に下がっています。かねてから水位調整で実施したいと考えていましたオペレーションがありまして、それを実施する計画であります。この点、後ほど状況について説明します。また、今週の後半から、カバーリング工事におきまして、いよいよ3号機のオペフロで瓦礫撤去の工事を始めます。過日、3号機の主変圧器の冷却パネルを誤って撤去し、そのために油が漏れるという事故がありました。その事故を踏まえまして、安全対策について纏めていますので、後ほどご報告します。

(1F所長) 今日、曇り晴れという状態です、若干暑いという状況です。人身関係ですが、熱中症はありませんでしたが、作業の最中に袋の中に入っていたガラスの破片で踝を切るという事象が発生しました。4針縫ってそのまま帰られましたが、いずれにしても、危険なものがまだ身の回りにあるという認識で、もう一度そのチェックが必要であると考えています。全般的にはプラントは順調です。

(1F発電班) 1号機は、3.6m³/h で注水中です。RPV底部ヘッド温度が86℃、使用済燃料プール水温度は30℃で全体的に安定しています。2号機は、原子炉へ3.6m³/h で注水を行っています。RPV底部ヘッド温度が113℃、使用済燃料プール水温度は35℃でこちらも安定しています。3号機は、現在、CS系から3.0m³/h、給水系から6.0m³/h、トータル9m³/h で注水中を行っています。本日、14:43に給水系からの注水量を7m³/h から6m³/h に調整しました。CS系は特に変更していません。17時現在のRPV底部ヘッド温度は96.9℃、RPV底部ヘッド上部温度が94.7℃です。注入の変更後、若干、温度の低下傾向が緩やかになってきているように見えますので、今後も注意して監視していきます。この状態を48時間様子を見る予定にしています。使用済み燃料プール水温度は33℃です。4号機の使用済み燃料プール水温度は40℃で安定です。5、6号機は、トピックスが2件です。1件目ですが、5号機で本日起きた事象ですが、原子炉を冷やし

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ています RHR の B 系の海水ポンプで潤滑油ポンプがありますが、これが予備機が廻るといふ事象が発生しました。原因は、潤滑油の圧力が減ったという信号が発生して、バックアップが廻ったということですが、これについては、計器の誤作動も含めて点検が必要ではないかと考えています。RHR 系については、現在 B 系で冷やしていますが、バックアップとしまして仮設の海水 RHRS ポンプの A 系のポンプで冷やすことができる準備をしています。2つめのトピックスですが、明日の朝8時より夜ノ森線の2号線停止操作が入ります。これについては、新福島変電所の作業ということでも9/6から9/9まで4日間の間、送電線が1回線減るといふ状況になります。

(1F1～4復旧班)水処理、水移送は順調に継続しています。水位も順調に低下しています。2号機は、15mm程度低下しています。高い方のT/Bの水位はOP3196です。3号機は、4mmの低下で、高い方のトレンチでOP3361という状況です。プロセス主建屋は、30mm下降して、OP4528です。HTI建屋で17mm下降して、OP2813です。1号機のR/Bも上昇が止まりまして、朝と変わらないという状況で、OP4787という状態にあります。本日、使用済み燃料プール関係で、1号水補給、2号ヒドラジンをしています。明日、2号のSFPの冷却の冷却塔のサンプ水水槽の清掃を10時から1時間ほど冷却系の二次系を停止しますが、プール水の温度にほとんど影響はないと考えています。明日、新規の作業としては、津波対策用のN2封入ラインの現場調査があります。ケガですが、内容はともかく、連絡が以前、不徹底でして、医療班の方に先に言ってしまったということで、復旧班長への第一報を徹底してお願いしていきたくと思います。

(1F5～6復旧班)明日の作業ですが、6号機の滞留水について、仮設タンク、メガフロートへの移送はありません。6号のHPCS D/G室トレンチの滞留水も移送はありません。

(1F土木班)タンク設置工事は継続して実施しています。無人重機によるガラ撤去ですが、昨日までにOP4m盤で撤去が終わりまして、本日は、段取り替えて休工です。明日以降は、OP10m盤の引き続きガラ撤去を予定しています。海の工事の関係ですが、1号～4号透過防止口の工事で、鋼管矢板の打設を本日も実施しています。本日までに、全47本のうち45本まで打設していきまして、予定では明日に鋼管矢板の打設を終了する予定です。5、6号機の前テトラポットの据え付けについては、本日うねりのため中止ということで、明日は、小名浜港でブロックの積み込みを予定していますが、現場での作業はありません。

(1F建築班)カバーリング工事関係ですが、1号機は、継続で本日は南側部分の鉄骨の建方を完了しました。明日、西側の鉄骨建方に移っていきまして、その資材の移動を物場場の資材置き場から行っています。3号機ガラ撤去関係については、北側道路の整備、南側ヤードの瓦礫の片づけ、4号機瓦礫撤去については、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

オペフロ上の鉄筋の切断を行っています。本日、3号瓦礫の運搬について、夜間作業で夜中2時を目途に重ダンプを使って搬入する予定です。スラッジ貯蔵の設置ですが、こちらでも継続でスラッジ塔で基礎、配筋、設備塔で基礎部分の L 型 BC 板の搬入を行っています。明日は、それら継続工事にプラス、設備塔で流しコンクリートの打設を予定しています。

(1F 保安班) (書画を使用) 3号機のバースクリーンのシルトフェンス内側の海水の放射能濃度の推移です。まだ海の状況によりまして変動しながらある一定のところまで推移していましたが、本日、若干高い値が検出されました。こちらについては、現場の状況については、土木で確認してもらって特に流れ込み等はないことが確認されています。また、ここ数日波が高くなっていますので、その影響によります前上がりか考えられますので、しばらくこちらのトレンドを確認していくことで対応したいと考えています。

(1F 所長) 注意深く確認していきましょう。今回の台風を見ていると、当初、進路は完全に発電所直撃ということでしたが、幸いにして西にずれたということで、事なきを得ているというのが実態ですが、今後のことを考えまして、過去の浜通りの最大降雨量とかをチェックした上で、雨が来たときにどうなるかということ事前にシミュレーションしてリスク対応というか、そこをしっかりとっておく必要があるという考えですので、安定化 C と一緒になって詰めていきたいと考えています。

(安定化 C) 非常に今回の台風、紀伊半島中心に甚大な影響が起こった災害がありましたが、それを見るに付けても、これがサイトに起こればどうなるだろうか、常にその気持ちをもってあたるのが非常に大事であると思います。吉田所長のご指摘の通り、しっかりと大雨あるいは大風に対するリスク評価をしたいと思います。安定化 C から、水位が少し下がってきたこの機会を捉まえまして、水位操作のオペレーションを継続しています。

(安定化 C 滞留水移送 G) (書画を使用) 以前は T/B が 3600 近くにありましたが、現段階、9/6 時点で3号、2号とも 3200 の水位になっています。今後、水位も下がってきたということと台風の影響もなかったということで、明日、2号復水器から2号 T/B に、6月に復水器に送った滞留水を T/B に戻すということを行いたいと考えています。約 400ton になりますが戻しまして、水位が約 20cm くらい上がることになります。その後、その水位の移送状況を見てですが、9/10 前後に1号の H/W から1号 T/B への移送を行いたいと考えています。復水器に滞留水があるのは2号、1号、3号でして、3号は、9/13 から9/15 にプロセス側の水処理、KURION、AREVA が停止することになっています。それを終えまして水位が安定した 9/20 前後に3号 H/W から3号 T/B に移す操作を行いたいと思います。もう一つ、今回、順調に 3200 まで T/B も落ちてきたということで、今度、3号のポンプを、9/8 ですが、3号のポンプ、現在1台で運転していますが、2台で運転してプロセスに送ることとしま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

して、水位の上昇を早めたいと考えています。約3日、2台で運転しまして、OP3000 まで近づける操作を行いたいと思います。プロセス建屋に送ることによって、一旦、プロセス建屋の水位を上昇させたところで、9/13 から 9/15 の全停を向かえるということで、そこで高め安定、この水位で安定させまして、その間、2号、3号は HTI 建屋に移送を行う運用としまして、常時2号、3号からプロセス建屋ならびに HTI 建屋に移送するという運転を継続して水位の維持を行いたいと考えています。

(安定化 C ■■■■) 目的をもう少し説明してください。汚染水が H/W にあるよりも T/B に戻した方がより安全であると、あるいは T/B の水位を下げてその分だけプロセスが上がるので、その方がよりリスクが少なくなるといったところを説明してください。

(安定化 C 滞留水移送 G) H/W から T/B への移送については、現在、H/W のところに滞留水がありますが、直接、復水器のチューブを通して海水とつながっているという状況です。現在、逆洗弁ピットのところで全量かかっている、海水側に漏れていないことが確認されていますが、リスクが高いと、なるべくリスクを減らす観点で、復水器の中の滞留水を T/B に移送することを行いたいと考えています。なるべく T/B の水位を減らすということで、今後の雨、地下水の流入につなげたいと思います。可能な限りプロセス建屋ならびに HTI 建屋に移送を行いたいと考えています。

(安定化 C ■■■■) 瓦礫撤去作業における注意事項についてご報告します。

(安定化 C 放出抑制 G) 今後、3号ならびに4号については、オペフロ上の、R/B 上部の瓦礫撤去が今後、本格的に行われます。それを鑑みまして、同様のことを起こさないように、深掘りしまして、今後の災害防止対策を纏めましたので簡単に紹介します。まず、こちらの事象につきましては、以前説明しておりますので、簡単に、紹介に留めますが、R/B 上部瓦礫撤去後の架台設置に先立ちまして、その設置エリアに干渉するところの周辺の瓦礫撤去を無人重機で行いました。この最中に、本来取り壊しをしない予定になっていた主変圧器のラジエター部を撤去してしまい、配管から油漏れが起きたということです。このような事象を起こしてしまった原因について、時系列の経緯も含めまして整理をしました。計画ならびに設計段階においては、現場サイドを含めまして、社内の関係者、社外関係者を含めまして、撤去範囲とか注意事項とかをいろいろ調整をした上で、共通認識は持っていました。主変圧器については当初計画から、撤去対象外ということで情報共有がきちんと図られていました。その後、現場に主たる業務が移りまして、施工計画書の段階でも撤去対象外という形で認知されていました。ですが、悪さ加減としまして整理したところ、当社側としては、主変圧器は撤去しないと確認していましたが、当該設備近傍の撤去につきまして、詳細な具体的な範囲についての再度

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の再確認までしていませんでした。一方、建築 JV ですが、同様に詳細計画についてまでは当社への事前の説明ですとか、本当に撤去についてどうしようかという再確認をしていなかったという悪さ加減があります。もう一つ、既存の設備、今回の復旧に伴いまして設置した設備の重要性というものに対して、当社側から逐次情報を提供していましたが、JVさんの中での職員一人一人、あるいは作業員に至るまでの認識ということで周知、情報共有化が不足していたという実態が浮かび上がりました。3つ目としまして、撤去対象外のものも含めますが、詳細について例えば見える化の資料を活用しまして JVさんの中での情報共有がなされていなかったということです。これを受けまして、再発防止対策としましては、大きく3つポイントをあげています。まず、撤去作業に先立ちまして、建築 JVさん、今回3号機につきましても4号機につきましても1号機も同様ですが、プラントメーカーさんとの JV組織となっています。設備に詳しいプラントメーカーさんのご協力を更に得て、撤去対象範囲の詳細計画を作っていただき、事前説明をいただくと、不明なものも、爆発等で分からないということもありますので、当社関係者へ再確認と再調整を実施することによりまして、最終的には施工定例のような場を用いまして、事前に当社ならびに建築 JVさん、プラントメーカーさん3者での最終確認を確実にした上で作業を実施するという形にしたいと思えます。社内の調整については、1F復旧班、プロジェクトに関しては安定化 C内の各プロジェクトにご確認を再度させてもらって取りかかりたいと思えます。それから2番目ですが、事前検討会による復旧設備の重要性の周知ということで、建築の方は撤去をする/しないだけの判断で行ってしまいましたので、この設備はどういうものなのかも含めて周知徹底を確実にやるという形で、これは既に3号機についてやっています。3番目としまして、無人による作業ですので、リモート室内の情報を確実に引き継ぎましょうと、シフト体制を組んでいるところもありまして、その悪さ加減も一つ浮かび上がりましたので、調整をした結果の写真、図面をリモート操作室内に掲示しまして、どの班の人が作業にあたって間違いがないように徹底を図りたいと思えます。このような対策を練ることによりまして、上部の工事について今後ともきちっと対応させてもらいたいと思えます。

(1F 所長)それぞれ対策は結構で一生懸命やってもらえればよいですが、基本的に現場は危険だという認識が全般的に甘いと思えます。瓦礫だけの話ではなく、共通の話になるので、もう一度そこは発電所の中、安定化 Cも含めてもう一度認識をしておかなければなりません。普通の原子力発電所であると、C区域の面積は定期検査の時は狭いじゃないですか。発電所全体がC区域ですから、面積割りから言っても結局、何万倍も危険なわけですが、この発電所は、その辺にそういう訳の分からないものが転がっていると、本設なのか、瓦礫なのか分からないものが山ほどあると、そういう現場であるということ全員、社員だけではなく協力企業も

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・ 個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・ 時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

認識していただくと。だから、何が一番重要かという、現場を事前にどれくらいチェックするか、ここに尽きるのです。ここをやらないと、同じ事が再発しますから、そこだけは認識を再度持つということだと思いますので、これは建築さんの瓦礫だけではなく、全て共通していますので、皆さん認識していただければと思います。

(本店広報班) 本日のプレス状況についてご報告します。午前中は11:00~11:30までプレス会見をしています。蒸発凝縮循環装置の全停について、除洗、超高速凝集沈殿装置のバイパス運転の処理後の結果等について報告しています。夕方は、本日、月曜日ですが統合会見がないということで当社単独の会見になっています。サンプリング結果中心にプラントの状況、3号機の炉注の状況を含めてご報告する予定です。

(安定化 C ████████) 本日の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

~全体会議終了~

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/6(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C [REDACTED]) 近畿地方から中国地方に掛けて甚大な被害をもたらした台風も福島には大きな被害は無かった。本日は朝方、水処理装置のアレバが停止したことがトピックスであった。原因については後ほど報告させていただきたい。

(1F所長) 本日は天候は晴れ。人身災害もなし。色々作業関係各Gから簡潔に。

(1F発電班) 1号機は3.5m³/hで注水中です。RPV底部ヘッド温度が86℃、使用済燃料プール水温度は30℃でD/W圧力は24kPag、全体的に安定しています。2号機は原子炉へ本日16:27に3.4→3.8m³/hに調整している。RPV底部ヘッド温度が112℃、使用済燃料プール水温度は35℃、D/W圧力が19kPagでこちらも安定しています。3号機は、昨日、CS系から3.0m³/h、給水系から1m³減らして6.0m³/h、トータル9m³/hで継続して注水中を行っています。CS系は特に変更していません。RPV底部ヘッド温度は96.3℃、RPV底部ヘッド上部温度が93.9℃で、温度の低下傾向が緩やかになってきているように見えますので、今後も注意して監視していきます。予定では明日の午後に流量調整予定。使用済み燃料プール水温度は33℃、D/W圧力は0.2kPag。4号機の使用済み燃料プール水温度は40℃で安定です。56号機はトピックスとして夜ノ森線の2号機、新福島変電所での作業に伴い、本日7:12に停止している。9/9まで。

(1F1～4復旧班) 水処理、水移送は順調に継続。本日2号H/W→T/Bに11:11～14:54に150m³程、移送を実施している。明日再度2号H/W→T/Bへの移送ならびにサイトバンカからプロセス建屋への移送を、両方とも明日10時開始の予定。水処理はアレバのマルチフローのミキサー不具合でシステムが6:21に停止。攪拌機モーターのサーマルの設定値を見直して15:13にシステム再起動、16:35に流量安定45m³/hで現在も運転している。サリーは25.5m³/hで処理を継続して実施している。2号機は4～5mm上昇している。H/Wの移送の関係で高い方のT/Bの水位はOP3176です。3号機は、4mmの低下で、高い方のトレンチでOP3352という状況です。プロセス主建屋は、63mm上昇して、OP4554です。HTI建屋で22mm下降して、OP2756です。明日はキュリオンのベッセル3塔、サリーのベッセル1塔の交換を予定。本日今朝方大熊線3Lの変圧器3L2に過電圧が発生、実際に一時側の過電圧が発生していて、中給と調整して今後の対応を決めていく。高台のポンプのミニフローラインの設置が完了していて、インサービスは別途、3号機の注水の動向を見て決めていきたい。明日は、高線量作業として、N2封入ラインの現場調査(2～3号機間)、2号のCSラインの電源の接続があるので注意深く行いたい。

(1F5～6復旧班) 本日明日、の作業ですが、6号機の滞留水について、仮設タン

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ク、メガフロートへの移送はありません。明日6号のHPCS D/G室トレンチの滞留水も移送はありません。5号機RHRのモーター潤滑油ポンプの予備機が起動した件、タンク油面が下降していたので100Lほど補給を実施する。

(1F土木班)タンク設置工事は継続して実施しています。無人重機によるガラ撤去ですが、本日は、OP10m 盤の集中ラド付近で引き続き金属ガラ片付けを実施しています明日も継続です。海の工事の関係ですが、1号～4号透過防止口の設置工事で、鋼管矢板の打設を本日も実施しています。本日2本実施し本日までに、全47本が完了。交換矢板の隙間を石等で埋める作業を継続実施。明日は杭打ち線を工事場所から出すためにシルトフェンスの開閉を1回行う予定。

(1F建築班)カバーリング工事関係ですが、1号機は、本日鉄骨の建方を柱2本梁2本を実施、明日は水切りを実施予定。3号機ガラ撤去関係については、3号廻りの北側道路の採石敷き、昇降階段の設置、西側通路、南側ヤードの路盤整備、ガラ片づけ、4号機の南側で2台目の600tクレーン組み立て、明日も継続。4号機Rx/B上部のガラ撤去準備工事では休憩所の搬入組み立て。ガラ運搬は日中の運搬で4号機のガラ、夜間工事で3号のガラをダンプで行う。明日は日中作業のみ。スラッジ貯蔵設備については、スラッジ棟で基礎の配筋、設備棟で流しコン、PC版設置、明日は配筋と流しコンを継続で実施している。

(1F保安班)(書画にて)3号機バースクリーン前面の上昇傾向について、昨日よりも本日はやはり上昇傾向、シルトフェンスの外側は昨日まで上がり傾向だったが本日は下降傾向、明日も海が荒れている関係もあり、測定を行い様子を確認する。(吉田)現場の確認をよろしく。

(水処理 T)明け方のアレバの停止について。水処理全体としてはアレバとキュリオンを運転しプロセス建屋の水を処理していた。また平行して高温焼却建屋にてサリーを運転しながら2系列で処理しながら運転していた。5:51に、高速凝集沈殿装置、いわゆるマルチフローの攪拌機の異常を示す警報が発生して、アレバの全体が停止した。現場を確認したところ、モーターが3つ有るうちの一つにサーマルリレーが働いて、現場でリセットしたところリセット出来た。一過性を疑い6:21に起動を掛けたが、再度6:21にマルチフローの警報が発生してキュリオンアレバの全体が停止することとなった。原因はタンクミキサーの電流値を計るのが最低11A、保護リレーの設定値が12Aと近いことがあり、止まったのではないかと推定している。設定値が近いので12.5A に設定値を変更して15:13に装置起動して16:35に定常流量に到達した。これまでも同じ設定値で問題なく運転できていたので、現象については、継続して確認していきたい。

() 完全に解明できていないようなのでしっかりした原因追求をお願いしたい。

(原子炉安全評価) 9/1から3号機のCS系をインサービスして、1, 2, 3と流量を増やしてきた。またFDWは昨日から1m³しぼって6m³/hにしている。結果

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

としては、それぞれ温度の履歴は、若干温度の低下傾向に歯止めがかかっている様には見えるが、引き続き緩やかに低下している。下部ヘッドと底部ヘッド上部の温度傾向だが、FDWを6にしぼったところ、これらも若干傾きが出て来た。ゆっくり下降しているとみる。この辺の温度が段々100℃を下回り、だんだん飽和温度に近づいてきて、顕熱による冷却になってきているため、冷却効率が悪くなってきているのか、と考えている。上記を踏まえると7→6にしぼったが、全体的には温度は下降しているものとする。RPVの下部は100℃を下回っているが、上部はまだ冷却中であり蒸気は発生しているを見ていて下部の冷却水の温度は100℃を下回っていないと考えている。予定ではあと1日温度監視を行い、このまま異常がなければ、明日の14時以降を目途に給水系を6→5m³/hにしぼっていきたい。今後9m³/hの値を給水系のみでの9m³/hと比較して、CS系の冷却効果を確認して、今後の冷温停止に向けての評価に使っていきたい。

() 慎重にパラメータを確認しながら、明日のオペレーションに繋げたい。

() 部長) 昨日労働組合から、作業管理に関する申し入れを受けている。内容は、ここにきて、予想外の被ばくが断続して発生していて、厳しい見解が出ている。組合からは、健康と安全を脅かす事態を見過ごせない、作業管理の不備を指摘せざるを得ない。具体的には、①災害に対する改善策を早急に講じて組合に報告され、確実に実施されていることを検証されたい、②計画線量を超えることのないようにルール・手順を策定してほしい、③装備品の選定にあたっては適切な装備の用意をすすめてほしい、④作業員一人一人の安全に配慮した被ばく低減作業安全確保を最優先とした作業指示管理の徹底。会社としてもこういったことに反省しながら進めているところ。詳細については作業計画立案やβ線被ばくの可能性のあるエリアを設定したり、といった改善策ができ次第、組合に示していきたい。現場と連携した対応を行っていききたいのでよろしく願いたい。

(本店広報班) 本日の広報内容について、11時～11:33。内容は今朝方の水処理の停止。原因や復旧の見込みに集中した。炉注水の変更に関して、今後の予定、2号機など、が質問に上がった。午後は18時から会見が始まっている。水処理の復帰ならびに福島第二の震災前後の原子炉水やSFPの測定等の各種分析結果について燃料健全性の説明、また2Fの地震直後の写真についてまとめてお渡ししている。

(安定化 C) 組合からの申し入れについては厳しいご指摘だが、真摯に受け止めて、作業員の安全の確保を引き続き対応していきたい。

(1F吉田) 1点だけお願いが。週間朝日の件で、物議を醸しているが、内容自体は現場を見たらびっくりしたということだと見ているが、幹部が発言した、これが誰だとなれば、現場の士気が下がる。なぜこれがニュースバリューになるかという、現場を公開しないからだと見ている。公開していれば全くニュースバリューにはな

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

らないので、広報戦略をもってお願いしたい。こういったことを出るときに、誰が言ったのかとか、いちいち問われると、不毛の議論となるので、配慮をお願いしたいというのが所長としての意見である。これを聞いている関係者では二度とこのようなことが無いように、これを聞いていればもう無いとは思いますが、止めて頂きたい。(安定化センター)二度と隠れてこそこそ案内することは慎むように。1Fの現場は厳しい環境ではあるが、皆さん感銘した、頑張るって欲しいといった皆様のお励まし頂き心の励みとして頑張っているが、おそらくこの記者も同じように感じてくれるとは思いますが、記事になるとこうなるということで、マスコミへの公開の方針について、広報部門にご検討頂きたい。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/7(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(武黒)本日は全体会議前に海江田前大臣、鉢路呂新大臣のお言葉を頂きます。

(海江田前大臣)前経産大臣の海江田万里です。本当に皆様には大変お世話になりました。3/15にこちらにお邪魔いたしまして、8ヶ月弱ですが本当に、皆様と、最初は色々ございましたが、皆様の頑張りの様子がつぶさに分かり、その頑張りにより現在の状況になっていると思います。任務半ばで辞するのは残念な面もあるが、~~丸~~羽鉢呂さんという尊敬している先輩が、新たに経産大臣の任につき、また細野さんは引き続き、事故の収束に向けて頑張ってくれるので、心残りではありますが、今後の心配はございません。これまでお世話になりました、また一日も早い、収束をお祈りいたして、陰ながら全面的に応援していきますので、大変お世話になりました。

(鉢路呂大臣)9/2に野田内閣で経産大臣を拝命いたしました。よろしく願います。今回の事故に伴う政府と東電の統合対策室で、3/11以来、日夜分かたず懸命の対策をなされてきた皆さんへ心から敬意と感謝を抱いております。野田総理からも私自身、また記者会見でも、福島は最大の内閣の使命であると申し上げているところであり、この観点で、海江田前大臣の意を汲んで、細野担当大臣とともに皆さんと懸命の努力をしていきたい、海江田大臣と細野大臣のリーダーシップのもと、対策室のオペレーション、現場の頑張りで第一ステップ完了、第二ステップに向けて、100℃未満、一部まだ到達していないと聞いていますが、それに向けて、ご努力をお願いしたいと考えている。現地で頑張っている皆様には頭が下がり言葉ございませんが、明日、野田総理とともに現地に赴きますが、現地の状況をつぶさに確認し、現地の作業員の皆様に激励の言葉を掛けさせて頂きたい、克服しなければならぬことが多くありますが、当たられる皆様の更なるご努力をお願いさせていただき、ご挨拶にかえさせていただきます。

(武黒)大変お世話になりました海江田大臣、鉢路呂大臣とともに、今後一致団結して対応していく決意を込めて大きな拍手でお送りしたいと思います(拍手)。

(安定化C)本日も3000人を超える方々が現場各所で作業に当たられました。それぞれで作業を展開されて概ね予定通りの進捗でした。その中で3号機において先日より新しくCSラインから冷却して冷却効率を高めていますが順調に冷却できておりますので、給水系の流量を本日低下操作し5m³/h にしています。また2号機のCS系からの冷却効率改善の達成にむけて、電動弁の現場状況を確認し開閉する操作を行っています。高線量の中での作業が成功して

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

います。また4号機の SFP ラインについて、8月にプール冷却のホースにリークがありまして、本日パトロールを実施して粒差に見ておりますが、微少なピンホールを確認しております。その他の作業、ガラ撤去、水処理等が順調に行われています。本日保安院山田課長殿がご視察されております。

(1F 吉田)本日、1F は概ね晴れでありました。熱中症等は発生しておらず、色々な作業がございましたが、全般的に順調に進んでいます。特記として申し上げておきますが、明日6号機の RHRS 本設化に向けて水張りを行うことから、冷却が一時停止する。後ほど詳細は報告する。ご承知おき下さい。

(1F発電班)1号機は3.8m³/hで注水中です。炉注水が低下傾向があったので、14:53に3.5→3.8m³/hに流量を変更している。RPV底部ヘッド温度が86℃、使用済燃料プール水温度は30℃で安定しています。2号機は原子炉へ3.8m³/hで注水中。こちらも低下傾向にあったので本日14:55に3.5→3.8m³/hに調整している。RPV底部ヘッド温度が113℃で安定、使用済燃料プール水温度は34℃。3号機は現在CS系から3.0m³/h、給水系から5.0m³/h、トータル8m³/hで継続して注水中を行っています。RPV 関連が安定していたので14:46にFDWからの流量を6→5m³/hに変更した。現在、RPV底部ヘッド温度は96.2℃、RPV底部ヘッド上部温度が93.1℃で、今後も継続監視する。使用済み燃料プール水温度は31℃、4号機の使用済み燃料プール水温度は40℃で安定です。56号機は明日 RHRS(A)系の水張りを行うために、RHR を停止します。半分は原子炉水、半分は燃料プール水を冷却して切り替えているが、その切り替えの途中で止める予定。温度上昇は普段の上昇の範囲内と考えている

(1F1~4復旧班)本日2号プロセス建屋への移送を継続している。3号機はHTI建屋へ継続しています。2号機のH/W→T/Bに移送を実施している。サイトバンカからプロセス建屋に移送を行っています。水位は2号機は18mm上昇している。トレンチで17mm上昇、3号機はタービン6mm下降、トレンチで4mmの下降、プロセス主建屋は、30mm上昇して、OP4530です。HTI建屋で本日本処理のサリー装置のベッセル交換を行っていた関係から、130mm上昇して、OP2861です。本日はキュリオンのベッセル3塔、サリーのベッセル1塔の交換を実施、14:17ポンプを起動、14:19に定常流量を確認した。明日のベッセル交換は予定されていない。

(1F5~6復旧班)本日明日、の作業ですが、6号機の滞留水について、仮設タンク、メガフロートへの移送はありません。冒頭所長からご説明ありました、6号機 RHRSについて9/9に T/R インサービスの予定。そのために明日RHR(A)系に水を張るために、現在仮設でB系に供給しているこのラインを一旦止める。所要時間は3時間を予定。現在の評価ですと100℃到達が49時間の評

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

価となっており、燃料プール60℃到達が45時間であり、作業時間が3時間なので十分余裕があるものと考えている。

(復旧班)3号機の水移送の補足として、3号機からHTIに現在移送中だが、明日プロセス建屋に切り替えを実施する。ポンプを2台運転にして3号機の水位を極力下げないように移送を行う。

(1F土木班)タンク設置工事は継続して実施実施中。無人重機によるガラ撤去ですが、集中ラドの周辺でコンテナ3個分のガラを撤去した。明日も引き続き実施します。海の工事の関係ですが、昨日1号～4号透過防止口の設置工事で、鋼管矢板の打設を完了しましたので、本日は杭打ち船と材船の取水路からの移動を行っています、これに伴いシルトフェンスの開閉を1回行っていきます。

(1F建築班)カバーリング工事関係ですが、1号機は、本日水切りを終了。明日は鉄骨の建方を最上部の柱梁を据え付ける予定。3号機Rx/B上部ガラ撤去関係については、明日も本日に続き3号廻りの周辺の路盤整備、クレーンの組み立て作業を実施、4号機瓦礫撤去の準備工事は本日と継続して瓦礫の解体を行う。ガラ収集運搬は日中の運搬は明日も行います。夜間工事でのガラを大型ダンプで行うのは本日、明日ともに中止。スラッジ貯蔵設備については、本日設備棟で流しコン完了し、明日はスラッジ棟で基礎の配筋、その段取りを実施予定。

(1F 保安班) (書画) 一昨日、昨日と若干上昇傾向にあった3号機バースクリーン前の放射能濃度ですが、本日は低下してきている。波のうねりが荒いため、その影響であると思われる、引き続き監視していきたい。

(施設基盤部)本日2号機からの炉注水ラインの給水系からCS系にて行おうということで、MO弁の開閉確認を行っている。15時半ころ開閉が出来たということであった。3号機の際には、計画線量越えがあったが、今回は計画線量内で行うことができた。かなり低いレベルで行うことができた。9/15からの注水为目标に現在取り組んでいる。

(冷却PJ) 4号機のプールのSUSフレキシブルチューブの循環配管について漏れ等ないか確認をしたところ、熱交換機前一次系のポンプの出口フレキシブルチューブにおいて漏れが確認された。このチューブは8/12に漏れを確認して新品に交換した部分が、1滴/5分程度で漏れいていた。原因としては3つ考えている。今回の漏れい部は溶接部からの漏れい、内部流体の塩素濃度が非常に高いこと、当時はプール水温度が80℃程度と高かったこと、波面を見た結果、溶接部に酸化皮膜が上手くできていない、溶接は外側からTIGにより溶接する際に、不活性ガスが内面まで行っていないと酸化皮膜の付きが悪い、等3つの要因が考えられる。4号機と同じような水質環境で同様な状況となるか確認を行っている。対策については塩素濃度については塩分除去

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

装置が可動しているので、10月末には100ppm程度に下がる予定でこれで塩分を除去していく、一方温度については循環システムが稼働して100℃以下をキープ出来ている、最後溶接不良はフレキシブルチューブを構造を改良して対策品に交換していこうと。基本的には、SUSのフレキシブルチューブは炭素鋼の配管に交換することで考えているが、ただフレキを使わなくてはならないところもあるので、対策品に取り替えるとして、案としては2つある。一つは現状のフレキと構造が変わらないが、内面から不活性ガスを当てながら溶接しようという考えと、もう一つはベローに溶接のない構造でパッキンを挟んでかしめる形の対策品でモックアップ試験を行い、より良い方に交換することを考えている。工期調達も含め現在12月となる見込み。

() 対策品に変わるまでの間の微少リークの評価についてはどうか。

() 現時点では循環冷却が達成されて温度が低いこと、塩素も除去し始め段々下がってきていること、今の状態で仮に微少リークがあったとしても現在3日に一度程度でパトロールで監視をしていること、あまりリークが多い場合は交換することも考えられるが、当面まずは監視で問題ないと考えている。

(原子炉復旧班) サイトからも炉注を給水系から6→5m³/hにしたので、全体を含め報告したい。

(原子炉安全評価) これまでFDW系で炉心下部に注水して露出した燃料を冷やしてきたが、なかなか上部が冷えないという状況があった。シュラウドの中にあるCS系のリングヘッドから注水することで、露出した燃料やシュラウドそのものを冷やす、その結果RPV上部を冷やすことを狙って、CS系からの注水を行っている。注水系の効果の確認は、RPV上部4点を監視ポイントとして設定している。また従来から注視している、圧力容器底部の温度も継続して確認してきた。炉心スプレイ系からの流量を1、2、3m³/hと増やしてきているが、CS系からの注水をしたところ、示したとおり急激に下がってきており、冷却の効率がよいと認識している。一昨日から給水系がもう少し絞れると考えていて、7→6にしぼっているが、若干傾きは寝ているが、引き続き温度は低下しており、本日より、5m³/hとしている。参考までに、RPVの下部の温度だが、同様に下がってきていて、冷却が継続していると認識している。まとめると、

- ・ CS系からの注水により炉心上部も冷やすことができる
- ・ 給水系からの流量を下げるができる。現在5m³/h。引き続き温度を監視していきたい。

圧力容器の下部の温度指示値はすでに100℃を下回ってはいるが、上部の圧力容器の温度は下がってきているので、上部は蒸気で冷やされていると考えられることから、圧力容器下部の温度そのものはまだ100℃を下回っていないと推定している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

今後の予定は給水系だけからの流量、CS系からと併せた炉心流量の合計は変えない場合での温度挙動を確認するなどして、最適な流量、最適な注水ポイントの検討に使っていきたい。

(広報班) 午前中は3号機の注水状況や2号機のCS系の作業状況、今後の予定の質問があり。午後の実施中の会見では定例の水処理の状況報告で、水処理施設の稼働率等が聞かれると思われる。

(立地班) 福島県の全員協議会が開催された。当社からは西沢社長、小森常務のご出席。主な話題、質疑は事故の内容、事故収束の道筋、損害賠償の質問。

(個人線量管理 G) 一件お願いについて。3月の事故から、法令で定める測定1回/3ヶ月の測定で4月からは1ヶ月に1回を目指してきている。条件が揃わなくてなかなか出来ないところもあったが、WBCの台数も増えてきて、大分キャッチアップ出来てきた。8月の受検者が5,500人、2F, KK で1,000人弱。9月からは1回/月の測定に定常化したいため、月末が混雑するため、なるべく早めに測定するようにアナウンスしたい。よろしくお願ひしたい。9月は企業さんへもアナウンスしているので、9月は平日、月末に混雑すると思われる。

(武黒) 文書でも確実に周知することをお願いしたい。

(立地) 1F の警備に関する情報。1Fの入構者は来週15日以降は写真付きの入構証のみの運用に変更したい。よろしくお願ひする。

(平岡副本部長) 避難された方々の一時帰宅ですが、5/10からスタートし、本日までに、3km圏内を含め、一巡目の帰宅については全て終了。19,926世帯、33,598名が一時帰宅して頂いた。若干熱中症や体調不良の方がいたが大きな事故等はなく、関係者に感謝致したい。現在、車持ちだしのオペレーションを実施していたり、二巡目の一時帰宅に向けた検討を行っている。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/8(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C 所長)本日は天候に恵まれました。野田総理、鉢呂経産大臣、細野担当大臣、益子議員他30名以上が現場を視察されました。J ビレッジ、現場視察に対応された皆さんもお疲れ様でした。ほぼスケジュール通り現場をみていただいた。

プラント・作業関係は、もう一歩立ち止まれば防げた件が発生しました。1F 重要免震棟に入るときにマスクをつけていない件については、マスクを持たずに車に乗ったそうで、早い段階で引き返すことができればそういったことにならずにすんだのではないかと。実体的にはダストのあるところではないので、WBC の結果は問題ないが、もう一歩手前で気をつければよかった。また、サリーの水処理は後ほど紹介するが、運転上でもう一歩立ち止まることができなかつたことが気になる。

安定化 C からのトピックスとして、4号機 SFP のライナドレン分析結果の報告をします。3号機 CS 注水をおこなっていますので、現状の温度状況を報告したい。3号機 R/B での水位計設置(明日予定)について、慎重な作業が必要となる場所だが、簡単に作業計画を紹介します。

(1F 所長)本日は晴天であった。人身事故等はなかったが、残念ながらマスク未着用という事案がありました。現場は怖いと思っていれば防護具は装着するは当たり前だが、そのような意識が低いと思われる。協力企業さんを集めて安推連の場で再徹底した。

プラントについては、6号機 RHRS の水張りのための一時停止を予定通り完了しています。

(1F 発電)1号機は 3.8m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 85℃、SFP 温度は 30℃で安定しています。

2号機は 3.6m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 111℃、SFP 温度は 31℃で安定しています。

3号機は CS 系から 3m³/h、FDW 系から 5m³/h、あわせて 8m³/h で炉注水を行っており、17時現在の RPV 底部ヘッド 97.3℃です。11時の段階で 97.0℃でしたので、6時間で 0.3℃の上昇です。底部ヘッド上部の温度は17時現在で 93.4℃、11時時点で 93.2℃で、6時間で 0.2℃上昇しており、若干の上昇傾向が継続しています。他の部分も継続状態にあります。SFP 温度は 31℃で安定しています。

4号機の SFP 温度は 40℃で安定しています。

5, 6号機については、冷温停止中です。6号機は、RHR の A 系の水張りを本日

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

実施した。明日、9時から RHR 海水ポンプ C のテストランを行って、明日は S/P の冷却、10日に RHR の SHC の切替を行う予定です。

(1F1~4号復旧)原子炉注水について引き続き注視していきます。SFP 関係では、本日、4号機の塩分除去装置において、廃液をタンクローリーに送る際に警報が発生しています。現場パネルの警報はタンクローリーが満水ではないのに現場パネルにて満水の警報が発生した。その後、信号がリセットできたので、移送作業を実施して、無事終了しています。再発した場合は詳細調査を行います。

水移送関係では、2号機タービン建屋からプロセス建屋への移送を継続しています。3号機は移送先を HTI 建屋からプロセス建屋に変更し、ポンプを1台運転から2台運転に変更しています。

水位関係では、2号機タービン建屋で 19mm 下降、トレンチで 17mm 下降です。3号機タービン建屋 21mm 下降、トレンチで 15mm 上昇。トレンチの 15mm 上昇の原因は不明ですが、しばらく監視を強める。プロセス建屋へは移送できているので、徐々に下がってくると思われます。4号機タービン建屋では 4mm 下降です。移送先のプロセス建屋で 48mm 上昇し、OP4524mm、HTI 建屋で 58mm 下降し、OP2760mm です。

水処理装置については、本日サリー装置が停止している。作業中に誤ってシステムの停止ボタンを押して約4時間ほど停止したが、12:12に定常流量に復帰しています。明日の作業は、水処理装置で H ベッセル3塔の交換を予定しています。3号機 R/B の水位計設置作業があります。

(1F5, 6号復旧)6号機 RHRS について、本日約3時間弱で系統復旧しています。明日、RHRS (C) のテストランのためインサービスの予定です。6号機も冷却昨日が強化されることとなります。本日メガフロートへの移送はなく、明日もなしの予定です。6号機タービン建屋から仮設タンクへの移送はなく、明日もなしの予定です。本日の6号機 HPCS D/G 室から T/B への移送は 8.7m³です。

(1F 土木)タンク設置を引き続き継続しています。無人重機によるヤードのガラ撤去は、プロセス建屋周辺にてコンテナ7個分実施しており、明日も継続する予定です。海の工事では、1~4号機透過防止坑工事に関連して、本日は杭打船の移送の解除を行っています。明日以降は、防波堤との間の若干の隙間に袋詰め砕石を投入する工事を行いますので、砕石を運搬する船と投入する船を入れるため、シルトフェンスの開閉を明日1回行う予定です。5, 6号機前面の防波堤の補修工事として、テトラポット設置を本日実施しており、明日も引き続き実施する予定です。

(1F 建築)1号機カバーリング工事について、本日3節目の鉄骨建て方を行い、明日も引き続き3節目の建て方とカペ(?)パネル材の水切りがあります。3号機

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の上部ガレキ撤去工事について、本日はガレキの片づけと600tクレーンの組み立てを行い、明日も継続で行います。4号機の上部ガレキ撤去工事については、本日、ガレキの解体と大型ステージ重機の操作を行い、明日も継続で行います。滞留水関係でスラッジ貯蔵施設建築工事について、スラッジ棟の基礎配筋、設備棟の鉄筋段取りを明日継続して行います。

(本店原子炉安全評価■■■■)3号機の(RPV の)温度状況を説明します。昨日からFDW系の流量を $6\text{m}^3/\text{h}$ から $5\text{m}^3/\text{h}$ に減らして温度状況を監視している。RPV上部の温度は、トータル $8\text{m}^3/\text{h}$ に減らして全体的に緩やかに上昇傾向を示している。RPV下部ヘッド、底部ヘッド上部とも流量変更以降、緩やかに上昇傾向にあります。FDW系のみで $8\text{m}^3/\text{h}$ の時と昨日からのFDW系+CS系 $8\text{m}^3/\text{h}$ を比較すると、それぞれの温度上昇傾向は、若干ですが昨日流量を絞ってからのほうが、温度上昇傾向が高めになっている。現時点の温度が最大で 20°C 、小さいもので $7, 8^\circ\text{C}$ 下がっているので、温度差が大きい分傾きが大きいと推定される。今回の流量の変更後、2日間温度監視を行うことにしているの、さらに1日間温度監視を継続します。その結果、下部の温度が上昇傾向継続ならばもう一日監視を継続し、上昇傾向が収まっていれば明日予定通り $5\text{m}^3/\text{h}$ から $4\text{m}^3/\text{h}$ に流量を絞りたいと考えている。

(安定化C所長) $8\text{m}^3/\text{h}$ 時の比較をしているが、温度の全体のレベルが違っているため、 100°C 未満で温度下げていくことと、 100°C を超えている状況で温度を下げるのは、相変化、顕熱・潜熱の関係があるので、その分析を行う必要がある。

(本店原子炉安全評価■■■■)その通りであり、 100°C 未満になっているものは温度の傾きが特に大きく、上部で 100°C を下回っていないものについては、上昇傾向とはいえ $0.2\sim 0.7^\circ\text{C}$ 程度の上昇であり、下からの蒸気で冷却されているかということ进行分析してから明日報告させていただきたい。

(安定化C所長)そのあたりの考察をしていただき、その先に何 m^3/h 注水するかというステップになる。

(安定化C■■■■)4号機SFPライナドレンのサンプリングを昨日実施しました。3番のところがライナドレンのサンプリング結果です。参考の方は昨日実施したSFP自体のサンプリング結果です。1, 2番は以前のSFPサンプリング結果ですが、ドレン量は9月1日の段階では1リットル/h、9月2日は4リットル/hに増えました。このときは雨がたくさん降っていました。目の前でライナドレンの状態が変わるような状況でした。昨日は晴天がしばらく続いたため、 0.3 リットル/h程度に減っており、明らかに雨の影響があると考えられる。各濃度については、塩化物イオンは9月1日で 1500ppm 程度あり、雨が降った9月2日では 389ppm 程度に下がっており、希釈されたものと考えます。昨日は 500ppm 程度であり、理由はよく

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

分からないが、いったん希釈されて、全体量が減っているの若干増えている程度しかいえなく、相関はないものと考えます。セシウム 137、134 の量も同様にドレン量が増えていったん下がっていますが、また増えている状態で、数値的に相関はないと思われる。この段階では SFP からの漏えいは判断できない状態です。現状のドレン量であれば、0.3リットル/h程度ですので、 $1\text{m}^3/\text{h}$ 漏えいするのに数ヶ月かかる状態ですので、仮に SFP から漏えいがあったとしても補給で十分対応が可能と考えています。今後の対応は、定期的にドレン量を確認します。フレキからの漏えいの確認を行っていますので、1週間に1回程度ドレン量の確認を行い、ドレン量が増加するようであれば雨の影響の有無を考えます。雨の影響がないにもかかわらずドレン量が増加しているようであれば、サンプリングを実施したいと思います。それでなければ、継続監視して、1週間1回の頻度で対応したいと思います。

(安定化 C 所長) 結果的にはよく分からないという状況のようです。トレーサー等が入られるかどうか分かりませんが、ヒドラジンではプールそのものが ND なので、よく分からないことが分かった。継続しての監視をお願いします。

続いて、原子炉建屋の水位計(の設置)をロボットでトライしていましたが、なかなか実施できる目途が立たない。雨によって建屋内に入り込む水の量もしっかり見ていくという観点から、待ってられないので、明日作業を行う予定がありますので、簡単に説明をお願いします。

(安定化 C 滞留水 G) 明日実施します3号機の R/B の水位計の設置について説明します。明日、水位計設置するのは R/B の北東側階段です。1階面から加圧式の水位計を階段の隙間をぬって下まで垂らす操作を行います。階段と階段の幅が非常に狭く、200mm 弱の幅のところを、約 50mm のものを約 12m 下まで通していく作業を行います。1階面の線量は約 $85\text{mSv}/\text{h}$ あり、Rw/B 北側大物搬入口から入りまして、ラド中操で待機し、3班(1班2人)体制で中に入ります。1班約10分の作業時間をもうけます。最大線量は、1人あたり 15mSv を予想しています。装備は、タイベック、アノラック、オキシジェンタンクを背負って入ります。

(安定化 C 所長) 絶対無理をしないようお願いします。昨日、訓練をしたということだが、非常に気になる作業ですので、よろしくお願いします。次は水処理関係のトラブルを報告願います。

(安定化 C 水処理 PJ) 本日、早朝からマスク未着用の方が工事関係者から出ました。本日 5:55 頃、1F 重要免震棟の出入り監視エリアにて作業員1名が全面マスク未着用で通過しようとしていました。本人の意識としては、1F 構内手前でマスクを忘れたことに気がついたが、免震棟まで行けばマスクがあるから問題がないと、誤った意識だったそうです。周囲の人間8人(蒸発凝縮装置設置工事にあたる仲間)が J ビレッジから移動してきたのですが、仲間同士でマスク所持の確

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

認はなされなかった。正門の警備員の対応ですが、通常、人数確認等を行います。その時に放射線管理上の観点で可能な範囲で保護具の着用状況を確認していたが、大型車両にギュウギュウ積めで乗りあっており、当該作業員は後部座席にいたため目が届かなかった。再発防止としては、1F 保安班とも協力して展開していく。当該作業員、同乗者全員に対して、構内立ち入り時はマスクが必要であることを再教育した。1F に向かう車両の運転手に対して、「J ビレッジまたは 2F の(?)で乗車する作業員のマスク所持状況を確認するというルールを決めていく。正門警備員に対して、乗車している作業員のマスク着用状態を運転手に確認することをルール化する。正門にはいるまでは原則マスク着用の必要はないが、正門通過後はマスク着用が義務づけられます。マスクを所持していない者が正門で引っかかったら、正門にマスクを備え付けておいて、入構前にマスクを着用させる運用とします。注意喚起ポスターを正門、休憩所の目につきやすいところに掲載し、徹底を促します。我々は、事故収束の場において、世界一危険な現場で働いているという自覚・意識を、改めて我々自身・協力企業に呼びかけていきたいと思えます。作業員同士でお互いに相手の装備を確認しあって、コミュニケーションを取り合っていくことも重要です。

2点目ですが、こちらもヒューマンエラーです。本日の午前8時にサリーの停止事象がありました。その後、12:12に定常流量 25t/h に復帰しました。状況としてはサリーの非常停止操作がなされた。原因としては、サリーの制御盤の隣に、ヤードで設置工事を行っている高レベルタンク制御盤を設置中でした。そこで、現場と制御盤でテストをやっていましたが、その際にブザーが鳴り、操作員がサリーの警報と勘違いしました。サリーの運転は比較的安定しており、普段の運転で操作をすることが少なかったため、操作員は応用動作、急な警報がでて非常にびっくりし、サリー操作盤非常停止ボタンを押してしまった。(書面説明)こちら上段の目立つところにエマージェンシーストップボタンがあり、その横にログのボタンがある。ログを確認していたが、ブザーが鳴りやまないため、非常停止ボタンを誤って押してしまった。運転操作に係る手順や注意事項や再教育を進めていき、本事例の情報共有を行います。また、サリーはインサービスして1月足らずで、操作員が習熟しておらず、通常運転時に運転画面を操作することが少なかったため、今回の事象では非常に驚いたようで、立ち止まって考えることができずボタンを押してしまった。ヒューマンエラーでありますので、きちんと情報共有をしながら再発防止に努めたい。

(安定化 C 所長) 教訓という意味合いでは、もっと広い範囲の対応があると思われる。装備の方については、いろんな作業で起こるかもしれないので、広めの展開をすぐに行う必要がある。サリーについては、操作に携わる人はたくさんいるわけではなく、運転・操作のプロとしてしっかりした設備知識、操作の訓練、二人

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で相談できるような状況にするなど、まだ対策に奥行きが深くないことが気になります。周知ということですが、運転側のレベルを高める対応が必要と思われますので深掘りをお願いします。起こした本人を責めるわけではなく、皆でよく議論を行うことが重要です。

(本店広報) 本日のプレス状況ですが、11時に当社単独、16時半から統合記者会見を行いました。午前11時については、今まで説明していただいた案件に対して1時間ちょっと対応しています。サリーの停止の件、全面マスク未着用の件、昨日の4号機フレキホースからの微少な漏えいについて聞かれた。時間が一番かかったのは、KKのストレステストに関する質問が多かった。特に、今後の予定についていろいろ聞かれた。16時半からの統合会見については、当社からの特記事項は、Jビレッジと1Fの移動体制の見直し、5、6号機 S/B 医療室が充実した状況を動画で説明しました。

(本店■■■■) 本来は厚生班から説明した方がよいかもしれませんが、今日の動画を明日(説明?)できればしていただきたいと思う。移動体制の変化については、今まで1F 免震棟と5、6号機 S/B で医療班をくんでいましたが、今後は5、6号機 S/B で一本化するということになり、看護師を1名追加し、スクリーニングと除洗、重傷者搬送の判断をします。また、Jビレッジについては、1600人の方が寝泊まりするため、充実を図るということで、引き続き、産業医科大学、労災病院の指導をいただきながらやっていく。1Fの5、6号機の医療体制について、万が一被ばくをした場合に、除染の(?)ができる設備を追加した。詳細については、明日にでも動画で説明いただければと思います。

(本店高橋フェロー) 動画はどこが用意するのですか?

(本店■■■■) 厚生班です。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/9(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C 所長)9日の夜の全体会議を開催します。天候的には安定した天候でした。1号機のカバーリング工事について後ほど説明します。ウェブカメラでも見ていただけますが鉄骨の建方が終了するひとつの節目となっています。3号機の炉注について後ほど説明しますが温度が若干上がり気味という状況です。作業関係については何点か安定化センターから補足します。まずは1Fからプラント状況、作業状況の説明をお願いします。

(1F)いい天気で気温があがり作業員は汗びっしょりとなっていました。クールベストをつけていただき傷病者発生はありませんでした。プラントの方ですが、1号機骨組が終了したということでひとつの節目になっています。3号機に関しては原子炉建屋の水位計の設置、炉注水流量をどうするかといった話があり、パラメータが変動しているということで様子もみることとしています。6号機は、RHR Sの本設が動きまして、RHRA系のポンプも順調に動いております。明日以降切り替えて、フラッシングを実施して本格的に稼働するフェイズに入っていきます。

(1F 発電)1号機は 3.7m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 86℃、SFP 温度は 30℃、D/W 圧力は22kPagage で安定しています。

2号機は 3.7m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 113℃、SFP 温度は 32℃、D/W 圧力は20kPagage で安定しています。

3号機は CS 系から 2.9m³/h、FDW 系から 5m³/h、あわせて 7.9m³/h で炉注水を行っており、17時現在の RPV 底部ヘッド 97.9℃、底部ヘッド上部が 93.8℃、流量変更して2日たちましたが、ゆっくり上昇傾向ですので現状流量でパラメータを監視します。プール水の温度、D/W の圧力は変化ありません。4号のプール水は40℃で安定しています。5、6号機については、冷温停止中で冷却です。

(1F1～4号復旧)原子炉注水について引き続き注視していきます。SFP 関係では、本日、4号機のスキマサージの補給を実施しています。水移送関係は2号・3号ともプロセス建屋へ移送を継続しています。3号機はポンプ2台運転です。水位関係では、2号機タービン建屋で 16mm 下降、トレンチで 18mm 下降です。3号機タービン建屋 20mm 下降、トレンチで 11mm 下降です。4号機タービン建屋では 13mm 下降です。移送先のプロセス建屋については、2号・3号すべてプロセスに送っているため、87mm 上昇し、OP4744mm、HTI 建屋で 158mm 下降し、OP2314mm です。水処理装置については、キュリオン、アレバ、サリー順調に稼働しています。本日、キュリオンの H ベッセル3塔交換を実施しています。明日も H ベッセル3塔交換予定です。本日の作業のトピックとして、3号機の原子炉

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の水位計を設置していますが、位置関係、機能等が確認できていないので、数日かけて機能確認を実施し、インサービスする予定です。

(1F5, 6号復旧)本日メガフロートへの移送はなく、明日もなしの予定です。6号機タービン建屋から仮設タンクへの移送はなく、明日もなしの予定です。6号機の RHRS と RHR による炉心の冷却、本設による冷却となりました。関係者のみなさんありがとうございました。

(1F 土木)タンク設置工事ですが、G エリア、H エリア、本日、明日継続実施です。無人重機によるヤードのガラ撤去は、本日集中ラド周りを実施しましてコンテナ11個分実施しています。明日は4号機 T/B 南側に移動予定です。海の工事では、1~4号機透過防止坑工事は継続実施ですが、本日、シルトフェンスの開閉が1回ありました。

(1F 建築)1号機カバーリング工事について、本日3節目の鉄骨北側の梁の取り付けを実施し、鉄骨は建て方を完了しました。本日3枚のパネルの水切りを実施しています。明日は壁パネルのたてこみに着手します。3号機の R/B 上部ガレキ撤去工事について、本日は北側道路で鉄板敷き、南側ヤードでガレキの片づけ、西側道路で 600t クレーンの組み立てを行い、明日も継続で行います。原子炉建屋の南西側の崩壊している柱の撤去に着手します。4号機の R/B 上部ガレキ撤去工事については、南側ヤードでガレキ片づけ作業、明日も継続になります。スラッジ貯蔵施設建築工事について、スラッジ棟の基礎配筋、設備棟の鉄筋段取りを明日継続して行います。

(安定化 C 所長)6号機の原子炉の冷却が本設になったのは非常に安定した状態に近づいたと思います。関係者のみなさんご苦労さまでした。建屋関係で3号機の梁が垂れ下がっているものの撤去の話がありました。建築関係について1号機のカバーリングの状況と3・4号機のガレキ撤去について、説明させていただきます。

(放出抑制プロジェクト G) (書画により)こちら、1号機のカバー工事の本日の状況です。最上層の柱、梁、梁をつなぐ「ひうちばり？」といいまして補強するものですが、こちらまで建て方が完了しました。明日以降、側面にパネルを付けていく工事、上部にプラスに膜材をはったものを据え付けていく工事を行う予定です。3・4号機の R/B 上部のガレキ撤去につきまして、本日、6時からプレスリリースしております。プレス内容は、明日より3号機のガレキ撤去に着手する。4号機については、9月中、20日前後に工事に着手するという内容です。概要を説明しますと、3号機は線量が高いため、R/B 周辺にコウダイを設置しまして、その上に無線式の解体重機を設置して使っていく。それと地上に設置した大型クレーンのペアで上部の解体を進める計画です。4号機については、比較的線量が低いため、地上面に設置した大型の解体重機により上部のガレキ(柱、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

梁、トラスト)の撤去に取りかかる予定です。

(安定化 C 所長)1号機のカバーリング、3/4号機の作業の状況については、時間のあるときに紹介していきたいと思えます。それでは、原子炉関係の情報として、3号機の圧力容器関係の温度状況について、本店原子炉安全評価の■■■■さんから紹介していただきます。

(本店原子炉安全評価■■■■)(書面にて)3号機の圧力容器の温度につきましては、こちらが CS を入れてからの3号機の圧力容器下部ヘッドと底部ヘッド上部の温度の水位になります。一昨日から給水系を6から5m³/hにしぼりまして傾向を監視してまいりました。安定して上昇傾向が見られなければ、予定では、本日14時から15時の間でもう1m³/hしぼる予定でしたが、ごらんの通り、非常にゆるやかですが、2~3時間で0.1℃の上昇傾向でゆるやかですが上昇傾向が継続していますので、注水流量をしぼる操作を中止し、傾向を週明けまで監視していきたいと考えています。参考までに RPV 上部温度を示しますとこのようになっています。給水流量を5m³にしぼって以降、ゆるやかな上昇傾向を続けていまして、RPV 自体はゆるやかに上昇傾向を示している状況です。昨日も申しましたが、今後も冷温停止に向けた注水流量の評価を実施していきたいと考えております。

(安定化 C 所長)引き続き状況をよく見ていくことをお願いします。この関係で炉注をバリエーションに変えていくために注水側もしぼったりできるようにミニフローライン、バイパスラインの設置を進めていますので、その作業について説明をお願いします。

(循環冷却注水 G)炉注の方は水処理のバッファタンクから常用の高台ポンプ、非常用高台ポンプがありますが、こちらで原子炉の方に注入をしています。先日、3号機の流量調整弁を設置しましたが、こちらのポンプの流量をかせいでしぼりの状況を改善することもありまして、ポンプの吐出側からバッファタンクにミニフローラインを設置してまして、8月末から実施していましたが工事が終わりました。来週月曜日、火曜日に常用系、非常用系の試運転を行います。非常用系の試運転を行う場合は、非常用系に切り替えて行うということで来週月~水で実施したいと思えます。

(安定化 C 所長)慎重にみていただきたいと思えますが、流量の精度が出ることを期待したいと思えます。安定化センターは以上です。本店本部側お願いします。

(本店広報班)本日11時と18時30分から、当社単独会見となっております。午前中は3号機水位計の設置について、4号機のライナードレン水の質問が出ています。ライナードレンについては、ドレン水の流量はへっている。原因については、継続して調べるということで回答しています。昨日もありましたが、ストレ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

テストの質問等がよせられ45分で終了しています。午後18時30分からについては、3・4号機の原子炉建屋のガレキ撤去の話、1Fの事故後の話、これは事故を振り返って、これまで質問があったことをまた質問されることと思います。もう一つは平成5年当時の放射線管理区域内作業の18歳未満の就労が、平成5年当時のことでそれが発覚しましたのでプレスしております。内容については、平成5年9月から平成6年1月にかけて当社の原子力発電所で18歳未満が従事していた。これについては、平成20年に18歳未満の再発防止策をたてており、身分証明書を確認するというので、今、おきることはないが、過去にあったということでプレスしています。

(工務部) (書画により) 新福島変電所の工事の関係で2Fの富岡線の関係の富岡線停止について説明します。新福島変電所については工事を進めています。富岡線の母線にあたります架空地線(グランドワイヤー)のテンションが高い状態になっている。この関係でグランドワイヤーを取り外したいと考えています。ごらんいただいているのは、新福島変電所の母線のグランドワイヤーの状況です。右側が送電線で左側が母線です。今回の地震によりグランドワイヤーがはってある頭頂部が送電側に傾斜しています。この関係で母線の上にあるグランドワイヤーのテンションが高い状態で台風、冬の着雪を考えるとグランドワイヤーが断線する恐れがあります。夏期の雷シーズンが終わっているので、取り急ぎグランドワイヤーを外す工事を計画しています。工事の期間は、来週月曜日12日の9時～17時で予定しています。富岡線の1L、2Lが8時～18時停止する予定です。2Fの外部電源については、富岡線の1L、2L、岩井戸線の1L、2Lの4系統から供給していますが、このうち富岡線の1L、2Lが8時～18時停止することとなります。停止しますが負荷的には問題ありません。所内の停電も発生しないという状況になります。万が一の岩井戸線の不具合を想定しまして、バックアップとしてEGを9台待機、電源車を10台配備し対応をはかる予定です。

(本店) 大変お世話になっております細野大臣、中塚副大臣、園田政務官のお三方がお忙しいなかお見えになっておりますので、あいさつを頂戴したいと思います。よろしく願います。

(細野大臣) 細野でございます。引き続きまして事故の収束にあたることとなりましたのでよろしく願います。昨日は、Jビレッジ、福島第一に総理とともに訪問させていただきました。大変お世話になりました。現場のみなさんが本当によくやってくださっていて、ひとつひとつ成果がでていることを確認させていただきましたので大変心強く感じました。われわれの目標は、第2ステップ達成ということが当面あるわけですが、これかれもいくつか超えなければならない山があると思っております。ここまではみなさんの努力で進めてまいりましたが、ひとつひとつ着実に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしく願います。私とともに

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

事故の収束に向けて政務官責任者として中塚副大臣と園田政務官が対応することになります。これからも幅広い意味でみなさんと活動する仲間でございます。力を合わせてがんばっていきたいと思います。

(中塚副大臣)このたび内閣府の副大臣を拝命しました中塚でございます。これまで原発対策PTの副座長として、この問題にあたってまいりましたが、今回、政府として細野大臣とともにそしてみなさんとともに問題解決をはかっていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。一緒にがんばりましょう。

(園田政務官)園田でございます。引き続き細野大臣、中塚副大臣と政務官として(…聞きとれず)。先ほど大臣からも話しがありましたとおり、みなさん方とともに必ず結果を出すということで進めたいと思います。また、地元のみなさんが帰れるように(…聞きとれず)、現場のみなさん方、作業員のみなさん方、一緒に必ず…その思いでがんばりますのでよろしくお願い致します。

(本店)どうもありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

(安定化センター所長)ありがとうございました。われわれも今の言葉を受け止めてしっかりとがんばっていきたいと思います。

富岡線の話がありましたので第二の方も、新福島と連携して作業、プラントの状況も監視して実施していただければと思います。

(2F)了解しました。

(安定化センター所長)会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/10(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C 所長)本日も天候は暑いくらいであった。15時くらいに、地震が発生したが、茨城県北部で震度4であったが、浜通り側にはたいした影響はなかった。また、本日怪我人や気分の悪かった人が発生したが、大きな怪我ではなかった。今後も注意していく。明日、保安院の顧問の方が来訪する。その説明を実施しており、部長クラスは現在不在。

サリーのベッセル交換を明日実施する予定である。また、3号機ポンプをプロセス建屋から切替する予定である。

(1F ■■■)2件の怪我人が発生した。一人は釘を踏んでしまった、一人は車に乗る際に躓いてしまった。今後十分に注意していきたい。

特記事項としては、3号機は流量を同じレベルに保って水位を見ているが、6号機は RHR(A)のフラッシングを終了し本格的に動いている状態である。

(1F 発電)1号機は 3.6m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 86℃、SFP 温度は 30℃、D/W 圧力は 22kPagage で安定しています。

2号機は 3.5m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 114℃、SFP 温度は 33℃、D/W 圧力は 20kPagage で安定しています。

3号機は CS 系から 2.9m³/h、FDW 系から 5.0m³/h、あわせて 7.9m³/h で炉注水を行っており、17時現在の RPV 底部ヘッド 98.3℃、底部ヘッド上部が 94.8℃です。流量調整以降、ゆっくり上昇傾向している。24時間で1℃以下で非常にゆっくりであるが、パラメータを注視していく。SFP 温度は 32℃、D/W 圧力は 0.2k Pa で安定しています。

4号のプール水は 40℃で安定しています。

5, 6号機については、冷温停止中で冷却です。

昨日、本設の6号機 RHRS(C)の T/Rを実施し、本日 B 系から A 系に切替えている。熱交換器出口温度で仮設海水ポンプでは温度差約5℃であったが、本設では約7℃であった。

(1F1~4号復旧)1, 2号機は炉注水流量下がれば調整する。SFP への注水は特にない。水移送関係は2号・3号ともプロセス建屋へ移送を継続している。水位関係では、2号機タービン建屋で 16mm 下降、トレンチで 17mm 下降です。3号機タービン建屋 17mm 下降、トレンチで 12mm 下降です。4号機タービン建屋では 14mm 下降です。移送先のプロセス建屋については、79mm 上昇し、OP4961mm、HTI 建屋で 149mm 下降し、OP1904mm です。

明日 HTI へ移送先を切り替える予定である。

水処理装置については、キュリオン、アレバ、サリー順調に稼働している。本日、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

キュリオンの H ベッセル3塔交換を実施している。明日はサリーのベッセル1塔交換するため、数時間停止する予定である。

(1F5; 6号復旧)本日メガフロートへの移送はなく、明日もなしの予定です。6号機タービン建屋から仮設タンクへの移送はなく、明日もなしの予定です。

滞留水の淡水化装置は仮設ラインで試運転中である。15:12、RHRS 本設による非常時熱負荷モードでインサービスを実施した。

(1F 土木)タンク設置工事ですが、本日 G エリア、H エリアを実施しました。明日休み。無人重機によるヤードのガラ撤去は、本日4号機 T/B 南側を実施し、コンテナ数8個であった。明日は準備工でガラの撤去はなし。海の工事では、1～4号機透過防止坑工事及び北護岸のテトラポット据付を継続実施しているが、明日は北護岸のテトラポット据付のみを実施する。

(1F 建築)1号機カバーリング工事について、〇〇(カレルファンネルノサイカッ コキタメン)2枚の取付を完了している。明日はパネルの水切り作業を予定している。3号機の R/B 上部ガレキ撤去工事について、本日は南西の崩壊柱の撤去作業に着手し始めた。南側ヤードでガレキの片づけ、西側道路で路盤整備、600t クレーンの組み立てを行い、明日も継続で行います。4号機の R/B 上部ガレキ撤去工事については、南側ヤードでガレキ片づけ作業を行っており、明日は休工。スラッジ貯蔵施設建築工事について、スラッジ棟の基礎配筋、設備棟の配筋段取りを行った。明日は休工。

(1F ■■■) 明日、西澤社長がお見えになる。

(本店環境影響評価チーム) (書面で説明)まず、放射性物質の採取地点を紹介する。R/Bから出る放射能濃度、敷地内のダスト濃度は3月以来測定している。海側については海上ダスト濃度の測定をやっている。R/B 上部については T ホーク等で測っている。

1, 2, 3号機について R/B 直上部を測定については、今回2回目ということで、3号機にて実施したいと考えている。サンプリング装置だが、スカートをつけて地面に設置する。今まで点でエリア濃度を測っていたが、スカートをはかすことにより面で測定できるようになる。そのため、測定精度の向上が期待される。

明日、1号機の測定を実施する予定で、測定ポイントは4点であるが3点を重点的に測定する。1点は時間があれば実施する。

明後日、3号機の測定を実施する予定で、同じように測定をする。(書画面面上の)このエリアが比較的濃度が高かったため、風下方向も測定する。

(安定化 C 所長)明日、明後日地下防災タンクの耐圧試験を行う予定。

(本店広報班)午前中はプラントデータの紹介、1F-1 の R/B 建屋カバーの建て方終了について公表した。建て方終了についてや3号機の瓦礫撤去等質問を頂いた。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

夕方の会見については、通常のサンプリング結果に加えて、今紹介のあったダスト採取についてお知らせしている。

今後広報として、シリーズ企画として一つのテーマを説明することを企画している。今回はシリーズ1回目として、冷温停止の維持取り組みについてマスコミへの説明を予定している。原子炉注水システムについて動画、写真を中心に説明していく。順次色々なテーマを設定して説明していく。

(福島地域支援室) R/B 上部ダスト測定について、スカートから空気を引っ張るものなのか？

(本店環境影響評価チーム) 自然な流れを作って採取する。強制的に引っ張るものではない。

(福島地域支援室) 自然な空気の流れでフィルターにつくのか？

(本店環境影響評価チーム) サンプリング吸引口を排気口に作りそこは強制的に引っ張るが、排気塔は自然な空気の流れ。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/11(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C)今日は事故から6ヶ月経過した。本日は社長が1F,2F へ来訪し激励の言葉を掛けて頂いた。一歩ずつ収束に向けて進めていきたい。

天候は安定しており、ダスト測定もできた。作業関係は日曜日ということもあり、大きくはないが定例的な作業を実施した。

3号機の CS 系からの注入は順調であり、2号機についても明日以降工事を実施していくため準備を段取っていく。

(1F 吉田)作業順調である。人身事故はなかった。

(1F 発電)1号機は 3.8m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 86℃、SFP 温度は 30℃、D/W 圧力は 22kPagage で安定しています。

2号機は 3.8m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 114℃、SFP 温度は 33℃、D/W 圧力は 20kPagage で安定しています。1、2号機については、17:40に流量を増加させている。

3号機は CS 系から 2.9m³/h、FDW 系から 5.0m³/h、あわせて 7.9m³/h で炉注水を行っており RPV 底部ヘッド 98.5℃、底部ヘッド上部が 94.3℃です。流量調整以降、安定している。このまま安定していれば、明日に注水量を1m³/h 低下させる。SFP 温度は 32℃、D/W 圧力は 0.2kPa で安定しています。

4号のプール水は 41℃で安定しています。

5、6号機については、冷温停止中で冷却です。

6号機の RHR(A 系)も順調に冷却できている。

(1F1～4号復旧)2号機立て坑からプロセス建屋への移送は継続中である。3号機 T/B からプロセス建屋への移送は2台運転で行っていたが、9:35停止して、10:00に3号機 T/B から HTI 建屋へ1台運転で再開している。

キュリオン、アレバは継続運転しており、サリーはベッセル交換のために9時に停止し、12:50に再起動し、12:58に流量安定した。17時現在でキュリオンが 43.6m³/h、サリーが25m³/h で運転している。

水位関係では、2号機タービン建屋で 17mm 下降、トレンチで 17mm 下降で、高いほうで OP2983mm です。3号機タービン建屋 2mm 上昇、トレンチで 12mm 下降で、OP3237mm です。移送の切替えにより、一過性で上昇したものと考えられる。4号機タービン建屋では 14mm 下降し、OP3089mm です。移送先のプロセス建屋については、1mm 下降し、OP5082mm、HTI 建屋で 27mm 上昇し、OP1674mm です。

本日、サリーのベッセル1塔交換を実施した。明日はキュリオンの H ベッセル3塔交換を予定している。

高レベル用の地下防災タンクの漏えい試験を行い、1カ所リークが確認された

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

のでパッキン交換をしている。明日も漏えい試験を継続していく。

2号機 CS ラインのホース敷設がある。高線量の作業である。

2号機 T/B 水移送ポンプの追加作業を行う。

計装用備品倉庫の作業で M/C 搬入据付作業がある。

また、1号機 CRDPIP 接点調査を行う。

(1F5, 6号復旧) 本日、滞留水の移送はなかった。明日は、6号機 T/B から仮設タンクへの移送を10～16時に実施する。メガフロートへの移送はなし。

(1F 土木) 高濃度 RO タンク、セシウム吸着塔の仮保管設備について本日作業はなかったが、明日から継続になる。ガラ撤去は、本日作業なし。明日は、ガラのほうは、ガラ取作業はないが、今後無人機が4号機逆洗弁ピットに入っていくので、進入路の準備工がある。集塵機については3, 4号機のタービン海側の道路で実施する。1～4側の海峡内で船による採石の設置を明日実施する。

(1F 建築) 1号機カバーリング工事について、本日午前中水切りを実施している。パネル材3枚。パネルつぎ込みについてはダストサンプリングの関係で休工である。3号機のガレキ撤去関係は、継続作業だが、R/B 西側の崩壊柱の撤去作業、南側ヤードでガレキの片づけ、西側道路において600tクレーンの組み立てを実施した。明日もこれら作業に加えて、大物搬入口の撤去作業を開始する。スラッジ貯蔵施設建築工事について、本日は休工で、明日は基礎配筋を行う。

(1F 吉田) TBS系 TV 番組であったが、事実に基づかない憶測が発電所の検診という形で出ている。特に東芝 OB の発言は事実に基づかない。一般は事実だと思う。士気にも関わる話。本店本部からクレームをすべき。

(会長) 事実関係のチェックを広報に確認させて、きちっと処理したい。

(広報班) 対応する。報告していく。

(安定化センター水処理プロジェクト) (書画で説明) 来週、13～14日にかけてキュリオン、アレバの装置を停止させて、保全工事を計画している。サリーは継続で運転する。油分離装置については本日漏えい試験をしているが、移送するラインをつけるためにポンプを設置する。それにより、万一の場合に高レベルのタンクの方に移送できるようにする。また、攪拌機の取替を実施する。キュリオンの処理した水を SPT へ移送するポンプについても取替える。キュリオンのポンプ (H3) が死んでいるため、一つを取り替える予定。2 日間で4つの工事をする予定。(詳細は資料を参照のこと)

(本店広報班) 今日は日曜日であるが、午前午後から 〇〇 広報担当からのレクと会見を行った。午前中は、半年ということで社長からのコメントをマスコミに配布している。T/B の OP が 3000 を割ったということで、今後の原子炉への注水計画等聞かれている。合わせて、冷温停止の達成時期も聞かれている。

午後は、1号機ダストサンプリングの実施状況、3号機 T/B からの HTI への移送

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

変更関係、明日行われる1号機から3号機の炉注のミニフローラインの追設による試運転の予定を説明する予定。社長の訓辞映像の公開を予定している。

(OFC 柳沢本部長)このたび経済産業大臣政務官、原子力災害現地対策本部の本部長を勤めることとなった参議院議員の柳沢といいます。東電出身の小林議員とは同期であり、皆様のご苦勞は直に話しを受けている。この6ヶ月、死にものぐるいの努力で安定し着実に良くなっている。心から敬意を表したい。除染活動に入り、一人でも二人でも早くふるさとに帰ってもらおうとしている。

福島原子力発電所の収束させることが日本のみならず世界に対しても重要な責務であると考えている。

できる限り現場に赴き、情報を聞かせて頂く努力をしていきたい。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/12(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C) 本日は天気が良く、作業としては順調であった。

2号機の炉注について CS 系からについても注入するための工事について、本日から開始されている。今週中に CS 系から注入をしたいと考えている。

建屋カバーリングについては、1号機ではパネルが付いたり、3号機ではガレキの撤去が順調に進んでいる。

本日、3号機原子炉建屋のダストサンプリングが行われている。

水処理も順調であるが、明日、明後日はキュリオン、アレバを停止し、保全工事を実施する。

(1F 吉田) 今日暑い晴天であったが、熱中症や人身災害はなかった。全体的に順調であった。

(1F 発電) 1号機は $3.8\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 85°C 、SFP 温度は 30°C 、D/W 圧力は 23kPagage で安定しています。

2号機は $3.7\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 114°C 、SFP 温度は 33°C 、D/W 圧力は 19kPagage で安定しています。

3号機は14時頃、流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 低下させる操作を実施しており、CS 系から $3\text{m}^3/\text{h}$ 、FDW 系から $4.0\text{m}^3/\text{h}$ 、あわせて $7\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っています。RPV 底部ヘッド 98.6°C 、底部ヘッド上部が 94.4°C です。流量低減してから 0.1°C 程度上昇している。パラメータについては監視していく。SFP 温度は 32°C 、D/W 圧力は 0.2kPa で安定しています。

4号のプール水は 40°C で安定しています。

5, 6号機については、トピックスなし。6号機の RHR 系による冷却により、炉水温度、プール水温度は以前に比べ 2°C 程度低い状態となっている。

(1F1～4号復旧) 水移送関係は2号立て坑からプロセス建屋、3号 T/B から HTI 建屋への移送を継続している。

水処理関係は運転継続であり、本日キュリオン H ベッセル3塔交換を実施している。

水位関係では、2号機タービン建屋で 16mm 下降し OP2937mm、トレンチで 19mm 下降し OP2873mm です。3号機タービン建屋 2mm 下降し OP3002mm、トレンチで 8mm 下降し OP3215mm です。4号機タービン建屋では 12mm 下降し OP3059mm です。移送先のプロセス建屋については 30mm 下降し OP5005mm、HTI 建屋で 6mm 下降し、OP1656mm です。

明日からであるが、3号機の原子炉建屋に水位計を設置しデータのチェックが終わったので、明日の7時から計測を実施する予定である。参考として、16時の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

データは OP3055mm となっている。

4号機 SFP へ水を19m³補給した。

明日、2号機の CS 系からの炉注工事として接続ジグを設置する予定である。14日、ホースを敷設し注水をしたい。

また、2号機 T/B に水移送用のポンプを設置する予定である。

水処理装置については、明日からキュリオン、アレバを停止して、14日まで保全工事を実施する。

水移送であるが、2号機立て坑からプロセス建屋へ移送しているが、HTI 建屋へ変更する。

6号機の滞留水について、T/B から仮設タンクへの移送を本日に引き続き実施する予定で、10時～16時に移送する。

メガフロートへの移送はなし。

HPCSD/G 室のトレンチの滞留水であるが、T/B 地下への移送を本日に引き続いて実施する予定である。

(1F 土木) 高濃度 RO タンク継続である。セシウム吸着塔の保管設備も継続である。ガラ撤去は本日無し。集塵機は3、4号機 T/B 側道路で実施しており、明日は2号機逆洗弁ピットあたりを実施する予定である。1～4号機海側の工事であるが、袋詰めの採石の設置をした。本日、シルトフェンス外に出ていた杭打ち船の開口を予定通り実施した。明日、シルトフェンス開閉はない。

(1F 建築) 1号機ガバーリング工事について、北面の壁パネルの取り付けを実施している。明日は北面、東面の壁パネル取り付け及び水切りを実施する予定である。3号機の R/B 上部ガレキ撤去工事について、大物搬入口の解体、西側の壁面に垂れ下がっていた柱のガレキ撤去、3号機西側道路で路盤整備、600t クレーンの組み立てを行っており、明日も継続で行います。4号機の R/B 上部ガレキ撤去工事については、南側ヤードで採石路盤整備を行っており、明日はそれに合わせて H 鋼の敷鉄板の敷設、休憩所の内装工事を行う。ガレキの収集運搬については、日中工事においてテントヤードの設置工事、夜間では重ダンプを使った3号機のガレキ運搬を行っている。明日も継続に行う。スラッジ貯蔵施設建築工事について、スラッジ棟の基礎配筋、設備棟の基礎背筋を行い、明日も継続である。

(本店環境影響評価チーム) (書画で説明) 昨日実施した、1号機のダストサンプリングの状況について説明する。サンプリング装置を大型クレーンで吊り上げて、4m×4mのスカート上の物をオペフロの上に設置し測定している。横風の希釈を防ぐため、スカートを取り付けている。オペフロ上で4点測定している。前回測定した結果、高かった場所を選んだ。測定にあたっては、着地をさせて測定している。結果は、高い箇所でセシウム137が $1 \times 10^{-4} \text{Bq/h} \cdot \text{cm}^3$ であり、前回8

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

月に測定した結果は $1 \times 10^{-5} \text{Bq/h} \cdot \text{cm}^3$ なので一桁以上高い数値で測定できた。そのため、風の影響を受けずにサンプリングの測定がうまくいったと考えている。これをふまえ、放出量の評価をしていきたい。

(本店広報班) 本日は11時から単体会見、16:30から統合会見を行っている。午前中は昨日の報道特番の内容について当社スタンスを説明している。当社が全面撤退を要請したことについて当社立場を説明した。IC の運転について把握している事実関係を説明した。ベントについても説明した。1, 2号機の状況について取り違えていたのではないかと報道されていたが、それについても説明した。3号機のメルトダウンについて当社としてやったことを説明した。これから、手続きを経て TBS にコールする段取りとなっている。

16:30からは3号機のサンプリングの話だとか、CS ラインの話を説明する予定。
(本店厚生班) (動画で説明) 先週プレスで公表した5, 6号機の救急医療室の映像を紹介する。広島大学大学院の■■■先生が動画上で説明下さる。全体の医療チームの総括をされている先生である。(動画鑑賞)。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/13(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C █████) 本日は大変蒸し暑い一日でしたが、現場作業は順調に進んでいます。継続作業は概ね予定の進捗が得られました。継続作業に加えまして、様々なオペレーションが展開されました。AREVA、KURIONを停止しての修理、2号機の CS 注入のための準備工事、1号機の R/B 水位計の復旧、1号機の PCV サンプリングの準備、共用プールでは P/C 移設のための準備、1号機 T/B 天井クレーンの復旧などがあります。昨日、福島市で開催されました放射線リスク国際会議に出席されました海外の専門家の皆様が福島第一を視察されています。

(1F 所長) 本日、天気が良くて暑い日でしたが、人身事故等はありませんでした。

(1F 発電班) 1号機は、現在、 $3.6\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッドの温度は 85°C 、使用済み燃料プール温度は 30°C 、D/W 圧力は 22kPagage で安定しています。2号機は、現在、 $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで注水量が下がってきていますので、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ まで調整作業を行っています。RPV 底部ヘッドの温度は 115°C 、使用済み燃料プール温度は 34°C 、D/W 圧力は 18kPagage で安定しています。3号機は、昨日の14時過ぎに、給水系の注水量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 絞りまして、CS 系から $3\text{m}^3/\text{h}$ 、FDW 系から $4.0\text{m}^3/\text{h}$ 、あわせて現在 $7\text{m}^3/\text{h}$ で炉注水を行っています。RPV 底部ヘッドの温度が 100°C で、朝の時点から 0.7°C の上昇です。RPV 底部ヘッド上部の温度が 95.4°C で、朝から 0.2°C の上昇です。その他、RPV の上部の温度、フランジ、ベローシール部関係は、 3°C ほど調整を行ってから上昇しています。ベローは落ち着きを見せていますが、全体的に上昇していますので、今後継続して監視していきます。使用済み燃料プール温度は 33°C 、D/W 圧力は 0.2kPagage で安定しています。4号の使用済み燃料プール温度は 40°C です。5, 6号機については、原子炉および使用済み燃料プールは冷却継続で、特にトピックスはありません。

(1F1～4号復旧班) 水移送関係は2号立坑から HTI 建屋へ移送しています。3号 T/B からも HTI 建屋へ滞留水を移送しています。現在実施している水処理設備の保全工事が完了後に、2号立坑からプロセス建屋への移送に戻す予定です。9/15 の予定です。水処理設備関係ですが、水処理設備の保全工事のために、セシウム吸着装置、除洗装置を停止中です。明日までの予定です。第二セシウム吸着装置は運転を継続しています。水位関係ですが、2号機は T/B で 20mm 下降して $OP2889\text{mm}$ 、トレンチで 6mm 下降して $OP2837\text{mm}$ です。3号機は T/B で 4mm 下降して $OP2994\text{mm}$ 、トレンチで 6mm 下降して $OP3199\text{mm}$ で

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。4号機は T/B では 5mm 下降して OP3046mm です。集中ラド関係ですが、プロセス建屋は 23mm 上昇と書いてありますが、カメラの不調で、水処理設備の保全工事の影響でデータが採りにくくなっていますが、16 時のデータ採取が不可になりましたので、別の水位計で水位上昇を採って記載しています。HTI 建屋は 73mm の上昇です。1号の R/B の水位計ですが、修理が完了しまして、本日 16 時から計測を開始しています。OP4572mm です。1号で PCV 内のガスサンプリングが明日あります。2号で原子炉への CS 系からの注水ラインの設置工事、明日ホースを敷設して注水を開始する予定です。15 時頃を考えています。2号で T/B に滞留水移送用の水中ポンプを設置しています。明日までの予定です。4号で使用済み燃料プールの塩分除去後の ED の設置作業ですが、そのラインの繋ぎ込みで、明日4号の使用済み燃料プールの塩分除去の RO 装置を一時停止します。共通関係ですが、水処理設備の保全工事、明日まであります。明日は除洗装置の攪拌機の取り替えを実施する予定です。共用プールで電源停止があります。共用プールに設置してあります所内用の D/G を復旧するために、電源盤の取り替えを実施する計画ですが、そのための干渉物となっている共用プールの P/C を移設します。そのために、その電源を明日停止します。5、6号機関係ですが、滞留水関係ですが、明日については、T/B から仮設タンク、メガフロート、HPCS D/G 室トレンチ関係の移送はない予定です。

(1F 土木班) タンク設置工事は、G エリア、H エリアで引き続き継続工事中です。無人重機によるガラ撤去ですが、本日は4号の逆洗弁ピットで撤去を行い、コンテナ3個を撤去しています。明日も逆洗弁ピットでガラ撤去を行う予定です。海の工事の関係ですが、1～4号機側の透過防止口の設置工事、既に打設している鋼管矢板の両脇に袋詰め採石を設置する作業を実施しています。明日も設置工事を実施します。5、6号機全面の港湾工事の防波堤の復旧で、テトラポットの据付けを行っています。明日も実施する予定です。

(1F 建築班) 1号機 R/B のカバー工事については、本日、壁パネルの水切りを終了しています。また、壁パネルと取り付けとして、北面、東面を実施しています。明日の作業は、壁パネルの取付で東面と西面を予定しています。R/B 上部ガレキ撤去工事については、3号機で、本日 600t 大型クローラークレーンの2台目の組み立てを完了しています。また、大物搬入口の解体等、周辺の整備を実施しています。明日も継続で大物搬入口の解体等、実施します。4号の準備工事については、周辺の路盤整備等を実施しています。ガレキの収集運搬については、本日も夜間作業として3号機の瓦礫の積み込み、運搬を実施します。明日も継続です。スラッジ貯蔵施設について、スラッジ棟、設備棟ともに基礎の配筋工事を実施中です。明日も継続実施します。

(1F 復旧班) 水処理調整は 3.8m³/h に調整しました。18:07 です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 技術支援部) (書画で説明) 3号機の RPV の温度について説明します。このポイントが昨日 CS インサーブス後に給水流量を 5m³/h から 4m³/h に絞ったところですが、6m³/h から 5m³/h に絞ったときも温度上昇傾向が見られていますが、昨日も若干大きめの上昇傾向を示しています。こちらのグラフは、前回、給水流量のみで 7m³/h であった期間と、今回、給水系と CS 系合わせて 7m³/h であったときの、同じ流量であったときの比較を示しています。その時点での温度の上昇幅ですが、下部ヘッドで約 1.1℃に対して今回 1.3℃、底部ヘッド上部で 0.8℃に対して 1.1℃で、ほぼほぼ同じような温度上昇を描いていますので、あと数日しますと、ある程度のところで静定してくると考えています。そのときの温度が給水系のみで 7m³/h の時と比べてどうかを今後評価していきたいと考えています。ご参考までに、こちらが RPV 上部の温度です。上部につきましては低下傾向を示しているものとか、上昇傾向を示しているものとか様々ですが、全体的なまとめをしますと、給水系からの流量を 5m³/h から 4m³/h に絞ったことで RPV 全体が緩やかな温度上昇の傾向を示しています。今後の予定ですが、流量調整は当面行わないで、RPV 下部の温度を継続で監視したいと思います。RPV の温度が安定化した段階で給水流量のみで 7m³/h のときと比較を行い、CS 系の冷却効果の確認評価を行って、今後の冷温停止に向けた流量の検討を行いたいと考えています。

(安定化 C 技術支援部) 明日予定しています 1号機の格納容器のガスの再サンプリングについて説明します。1号機と2号機のガスは 7/29 と 8/9 にサンプリングを行っていますが、セシウム濃度で、1号機で約 40Bq に対して、2号機で 1Bq、凝縮水は、1号機は採取されませんでした。2号機で採取されたということで、サンプリングの結果に相違が生じています。セシウムは水への溶解度が大きい元素でありまして、凝縮水のセシウム濃度が高い場合、PCV ガス内におけるセシウム濃度が高くなるという可能性もあります。論点は1号機の PCV の温度が 90℃弱ですが、その状態で RPV に継続的に水を入れているという状態にもかかわらず、1号機ではなぜ凝縮水が採取されなかったのか、これはサンプリング装置の差、1号機は 1l/min で引いていますが、2号機 10l/min で引いていたということ、流量が少ないと蒸気が地上採取部に到達するまでに凝縮して計装配管内のどこかに滞留しているのではないかと考えられます。若干、模式図的に補足しますと、セシウムのエアロゾルが配管中の凝縮水に捕獲されて、一部は凝縮水、一部は排気ガスで出ていますが、現在、1号機はこの排気ガスの部分のみ採取されている。ここがなければこの濃度になりますが、ここがあるので大分大きく変わってくるので、ここをはっきりさせたいということです。今後、明日やる目的はセシウム濃度が高い結果となった1号機において再サンプリングを行って凝縮水がでるかどうかなどを確認し、その結果で PCV ガスの状態を

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

把握して、今後の PCV 内の評価、設備の設計に活用したいと考えています。何をやるかということですが、設備側の差をなくすことで1号機と2号機の差を明らかにしたいということで、前回、凝縮水を採りました2号機で使ったサンプリングラックを1号機に持っていきまして、1号機でラインに接続して PCV ガスの採取、サンプリングを行うことを計画しています。これが工程ですが、本日、ほぼほぼ準備作業が終えていまして、明日、サンプリングを行って、その結果の評価を明日、明後日でやっていくということで考えています。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 本日も明日、KURION、AREVA 装置類の修理を行っています。KURION 側の H3 のスキッドのポンプ交換をしていまして、本日交換まで完了しています。線量が心配でしたが比較的計画線量で収まっています、雰囲気線量が予想よりも半分以下であったことが功を奏しましてスムーズに交換ができました。明日テストランの予定です。KURION の処理した水を移送するポンプも無事終了していまして、同じく明日テストランの予定です。明日のメインは AREVA のミキサー、攪拌機の工事、それから、丘の上にあります高レベルのタンクの移送ポンプの設置を継続中で実施しています。安全に留意して継続していきたいと思えます。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 明日の工事が終わってから起動しますが、今後の水処理の運用について説明します。これまで2号、3号の T/B の滞留水の水位を下げて早く安定した状態に持っていくということで、OP3000 程度を一つの目標でやってきています。その後、第二セシウム吸着塔、SARRY の投入等もありまして 70t/h で鋭意処理をしています。今回、目標の 3000 にほぼ到達しましたので、今後はこの高さを概ね維持管理できるような運転の方に処理量を切り替えて調整していきたいと思えます。基本的なパターンですが、ポイントが2つあります。一つは第二セシウム吸着塔、俗称 SARRY ですが、こちらの単独運転を基本に今後、水を処理していきます。SARRY は今、片系 25t/h の処理で運転していますが、両系統活かせますと 50t/h 程度処理できますので、これ一本で処理していきたいと思えます。概ね 50t/h で水を引きますと、大体 OP3000 程度で維持できることが分かっています。50t/h を超える場合には、SARRY と KURION によって補完しながら水処理していく、この2つのパターンをやっていきたいということです。もう一つ、そのための前提条件ですが、次回再起動、14日の夕方に予定していますが、その暁には SARRY をまず片系 25t/h で運転しておきまして、更に KURION、AREVA を 30t/h、今までは 45t/h で運転していますが、30t/h に抑えて水処理をします。そのとき、KURION 単独で性能が得られるかどうかを、今、AGH というベッセルを交換して確認試験を行いたいと思っています。そのために KURION、AREVA の水処理を 30t/h に抑えまして、合計 55t/h で処理をするということです。そこで確認したいのは、KURION の設備単

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

独で DF が 10+5、つまり 10+6Bq の水が 100Bq 以下、10Bq もしくはその程度までに抑えられるかどうかを、AGH のベッセルを交換しまして除染の確認をしたいと思えます。模式図を書きますと、従来 OP3000 までの運用につきましては、プロセス建屋から KURION、AREVA を通しまして 45t/h、HTI 建屋から 25t/h、片系運転で SARRY を通じて合計 70t/h で処理をしまして 3000 に到達しました。今後、プロセス建屋はこのまま据え置きまして、HTI 建屋を 50t/h で抜いていく、そういう形で処理をすることを主眼にしていきたいと思えます。ただ、地下水からの流入量の変動しますので、仮に 50t/h 以上の水位の流入が確認されている場合には、直ちにプロセス建屋から KURON によって処理をして淡水化を図っていく、2段階で処理をしていきたいと思っています。KURON 単独性能試験確認ですが、9/14、明日の夕方に立ち上げまして、1週間程度、確認時間を設けまして、後段の AGH のスキッドのベッセルについては、これまで一部がバルブの誤動作、バルブのシートパス等がありまして、今まで交換せずに、こちらの性能を期待せずに設置したままにしています。端的に言いますと、既に性能は満たしていないという状況で通水してきました。ここをあらためて新しいメディアに入れ替えて新品の状態にした状態で、低流量で KURON の出口が 10+5 程度の DF ができるかという確認をしていきたいと思っています。念のために、後段側には凝集沈殿装置、AREVA の装置がバックアップで運転して、2つ合わせて DF がもちろん稼げますが、KURON 単独で 10+5 程度ができるかどうかを確認していきたいと思えます。これによって、晴れて KURION と SARRY の 2 系列で処理ができるという準備が整うこととなります。

(安定化 C 滞留水移送 G) (書画で説明) シミュレーションを使いまして、今後の滞留水の移送について説明します。9/11 に T/B の水位が 3000 まで低下しました。現在は、水処理の停止でプロセス建屋側の水処理が停止していますので、現段階では、2号、3号から HTI 建屋に移送している状況です。その間、停止の間、約 1000mm、HTI 建屋に 2号、3号から移送しますので、この 2 日間で約 1000mm の HTI 建屋の水位の上昇があると予想しています。水処理停止後ですが、今後、T/B を約 3000 近傍で安定させた形で滞留水の移送を継続していくということで、2号機は HTI 建屋、3号機はプロセス建屋に移送を行いながら、水位の状況を確認していきたいと思えます。また、明日、1号機の H/W ですが、先週、2号機の H/W の移送を行いました、明日から約 2 日間かけまして 1号の H/W から T/B への移送を、ならびに、9/22 に 3号の H/W から 3号の T/B に滞留水の移送を考えています。また、2号の滞留水移送ポンプ、現在は立坑側に付いていますが、現在、T/B 内にポンプを 3 台追設して、その繋ぎ込みを行いまして、20 日～21 日にかけてフラッシング等を行って繋ぎ込みを行いたいと思えます。その後は、T/B 側から移送を行う計画です。なお、明日の 1号の

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

H/W ですが、1号の H/W から流すと1号の H/W から T/B へ落としますが、T/B と1号の R/B が繋がっているという関係から、1号の R/B の上昇が顕著に現れる形になります。明日、約5時間、H/W からの滞留水の吐き出しを行います。その状況を見ながら今後の H/W からの移送について検討を行いたいと思います。

(安定化 C 冷却 PJ 部) (書画で説明) 2号の原子炉の注水状況ですが、給水系から今、3.8m³/h で注水しています。これは、原子炉の代表点の温度のトレンドで、①は原子炉の上部の温度、上蓋フランジの温度、③は下部、RPV の下部の温度を監視しているということで、今までの傾向から上部の方が下部より高いということなので、炉心域にまだ燃料が残っているものと推定しています。明日の CS からの流量調整ですが、CS からの流量を 1m³/h ずつ増やして行って 2m³/h にして CS からの流量を固定します。一方、給水系ですが、4m³/h 入っていますが、1m³/h ずつ減らして行って、最終的には CS から 2m³/h、給水系から 2m³/h、合計 4m³/h とスタートと同じ状況、トータルの流量はスタートと同じにします。給水系からの流量を絞っていく操作の段階で、48 時間立ったときの温度上昇が継続しているかどうかを見て、その温度上昇が収まっていれば次に更に絞るという操作に進みますが、温度上昇が収まっていないのであれば、温度勾配を見つつ更に流量を絞るか、場合によっては、流量を増やす操作もやる場合もできます。3号機同様、念のため、モニタリングはやります。CS の注入中にモニタリングポストに変動がでて、2号機の風下側のモニタリングポストで 2 μ Sv/h 以上の変動がある場合は、保安院さんに通知するとともに、常時監視に切り替えます。2 μ Sv/h の上昇が 20 分以上継続する場合は、CS を入れた影響が大きいということですので、この時点で協議を行って、場合によっては CS の流量を止めて、FDW だけで注水するという操作もあります。午前中、R/B 内のホースの敷設を行いまして、R/B の止め弁を開いて、MO-12B という電動弁を開操作した後、CS からの流量を注入するというので、最後は R/B のホースのリークチェックをして作業は完了の予定です。

(安定化 C 施設基盤部) 共用プールの P/C、明日より1週間停止をします。現在、共用プール建屋にあります D/G の 2B と 4B を復旧すべく作業に取り組んでいますが、建屋の地下にあります電源盤を取り替えるにあたりまして、大物搬入口のところにおいてあります共用プールの P/C をどけて電源盤を外に出すという計画をしています。そのために、共用プールの P/C を移設するというので、明日の午後にアイソレ、電源を停止しまして、20 日に受電するというので、約 6 日間停止をします。これに伴いまして、共用プールの電気がなくなります。共用プール、現在温度は 31 $^{\circ}$ C ですが、6 日間停止をしますと約 20 $^{\circ}$ C 温度が上昇します。20 $^{\circ}$ C 上がったとしても温度制限の 65 $^{\circ}$ C を下回って 51 $^{\circ}$ C で問題ないということです。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

共用プールの P/C は仮設の 3, 4号の M/C の A,B にぶら下がっている P/C です。温度上問題ないということですが、念のため、1週間の間に何かあった場合にどのくらいの時間で復旧できるかということを検討していきまして、ケーブルを解線しているときであれば5時間で復旧できます。P/C を移設している最中だと、最大で 20 時間で復旧できます。MCC の移設の時は5時間、変圧器の移設作業でも5時間ということで、P/C の移設のときで最大 20 時間がありますが、大体5時間くらいで復旧できることを確認しています。

(安定化 C 環境影響評価 G) (書画で説明) 昨日の 3号機の R/B 上部のダスト測定の結果を報告します。1号機と同様、クレーンでサンプリング装置を吊り下げて測定をしています。採取地点は、前回 8/24 に測定点が高かったあたりを中心に測定をしまして、それが、風が東と南の風が吹いていましたので、その方向で風下方向でもう一点の、2点で測定しました。測定結果につきましては、前回の値に比べまして、今回 2.2×10^{-4} ということで、前回は 1.0×10^{-3} ということで約一ケタ低い数値となっています。数値については評価中ですが、測定方法が前回は測定装置からホースを下に垂らして測定しています。今回は1号機と同様にスカートを使って装置を測っていますので、瓦礫がありますので、十分近づけなかったということが前回との差異かと思っていますが、要因についてはこれから評価をしまして、放出率の評価に結びつけていきたいと思っています。

(本店広報班) 本日の中央プレスへの説明状況ですが、本日は11時と午後は6時から当社単体会見です。午前中は AREVA、KURION の保全工事の件について説明しています。やりとりについては、2号機の CS の切替時期についての質問や、フランスの原子炉施設の事故に関する質問、事故時運転操作手順書の提出について保安院から要請がありました。当社の対応について質問がありました。午後6時につきましては、これから説明しているところですが、3号機のダストサンプリング写真とか、明日の PCV ガスの再サンプリング等を説明する予定です。

(西澤社長) 今日一日、お疲れ様。先週もこの場で某週刊誌のルポライターが無断で 1F の構内に入っている記事化されています。昨日も同じルポライターが同じ週刊誌に同じような記事を書いたということです。事実関係を今チェックしています。外部の者が許可なく構内に立ち入って、いろいろ記事化することは言語道断、許されるものではないと思っています。また、それに係わっている、導いた人がいるとしたらそれは決して許されません。もちろん、この行為は法律的にも違法行為となりますが、倫理上、決してやってはいけないということです。日曜日に 1F、2F に行きましたが、現在は写真付きで出入りがきちっとチェックされています。そのようなことも含めて対策は万全を期しますが、先程、言いましたが、やって良いことと悪いことの峻別、これを是非しっかりやってもらいたい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ということをお願いしたいと思えます。

(1F 所長)本件につきましては、管理責任という意味で私にありますので、私から一言お話しさせていただきます。まず、皆さんにご迷惑をお掛けし申し訳ございません。先般、お話ししましたときは与太記事でありあまり動揺することはいかなものかと申しましたが、今回、週間朝日を見ていますと、前回私がそう言った内容がそのまま週刊朝日にでています。ということは、これを聞いていらっしゃる中のどこかに X さんがいらっしゃるということだと思いますので、何処の人か分かりませんが、X さんに申し上げたいのは、今の西澤社長のおっしゃるとおりでございます、刑法上の問題にも係わってくるということでございますし、このようなつまらないことをしている暇があるのであれば、発電所をちょっとでも良くするようなことに係わっていただければと切にお願いします。次回、このようなことがあった場合は、私はもう一度こういうことが繰り返されるということであれば、私の責任でありますので、責任をとらせていただくという覚悟を決めていますので、そのようなこともご承知の上、よろしくお話ししたいと思います。また一方、お願いがありますのは、こういう記事の内容があまり重要視されないようなしつかりした広報の在り方についても合わせて検討をお願いしたいと思います。

(2F ■■■)福島第二は 50 万ボルトの富岡線で受電をしていますが、昨日、8時から 17 時にかけて全停作業、新福島変電所での作業が終わりました。それに伴いまして、明日、4号機の残留熱除去系の系統を B 系統から A 系統に切替を行いたいと思っています。14 時から 15 時の予定でおりまして、26℃の炉水温度ですので、3℃程度の上昇と評価しています。明日作業をやりませう。

(Jヴィレッジ安定化 C 所長)一昨日、昨日と福島市で放射線関係の国際会議が開かれていまして、放射線関係の顧問団という形で園田政務官と午後、福島第一の視察と意見交換を含めて無事終了しています。30 分程時間がかかっていますが、無事、非常に印象深いということでお帰りになりました。段取りされました福島第一、Jヴィレッジの皆さん、お疲れ様でした。

(安定化 C ■■■)統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/14(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C) 本日も非常に多くの作業が行われました。

注水関係では、2号機の CS 系からの注水作業が終わり、1m³/h の注水を15時半近くから開始しています。

水処理関係については、2日間の停止でほぼ作業が終わり、水張りを行っている最中ですが、点検・修理等の作業が行われました。

その他、カバーリング、3号機ガレキ撤去等についても引き続き行われています。

アレバの水処理関係で、作業員の内部取り込みのおそれがあったため WBC を受験しています。結果は記録レベル以下です。陽動式というファンのついた全面マスクを使用しており、作業の段取りはそれなりのことを考えていたが、フィルタの後ろ側に汚染があったため、念のために WBC を受けてもらった。

通常の陽圧式ではなく、フィルタの構造が違うので、そのあたりをどう考えるか考察が必要です。後ほど簡単に紹介してもらいます。

作業の補足としては、明日、2号機 R/B にて水位計(を設置して)水位測定を行います。先日は3号機で行ったが、次は2号機で行いますので紹介願います。

(1F 所長) 天気は晴れで暑かったが、熱中症の発生はなく、けがもありませんでした。ありがとうございました。ただ、内部取り込みの疑いがあり、水処理関係の作業の方に WBC を受けていただいた。十分に事前検討していたと思いますが、やはりあのエリアは発電所の中でもかなり特異な場所ですので、より注意が必要となり、一緒に検討していきたいと思います。

(1F 発電) 1号機は安定しています。原子炉注水は 3.8m³/h で継続しており、RPV 底部ヘッド温度は 85°C、SFP 温度は 31°C、D/W 圧力は 22kPagage です。2号機は、本日 14:59 に予定通り CS 系からの注水 1m³/h を追加しています。給水系からの注水 3.8m³/h であわせて 4.8m³/h となっています。17時現在の RPV 底部ヘッド温度は 116°C で温度の変化は見られておりません。D/W 圧力は予想通り若干上昇しており、17時現在で 21kPagage です。トレンドで連続監視していると上昇率は徐々に減っている状況にあり、上昇はなだらかになると思います。SFP 温度は 34°C です。

3号機は、給水系から 4m³/h、CS 系から 3m³/h のあわせて 7m³/h で炉注水を継続しており、RPV 底部ヘッド温度は 101.6°C でこれは朝方から 0.8°C の上昇、また、RPV 底部ヘッド上部温度は 95.9°C で 0.3°C 上昇となっています。引き続き緩やかに上昇しているが、上昇率は顕著には増えていません。その他のパラメータは、SFP 温度は 33°C、D/W 圧力は 0.2kPagage で安定しています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

4号機は、SFP 温度 41℃で異常ありません。

共用プール温度は、本日11:08に予定通りプール冷却系を停止しており、至近の温度上昇率は 0.2℃/h で、当初の予想 0.14℃/h よりも若干高い。傾向監視していきます。こちらについては、毎朝、赤外線カメラによるプール水の表面温度の監視をしていきます。

5, 6号機は特にありません。

(1F 復旧班)水移送関係では、1号機の復水器からタービン地下へ滞留水の移送を行っています。2号機立坑から HTI 建屋、3号機タービン建屋から HTI 建屋への移送を継続しています。明日3号機タービンからプロセス建屋への移送の変更を行う予定です。

水処理関係では、水処理設備の保全工事のためにセシウム吸着装置および除染装置を停止していましたが、現在試運転に入っています。

水位関係では、2号機タービン建屋で 8mm 下降し OP2871mm、トレンチで 8mm 下降し OP2818mm、3号機タービン建屋で 6mm 下降し OP2980mm、トレンチで 5mm 下降し OP3184mm、4号機タービン建屋で 6mm 下降し OP3027mm です。集中ラドプロセス建屋は変化なく OP5037mm、HTI 建屋で 105mm 上昇して OP2012mm です。

明日の作業は、2号機タービン建屋に滞留水移送用の水中ポンプを設置しています。2号機 R/B に水位計を設置します。

水処理設備ですが、セシウム吸着装置(キュリオン)H ベッセル3塔交換、第二セシウム吸着装置(サリー)でベッセル1塔交換予定です。

5, 6号機滞留水については、タービン建屋から仮設タンクへの移送を10時から16時の予定です。仮設タンクからメガフロート、HPCS D/G 室トレンチからタービン建屋への移送はありません。

明日、6号機 SW 配管のフランジの修理が終わりましたので、リークテストを行います。

(1F 土木)高濃度 RO 濃縮水用のタンクの建設を G・H エリアで継続しています。セシウム吸着塔の一時保管施設の工事を G' エリアで継続しています。無人重機によるガラ撤去は、本日は4号機逆洗弁ピット付近でコンテナ3個分のガラを撤去しています。明日も引き続き逆洗弁ピット付近でガラ撤去を行います。

港湾の工事ですが、1~4号機透過防止工設置工事について、袋詰め砕石の設置を行う予定です。明日も継続です。なお、シルトフェンスの開閉の予定はありません。5, 6号機前面のテトラポット据え付け引き続き実施しています。

(1F 建築)1号機 R/B カバーリング工事について、本日壁パネル設置を予定していましたが、風があったため西側1階の垂幕の工事に切り替えました。明日壁パネルの設置を行います。また、明日壁パネルの水切りを行います。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3号機 R/B 上部ガレキ撤去について、西側の大型搬入口の解体、ガレキ片づけ、補機高台の組み立てヤードの整備を行いました。明日はガレキの片づけと補機高台の組み立てとなります。

4号機 R/B 上部ガレキ撤去準備工事について、本日は碎石路盤の整備を行いました。明日も引き続き路盤整備と所内トランス B のラジエータの撤去を行います。こちらは、油抜きは完了しています。

滞留水関係では、スラッジ貯蔵施設建築工事について、本日は基礎配筋を行っています。明日も継続で行います。

(安定化C所長) それでは、水処理の関係で、今日は週報もございますので、一週間のパフォーマンスも含めて、本日の作業関係も含めて説明をお願いします。

(安定化C水処理) 書画にて説明

本日まで、大きく4つの工事を、取替修理工事を進めてございましたけれども、まもなく、作業が終わりまして、起動にしようかと思っております。KURION側のH-3スキッドのポンプ、それから、後ほどご説明いたしますけれども、AREVAの攪拌機、それから、丘の上にあります高レベルタンク100基の移送ポンプの据付、それから、KURIONの処理をした水の移送ポンプと4つの工事がございますが、それぞれ順調にまいりまして、起動の準備に今入っております。それから、1Fの吉田所長からございましたけれども、内部取り込みの恐れがある、可能性がある事象ということでございまして、書画を使ってご説明させていただきたいと思っております。

本日の12:40頃でございます。先ほど申し上げました、AREVAの攪拌機のミキサの取替工事に従事しておりましたスタッフ6名ですけれども、作業が終わりまして、免震棟に戻ってきた段階でサーベイしましたところ、マスクの内面の汚染が確認されたということでございます。内部取り込みの可能性がありということでございまして、発話及び通報していただいておりますが、その後、ホールボディの結果、内部取り込みはなしと、測定限界以下ということが判明してございますけれども、状況についてご説明いたします。当時は、陽圧マスク、後ほど図で説明いたしますけれども、普通今まで皆さん我々が使っているマスクでありますと、呼吸を吸い込んだときに、マスクの内面が負圧になる可能性がありまして、そのときに、例えば、眼鏡のツルの隙間ですとか、そういったところからダストを吸い込む可能性があるものですから、それを電動機のモーターファンで加圧してあげるようなタイプの、もう少し高度なマスクがございまして、そちらを装着してございました。あとは、タイベック、アノラック、軍手、ゴム手2枚ということで、作業してございました。雰囲気といたしましては、AREVAのエリア、全体的に高うございますけれども、15mSv/hぐらいの雰囲気の中で、計画線量15mSv、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

それから、念のためのAPDの設定値といたしましては、念のため8mSvぐらいで抑えて入ってございます。今日、昼間にも発話させていただきましたが、事前に土曜日の段階で、現場調査及び段取りを確認するという目的で、調査をいたしまして、このような陽圧マスクを採用しようということでもございましたけれども、そのような状況の後に、今日工事を実施いたしました。AREVAの攪拌機の取替作業の中で、新品の攪拌機を吊り下ろした作業の工程に従事した6名の方が、2名のほうはバックグラウンド程度でしたが、4名のほうはバックグラウンドを超えてカウントされましたので、マスクの内側に汚染を確認ということでもございます。あとは、APDにつきましては、最大線量は、 γ が10.01mSvということで、8mSvのAPDはなりましたので、戻ってくる途中で少し増えた。それから、 β のほうは、9.5mSvということでもございます。

当該場所はですね、AREVAの凝集沈殿装置の全体の中の、この高速凝集沈殿装置、マルチフロー手前で、薬液等を攪拌するタンクがございまして、こちらのミキサー、攪拌機が一体壊れてございまして、そちらを取り替えるという作業でございまして、先ほど、陽圧マスクと申し上げましたが、こちらがその図でございまして、昼間の書画で、現物をお見せしたかと思っておりますけれども、こちらのフィルタ構造になってございまして、そちら後ろに電動ファンがついてございまして、息を吸ったときにですね、なにも、ようするにフィルタだけですと、廻りの隙間から外部の空気が入って、汚染する可能性があるということですので、吸った段階で、ベント、空気の流入がありますと電動ファンのスイッチが入りまして、さらに一層の加給をするような構造となっております。吐くときには、送風を停止する。このようなイメージのマスクを使って、マスクの内面を常に陽圧、プラスの圧力にするということで、ダスト吸込防止には強いというようなマスクを採用してございました。作業の概要でございまして、こちらが、先ほど申し上げましたタンクでございまして、タンクが大体6mぐらいの高さ、直径が3mぐらいの高さなんですけれども、大きさなんですけれども、そちらの垂直バシゴを上って、上面に立ちまして、そこからこのマンホールを空けて、中のチェーンブロック、チェーンで釣っているミキサーを、まず、既設のものを吊り上げて、外してドラム缶に入れて収納、それから、新しい攪拌機を吊り込みまして、チェーンブロックをピンと張って、フックに固定すると、こういうような作業でございまして、前段の、既設の古いミキサーを吊るのに従事した皆さんは、特に汚染はなかったのですが、後段のほうは、新攪拌機の吊り込みの作業の6名の方が、サーベいで引っかけたというわけでございまして、推定の原因でございまして、なかなか、まだ全て全容が解明されたというところまでいってございませぬ。

ハシゴの昇降時がございまして、先ほど、こちら垂直バシゴを6mぐらい上るのですが、このまわりにつきましては、AREVAの装置のまわりの非常に線

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

量が高くなってございまして、あとは、一部、水溜り等もございまして、そういったところを踏み越えて、上っていくわけです。そうしますと、ハシゴを昇降時に、長靴を履いて、その長靴の底につきましては、汚染が激しくなるわけですが、そのハシゴを上るときに、床面の汚染がハシゴに拡散して、雰囲気線量といえますか、ダストを含めたハシゴの線量が上がっていたと、そのハシゴに顔を近づけながら、上がっていくものですから、非常に近い状態で、汚染物質が吸着される可能性は高いということでございます。あと、陽圧マスクの特性としまして、流入量が、モーターで駆動しますので、大きいものですから、そういったところと作業の時間を考えなければいけなかったのではないかということ、ただし、もう1つマスクも、先ほど、三重構造になってございまして、実際は、このフィルタがありまして、その後ろにモーターの駆動のファンがございまして、中のマスクという、このフィルタのところの内側に汚染が確認されてございますけれども、こちらのファンの装置ですね、裏側というか、口に接するところ、ここは汚染が確認されなかったんですね。ですので、どういう状況で吸い込まれて、どこで止まっていたか、普通はそのまま内部のほうに通過があれば、内部のほうに取り込まれてしまうはずなのですが、ホールボディの結果はもちろん、検出されませんし、この内部のユニットに、ファンのユニットについても、汚染が確認されていないということで、少しこのマスクの特性ですとか、どういう形で付着したかというのは、保安班と協働で今後も検討していきたいと思っております。対策につきましても、同様で、作業環境と必要装備について、もう少し詰める必要があると、現状では思っております。

引き続きまして、週報でございます。9月13日現在の情報でございます。まず、各号機の建屋の水位でございますけれども、こちらの2号機、3号機ともにOP2900、3000を切りましたので比較的安定した領域まで、水位が下がったということでございます。それから、処理につきましては、順調に進んでございまして、まず、淡水化の塩素濃度でございますけれども、淡水化処理をしますと20ppmぐらいの性能が平均して出ていると、安定して出ています。蒸発濃縮装置、エバポレータでは、1ppm以下ということでございます。ただ、蒸発濃縮装置につきましては、今、炉内の注水量が上がっていませんので、特に淡水を多く作る必要はございませんので、こちらは、少し前にご説明させていただきましたが、蒸発濃縮装置は、休止してございます。また、流量に応じて、今後起動していきたいと思っております。それから、濃度でございますけれども、プロセス建屋では相変わらず、10の6乗ベクレル程度の汚染水、それを、セシウム吸着装置KURIONの出口ですけれども、8×10の3乗ぐらいまでの低減濃度、AREVAの除染装置を抜けますと、3.8×10の1乗と。それから、高温焼却炉建屋には、SARRY、第二セシウム吸着塔がございまして、6.5×1

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

0の5乗の建屋の汚染レベルにつきまして、SARRY出口の2.6×10の0乗以下、NDという数値で性能が出ているという状況でございます。それから、貯水量に対しまして、プロセス建屋の貯水量でございますけれども、今は17760、HTI、高温焼却炉建屋につきましては2670ということで、前回からの変化がこのような数値でございます。こちらにつきましても、処理量を鑑みまして、今日の夕方、これから起動いたしますけれども、SARRYのほうは25トン、それからKURION、AREVAのほうは同じく25トンから30トンで流量を見ながら、建屋の水位をみながら運転してまいりたい。それから、KURIONにつきましては、後段のベッセルを取り替えましたので、KURION単独で、今後、性能が出るかの確認をする試験を1週間から10日程度継続するというところでございます。

(安定化C所長)引き続き、2号機の原子炉水位計測の作業について簡単にお願います。

(安定化C滞留水移送)書画にて説明

書画で、明日の2号機の原子炉建屋の水位計の設置について、概略をご説明させていただきます。

ご覧いただいているのが、2号の原子炉建屋1階の図面です。上が北、左が西、右が東側になります。明日は、2号の北西階段、北西側にある階段に水位計を設置する予定です。進入通路としましては、屋外から原子炉建屋に入る二重扉がこちらにございますので、そこから入って現場に向かいます。3号と同様に、右側に描いてありますけれども、階段の手摺と手摺の間の隙間を通して、水位計を地下1階まで落とす予定です。明日の体制ですけれども、1班2人で、3班体制で実施します。これは、3号と一緒にです。作業時間は1班15分を目途に実施する予定です。計画線量は11mSvということで、ここにつきましては、雰囲気線量が、3号の85mSvに対して、2号はこの踊り場のところで38mSvということで、約半分になりますので、少し長い時間作業時間を設けまして、計画線量は1.5倍になりますけれども、計画線量は低い線量にできると思っております。装備は、タイベック、アノラック、全面マスク、ゴム手袋、長靴、クールベストということで、今日、先ほど、水処理のほうで紹介がありました、陽圧マスクをこちらでも使う予定となっております。この点につきましては、保安班と調整をしながら、徐々に進めております。明日も、本日の事象を踏まえまして、注意して作業を実施したいと思っております。

(安定化C所長)2号機の炉注については、まだ時間があまりたっていないので、もう少し安定した状態で、全体のパラメータをまた評価してもらえるかなと思っておりますので、引き続きよく見ていきたいと思っております。

(本店広報)本日のプレスの説明状況でございますけれども、本日も11時と午後は6時から、当社単独の会見となっております。午前中につきましては、ご説

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

明のありました、2号機のコアスプレイラインからの注水開始、あるいは1号機のPCVのガス・凝縮水のサンプリング、4号機のプールの塩分除去装置の停止のほうをご説明しておりますけれども、それぞれ、質問が出ておりますけれども、30分程度のやり取りで終わっております。午後につきましては、1号の滞留水の処理状況ということで、これも稼働率を中心に質問が出るかなというところであり、本日の説明は以上でございますけれども、昨日もちよっと話題に出ておりましたけれども、発電所の中に入ってですね、当社じゃない人間が映像を外に出すというようなところの、防止策というかですね、我々の対策として、早ければ今週から始めようというものがございましてご紹介ですけれども、1つはですね、当社のサイト内の画像・映像が、希少価値があるということで、世に話題となってしまうというところがありまして、もちろん視察が一番よろしいのですけれども、まだ検討段階というところがございます。したがって、毎週、発電所の様子ということで、トピックスの写真とは別にですね、写真を撮ってですね、週1回程度ですけれども、マスコミの皆さんに配布するというのを、まずは第一弾の手法としてやりたいと考えております。そのほかですね、この前もご紹介しましたけれども、毎週一回週末にですね、当社として、いろいろご説明したいテーマについてですね、ビジュアルをもってご説明するというような試みしております。実際は、もうホームページに載っておりますので、見た方もいらっしゃるかと思っておりますけれども、ちよっと掻い摘んでご説明したいと思っておりますので、少々動画を見ていただきますので、よろしくお願いたします。(動画再生) これが、土曜日に■■■■さんが会見した様子を、説明と一緒に、ホームページにそのまま載せております。全体で10分弱になりますので、掻い摘んでご紹介いたしました。この様な形で、発電所の中の様子を紹介するという試みで、なるべく、発電所が見える化してですね、変な記事が話題にならないように、心掛けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(本店本部) 皆さんの反応などは紹介できるのですか？

(本店広報) 反応としてはですね、「これからもやるのですか？」というようなことで、期待感を持つ形で、まずは、試行段階ということもございましてですね、何回かやっていくうちに、評価は出てくるものと思っております。ちなみに、これは、社外に向けて作ったものですが、社内におきましては、発電所の様子がよく見えるというような評判をいただいております。まずは、いろんな試みをしていこうというところがございます。

(2F■■■■) 昨日の全体会議でご報告をさせていただきましたが、4号機のRHR、残留熱除去系をB系からA系に切替を本日行いました。14:05から14:17で行いまして、炉水温度は25.6℃から26.5℃ということで、0.9℃の上昇でした。無事終了しました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化C所長) 比較的、天候が安定している中で、作業は非常にたくさんしておりますが、今日も、福島県の労働者の安全の会議があつて、当社からも説明を求められておりますが、職場の環境であるとか、作業環境であるとか、被ばくの管理をしっかりとお願ひしたいというようなことも言われておりますので、言われたからやるということではございませんが、引き続き、いろんな観点から、確実な作業をしていきたいと思っております。関係者の方、またよろしくお願ひいたしと思ひます。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/15(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化 C ████████) 本日は、昨日に引き続き大変蒸し暑い日でしたが、昨日に引き続き、熱中症、ケガもなく作業が順調に進んだ模様です。その中で、昨日、点検修理を終えまして起動しました KURION 装置、AREVA 装置、これをシリーズで動かしていましたが、AREVA 装置の性能が急激に下がってきていることが判明しました。現在、停止操作をしています。この点、後ほどご説明します。また、本日は、昨日行いました作業で得られました1号機の PCV のガスのデータ、PIP のデータ、これらの分析ができていますので、後ほどご説明します。また、CS ラインから2号機ならびに3号機、順調に注水をしています。これらの実績に基づきまして明日からの炉心を冷却する計画について説明します。

(1F ユニット所長) 先程17時頃、震度3の地震がありました。炉注、水処理に特に影響はありませんでした。今朝方のマスク、フィルター未着用の件ですが、結果としては記録レベル以下でしたが、再発したということで、今日、安全推進連絡会で対策について周知徹底をしています。

(1F 発電班) 1号機は、現在、3.5m³/h で炉注水を行っています。若干下がってきていますので様子を見て上げていきたいと思えます。RPV 底部ヘッ드의温度は 85°C、使用済み燃料プール温度は 31°C、D/W 圧力は 22kPagage で安定しています。2号機は、本日 15:45 に予定通り CS の注水量を 1m³/h から 2m³/h に変更しました。現在は、給水系からの 3.8m³/h と合わせて 5.8m³/h で注水を実施しています。7時現在で、RPV 底部ヘッ드의温度は 115°C で、下がり傾向を今後もと監視していきます。使用済み燃料プール温度は 34°C、D/W 圧力も降下傾向が継続していき、現在 18kPagage です。なお、明日、CS 系の注水量を増やす予定があります。3号機は、現在、CS 系から 3m³/h、給水系から 4.0m³/h、あわせて現在 7m³/h で炉注水を継続しています。RPV 底部ヘッ드의温度が 103.4°C で、朝から 0.9°C の上昇、RPV 底部ヘッド上部の温度が 97.0°C で、朝から 0.7°C の上昇で、まだ、上昇傾向が継続しています。今後もとパラメータの監視を行います。なお、3号についても、明日、CS 系からの注水量を増やす予定があります。使用済み燃料プール温度は 33°C、D/W 圧力は 0.2kPagage で安定しています。4号の使用済み燃料プール温度は 41°C で安定しています。現在停止しています共用プールの冷却系ですが、昨日、11:08 にプール冷却を全停しました。停止した際のプール温度 35°C でありまして、その後、今朝の 6:20 に確認したところ、41°C というところで、少し温度の上がりが見ていましたが、今日 16時に確認したところ、プール温度 42.5°C というところで約 10 時間で 1.5°C の上昇となっていて、若干、上昇傾向に落ち着きが見られてきている

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

かなと見ています。今後とも、温度監視を継続していきたいと思えます。

(1F5, 6発電班) 5, 6号機については、本日6号で大きな前進がありました。6号機におきまして、海水ポンプのインサービスが完了しまして、プール冷却系、FPCを14:26に起動しています。これにより、原子炉水、プール水温度とも連続冷却ができて、17時現在で、ともに30℃を切るような安定した状態に移行しています。

(1F1～4号復旧班) 水処理の関係ですが、2号機の T/B は OP2858mm に対して4mm 下降、トレンチは OP2801mm に対して6mm 下降です。3号機の T/B は OP2964mm に対して6mm 下降、トレンチは OP3167mm に対して6mm 下降です。4号機の T/B は OP3012mm に対して2mm 下降です。処理水の受け入れの方ですが、プロセス建屋は36mm 下降、HTI 建屋は106mm の上昇です。本日の装置の状況ですが、KURION のベッセル4塔の交換が終わっています。SARRY のベッセル交換とフィルター逆洗作業も終わっています。明日、SMZ のベッセル2塔の交換があります。4号機で、SFP の水張り、現在、スキマーサージタンクが3085mm、補給の目安値が2000 ですので、明日14時からSFPのスキマーサージタンクへの水張りを行う予定です。1号機の H/W から T/B へ水を移送していますが、現在、カメラで監視できるようになった時間が9/13の16時ですが、そこから約86mm、R/B の方が上昇しています。5, 6号は本日、メガフロート移送はありませんでした。明日もありません。T/B の地下から仮設タンクへの移送は、本日10時から16時で行われています。明日は、移送予定はありません。

(1F 土木班) 本日朝の全面マスクフィルター未装着については大変申し訳ございませんでした。再発防止を徹底して参りたいと思えます。タンク工事の関係は、G エリア、H エリアで工事を継続実施です。無人重機によるガラ撤去ですが、先程のフィルターの関係がありまして、再教育ということで本日休工にしています。明日は、本日予定していました4号の逆洗弁ピット付近でガラ撤去を行う予定です。海の工事の関係ですが、1～4号機の透過防止口の設置工事で、袋詰め採石の設置を引き続き行いました。明日も行う予定です。なお、明日、船を出すということで、シルトフェンス開閉を1回予定しています。5, 6号全面の波消ブロックの設置も継続実施する予定です。

(1F 建築班) 1号機の R/B カバーリング工事については、本日、壁パネルの取付、東側の1枚行いました。あと、壁パネルの水切り、1枚行っています。明日は、壁パネルの取付、西側で2節の1枚を取り付ける予定です。また、壁パネルの荷振りを行う予定です。3号機の R/B 上部瓦礫撤去工事ですが、本日は西面の R5 柱の解体を行いました。あと、瓦礫の片づけを行っています。明日は、瓦礫の片づけと解体用重機の高台への吊り込みを行います。4号機 R/B 上部瓦礫撤去準備工事ですが、本日は解体用重機の搬入、組み立て、使用済み燃料プ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ール廻りの手摺りの取付を行っています。明日も継続で、重機の搬入組み立てと使用済み燃料プールの廻りの手摺りのメッシュシート張り、所内トランスの A の搬出が行われます。滞留水関係ですが、スラッジ貯蔵施設建築工事は、本日、基礎配筋を行っていきまして、明日も継続で行います。

(安定化 C ■■■)

朝のマスクフィルタ付け忘れという問題ですが、忘れた方個人の問題にとらえるのではなく、当該協力企業だけにとどまらず、すべての工事にあたる皆様に対して、作業前ミーティングのあり方等、再度チェックしていただきたいと思ひます。アレバ装置の性能低下の件について、水処理 PJ にて報告願ひます。

(安定化水処理 PJ 部)

昨日点検修理工事が終わり、その後 KURION 側で 30t/h、SARRY 側で 25t/h の運転を継続実施している。KURION 側については、低流量で流すことによつて KURION 単体の DF(除洗性能)が高くなる想定があり、通常では 45~50t/h 流していますが、昨日は 30t/h で流しています。一晩経つて KURION 出口のサンプリングを行った結果、セシウム 137 については ND レベルで、かなり性能があがっていることが確認されました。一方 AREVA の出口のサンプリングし、分析したところ、セシウム 137 が 5×10^5 のレベルの放射性物質が確認された。AREVA 側装置の性能が出ていない、おそらく AREVA 自信からスラッジ等が出ていて性能がでていないということが夕方確認されました。従ひまして AREVA 装置はバイパス運転し、プロセス建屋からの水を採取して KURION 単体で処理をして下流側に送る、つまり、SARRY と KURION のそれぞれの運転で水を処理することで、処理水量を変えずに運転を継続する。このため運転モードを切り替えたいと思ひます。KURION・AREVA はシリーズで運転していますが、この運転操作を行うために一旦システムを停止しなければならない。現在、切替のための停止操作に入っています。立ち上がりましたら、ご連絡します。

(安定化 C ■■■)

停止操作並びに立ち上げ操作を慎重に願ひます。昨日、1号機の PCV ガスをサンプリングしましたが、その結果について報告します。

(安定化技術支援部)(書画で説明)

昨日行われました1号機 PCV 再サンプリングの結果について報告します。昨日 9時から12時にかけて実施しました。実績の線量は最大で 1.73mSv/h です。2号機で使っていた仮設サンプリングラックを1号機に持って行き、1号機のガスと凝縮水の両方をサンプリングし、期待通り凝縮水もサンプリングできました。ガスと凝縮水のそれぞれの濃度です。こちらは液体で採取、凝縮水を換算して蒸気中の濃度として換算直したものです。こちらはガスで算出されたものの濃度で

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。1号機で $0.14\sim 0.15\text{Bq/cm}^3$ 、ガスの濃度で $2.5\sim 3.2$ 、Cs137 が $3.0\sim 4.7$ という範囲の結果が得られています。前回の測定値と比較しますと、2号機の結果の約 $1/3$ (蒸気中濃度)、ガス中の濃度で $4\sim 5$ 倍という数字になります。1号機の前回はガスのみで、それぞれ 17Bq/cm^3 、 20Bq/cm^3 というので、今回の数字と比較すると約 $7\sim 8$ 倍大きな数字であった。この数字から更に格納容器内の濃度に換算した結果を示します。格納容器内の濃度を出すのは、先ほどの蒸気中の濃度と非凝縮性ガス濃度にそれぞれ蒸気割合を乗じて出しておりますが、1号機の場合、現在の D/W 温度が約 85°C というので蒸気割合が 46% 、2号機は前回測定段階で D/W 温度が約 107°C というので蒸気割合がほぼ 100% で計算すると、今回の1号機で Cs134 が 1.4Bq/cm^3 、Cs137 が 1.8Bq/cm^3 、参考までに前回の2号機が 0.44Bq/cm^3 、 0.46Bq/cm^3 です。今回の結果を前回の2号機と比較すると、約3倍程度の値が得られた。前回の1号機よりも低い値になったということがどういうことかと考えると、前回 7/29 から1月半かかって D/W の温度が 10°C 程度下がっている。セシウムは CsOH という形態で出てくると考えられるが、これらの蒸気圧が 10°C で $4\sim 5$ 倍下がるということなので、PCV 内の沈着物からの放出が減少していると考えられる。また、2号機より高い結果となっておりますが、そちらは D/W 中の蒸気の割合、温度により放出量が異なっていると考えられる。今後詳細な検討をしていきたい。

(安定化 C ■■■) 引き続き評価をしっかりと願います。続いて2, 3号機 CS 系から炉注水を行っているが、明日からの冷却の計画について報告します。

(安定化技術支援部) (書画で説明)

2号機の CS インサース後の挙動について説明します。D/W 圧力は CS インサース後、緩やかに上昇してその後緩やかに低下しています。2号機は N_2 をインサースしたときも圧力が上昇しておりますので、このような挙動を示すということは予想の範囲内です。RPV 上部の温度で、スタッドボルトと上蓋フランジです。上蓋フランジについては緩やかに下降傾向を示しておりますが、スタッドボルトについては一旦上昇してから下降傾向を示しています。RPV 底部の温度も一旦上昇して緩やかに下降傾向を示しています。CS 入れているのに温度が上がっているおかしいということもありますが、シュラウドの中に CS から水を入れており、シュラウドが熱いところに水をかけているため水蒸気が発生していると考えられる。2号機の PCV は N_2 の時の結果から分かるとおおり、ある程度の機能を維持していると考えているので、圧力が上昇している。温度の上昇は PCV 圧力の上昇と同機しているの、圧力上昇にともなう飽和温度の上昇によって2号機上部下部とも温度が上昇しているものと考えられる。

本日から CS の流量を $2\text{m}^3/\text{h}$ に増やしているの、今後も挙動を監視していきま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。また、CS からの注水の効果が確認されたということから、当初 CS を $2\text{m}^3/\text{h}$ にした後に FDW 系の流量をしばってトータル $4\text{m}^3/\text{h}$ に絞っていこうという計画がありましたが、このまま明日 (CS 系流量を) もう $1\text{m}^3/\text{h}$ 増やして $3\text{m}^3/\text{h}$ としまして、トータル $7\text{m}^3/\text{h}$ まで全体の注水量を増やして温度の推移を監視していくことで、どのように冷温停止に近づいていくかの評価に使っていく。

3号機の流量変更試験について説明します。3号機は現在 FDW 系から $4\text{m}^3/\text{h}$ 、CS 系から $3\text{m}^3/\text{h}$ で注水していますが、明日 CS 系の流量を $3\text{m}^3/\text{h}$ から $8\text{m}^3/\text{h}$ に増やし、トータル $12\text{m}^3/\text{h}$ で注水していこうと考えています。この状態にて飽和温度未満で整定するという傾向が見られましたら、そのまま整定するまで監視し、整定することをもって試験を終了します。整定しないという傾向を示す場合は、流量の組合せの変更もしくは更なる流量の増加等を検討しまして、冷温停止状態になることを確認します。この際のポイントとして、流量を急激に増加させますので、ボイドがつぶれて反応度が入ることが考えられますので、念のため、あらかじめ試験前にホウ酸水を注入して、臨界に達しないということを確実にしたいと考えている。またその後、ホウ酸水が徐々に希釈され、ゆっくり反応度が入っていきますので、適切な監視強化を行っていきます。フローに示していますが、温度とモニタリングポストで監視し、モニタリングポストについては $2\ \mu\text{Sv}/\text{h}$ の上昇、温度については上昇している場合かつその原因が説明できない (流量を増やしているのだから下がっていくはず) 場合に試験を中断してホウ酸水を再投入する方針で対応しようと考えています。

(安定化 C ■■■) いずれにしても、炉心の冷却の状況に変化を加える際には慎重にも慎重に監視をお願いします。一つ質問ですが、明日、2号機で $1\text{m}^3/\text{h}$ 、3号機で $5\text{m}^3/\text{h}$ 流量を増やすわけですが、炉注量を $5\text{m}^3/\text{h}$ 増やすことについて、淡水を供給する水処理側は AREVA を一旦停止するということが大丈夫ですか？

(安定化 C 水処理 PJ 部) 1号から3号まで合わせて炉注がトータル $23\text{t}/\text{h}$ で炉注される形になります。仮に地下水が $20\text{t}/\text{h}$ あったとして $43\text{t}/\text{h}$ くらいですので、今の処理水量が約 $53\text{t}/\text{h}\sim 54\text{t}/\text{h}$ くらい持っていますので、処理量以下となります。淡水の方の生成ですが、 $54\text{t}/\text{h}$ くらいの滞留水処理を行いますと、淡水としては約 $22\text{t}/\text{h}$ 程度発生することができます。明日の炉注量が $23\text{t}/\text{h}$ くらいですので、 $1\text{t}/\text{h}$ くらいの差になりますので、今現在淡水としては約 8500ton 程タンクに貯めていますので、当分運転を継続しても問題ありません。

(安定化 C 保安環境部) (書画で説明)

昨日の15時本日15時24時間モニタリングポスト監視強化サンプリング結果照会。モニタリングポストMP1～8測定点2点計10点推移。大きな変動はない影響

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

はなかった。ダストサンプリング計6回3回目4回目 134137 検出定例サンプリングで出ているレベル 10 レベル高い値ではない1買い切り継続性がない CS との関連性がないダストの上昇はない。以上から、環境影響評価 G の監視強化として影響はなしと考えています。

(安定化 C 計測制御 G) (書面で説明) 1号機の制御棒位置検出器の状態確認作業について報告します。制御棒の位置検出の方法ですが、制御棒に連結する制御棒駆動機構に磁石がついていて、制御棒の上下と同時に一緒に動きまして、インデックスチューブという中に入っている接点が、磁石が近づいたところで接点するという構造になっていて、事故当初は、全制御棒が全挿入状態になっていて一番上になっていて、00 ポジションが全挿入の位置ですが、同じ場所に全挿入位置の 51 という2つの接点が動作をしていて、それ以外のものは接点をしていないという状態から今どういう状態になっているかというのを、97 本の制御棒について測定をしてみました。目的は、これから何らかの RPV 下部近辺の状況が確認できないかということです。結果につきましては、これは炉心内の制御棒の配置図ですが、上半分ぐらいが2番となっていますが、2番というのは本来であれば上の2つが接点をしていて下の2つは導通していないという状態のはずですが、ここの2番というのは全て導通しているという状態で、何らかの異常があると考えられます。下半分についても、下半分のほとんどが今度は全然導通をしていない、接点していないという状況で、その中にいくつか3番が混じっていますが、こちらは本来の接点すべき接点でないものが接点しているという状態でした。全挿入状態であれば本来動作すべき接点が動作していて、かつ、そうでない接点がどうさしていないという、そういう状態がこの1箇所だけでした。上半分が故障している様相が短絡なのかなど。下の方は断線に近くて、一部断線したものが短絡していると、そんな風に見られますが、そちらについて評価しますと、先程と同じように、炉心部を小さくして、廻りに格納容器の絵を描いたものですが、この PIP、制御棒位置検出器の信号はこちらの接点を象限毎に、こちらの象限はこちらの格納容器の貫通部を通過して、象限毎に格納容器の貫通部、ペネと言いますが、こちらをそれぞれ分かれて通っています。先程、上半分、下半分と申し上げた境界がまさに貫通ペネ部分で分けられた部分になっているということが分かりました。このようなことを考察しますと、今回こういった結果は事故時の放熱の影響などにより、PIP の検出ケーブルが格納容器から中を通過してそれぞれの PIP になっていますが、こちらのペネ部分、貫通部分、あるいはケーブルが集合している部分、こういったところでなんかケーブルが損傷して短絡あるいは断線という事象が発生しているという可能性高いと。結局、本来 RPV 下部の状態をこの試験結果から推定することは困難と判断しました。

(本店保安班) 厚生労働省へ報告した個人線量の評価結果について報告しま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。今日の報告は、3月からの緊急作業従事者の月別の線量で、内部と外部の合計ですが、7月分について新規で報告しています。線量については、社員、社員外の合計で、下がってきていて、7月の内部線量はこの通りということでもあります。合計でも平均1.97、最大でも30mSvくらいでありました。相変わらず測定の数ですが、当初、測定できない方がかなりあって随分問題になりましたが、8月、9月、今回の報告と、新規の7月の方でも200人程度が未測定であります。当初に比べて大分減っています。引き続き、次の報告が9月末ですが、8月の方についてもこれに加えて報告することになりますので、9月末で、9月から毎月測定ということで定常化したいと思いますので、是非、9月の末に8月の方の結果も含めて全員の測定結果を報告できるように頑張っていきたいと思っております。ご協力をお願いします。

(本店広報班)本日のプレス対応状況について説明します。本日午前中は11:00～11:50まで当社の会見をしています。当社からは、2号機の原子炉建屋の水位計の設置についての説明、本日ありました全面マスクフィルタ未装着についての報告をしました。会見では、こういった観点からの質問、特にフィルタについては再発防止対策の徹底について質問をいただきました。夕方は16:30から統合会見ということで、被ばく線量の結果についての報告を中心にしています。

(安定化C) 統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/16(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00

(安定化C所長)16日の全体会議を開催したいと思います。本日も晴天で、暑いという感じてございました。怪我の方、あるいは軽い熱中症の方が出ておるといことで、残念なのですが、どちらも水処理関係でありましたけれども、捻挫といことですので、外傷的ではあまりないのですが、これは、ベテランの方だといことですので。それから、軽い熱中症の方は、今日は現場を見るというような、OJT的なものだったのですが、軽い熱中症になってしまったといことですので、これは、現場としては、初めてといことのようにあります。いろんなかたちで、リスクがあるといことを、やはり、あらためて認識しなければいけないと、ベテランのかたが必ずしも大丈夫だといわけでもないし、新人はやはり注意しなければいけないといことかもしれません。あと、環境状況もありますので、ここは、引き続きいろんなリスクを考えて、作業の前に十分注意していくと、あとは、現場においても、足を捻るといのはいろんなケースがありますので、ここは、やはり現場チェックな管理が必要だと思いますが、残念ながらそういった2点がございました。

あと、水処理関係につきましては、SARRYが停止するといことですので、まだ、今復帰しておりますけれども、後ほど、その状況につきましては、ご説明いたします。特記事項としては、原子炉注水関係で、2号、3号につきましては、原子炉の注水量を増やしましたので、今日の午後3時過ぎぐらいから増やしていますので、まだ、傾向ははっきりしていませんが、3号機側は少し下がり傾向が見えていますが、2号機は、必ずしも、コアスプレイの効果というのが、いまでもはっきり見えていないとい状況であります。ここについては、現時点の状況について、簡単に紹介させていただきたいと思えます。

あと、環境影響評価関係で、ダストの測定をやるということではありますが、明日は、2号機のブローアウトパネルにつきまして、再度、ダスト測定を行うと、サンプリングを行うといことを予定しております。そこについての、作業状況について掻い摘んで、ご紹介させていただきたいと思えます。

大体トピックス的には、以上のような状況でございますが、それでは、発電所さんのほうから、プラント状況と作業の状況について、紹介をしていただければと思えます。

(1F ユニット所長)プラント、作業の状況、いま、小森さんのほうから、概略説明があつたとおりで、ちょっと重複いたしますけれども、まずは、怪我人の方は、門形クレーンのベースに足を引っ掛けて捻挫をされたといことですので、軽い熱中症の方は、8月18日以降熱中症は出ておりませんでしたけれども、今日発生したといことですので、まだまだ、暑い日続きますので、気を緩めずに、作業管理のほうを

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

やっていきたいと思えます。

2号、3号ですね、コアスプレイからの炉注流量の増加は、計画通り、行っております。詳細は後ほど、発電班のほうからあらうかと思えます。

あと、作業の関係ではありませんけれども、8月に2週間程度かけて行いました、5・6号のウォークダウンを今日概略をこの時間を使ってご説明させていただきたいと思えます。それでは、発電班から、順次報告をお願いします。

(1F 発電班)プラント状況です。まず、1号機ですが、こちらについては、原子炉注入量が低下しておりましたので、15:41に、3.5 m^3/h から3.8 m^3/h に調整しております。現在ですが、3.9 m^3/h で注水中ということで、主要パラメータ、RPVの底部ヘッドが85 $^{\circ}\text{C}$ 、使用済燃料プール水温度が31 $^{\circ}\text{C}$ 、ドライウエル圧力が22kPaで、いずれも安定しています。2号については、本日予定通り、15:35に、コアスプレイ系の注水量を2 m^3/h から3.0 m^3/h に増やしました。現在は、給水系からの3.8 m^3/h とあわせて、6.8 m^3/h で注水しております。17時現在、RPV底部ヘッド上部で114.1 $^{\circ}\text{C}$ 、それほど大きな変動は見えていない状況です。使用済燃料プール水温度は34 $^{\circ}\text{C}$ 、ドライウエル圧力は16kPaゲージと引き続き安定しております。3号機につきましては、注入量変更試験ということで、本日15:05、炉心スプレイ系の流量を3 m^3/h から8 m^3/h まで増加しました。現在、給水系の4 m^3/h とあわせて、12 m^3/h で注水しております。パラメータですが、RPV底部ヘッド温度が102.7 $^{\circ}\text{C}$ と、これは朝方の時点から0.6 $^{\circ}\text{C}$ 低下しています。RPV底部ヘッド上部は、97.2 $^{\circ}\text{C}$ 、これも0.4 $^{\circ}\text{C}$ 朝に比べて低下しています。その他のパラメータですが、プール水温が33 $^{\circ}\text{C}$ 、ドライウエル圧力が0.2kPaゲージで、特段大きな変動はございません。4号機のプール水温度は40 $^{\circ}\text{C}$ 、こちらも安定しております。共用プールのほうですが、引き続きプール冷却系等が停止しています。今朝8時が45.6 $^{\circ}\text{C}$ 、夕方16時が47.2 $^{\circ}\text{C}$ ということで、1時間当たり0.2 $^{\circ}\text{C}$ ということで、想定よりは、ちょっと大きめの上昇傾向になっております。

一点、午前中に発話した内容ですが、本日10時ごろ、共用プール建屋地下1階、プリコートタンク室壁面配管貫通部ラバーブーツから、5秒に1滴の滴下を確認しておりました。こちらにつきまして、水の分析を行った結果、セシウム、コバルトは検出されておりますが、合計で10の0乗Bq/cm²オーダーということで、この配管そのものが地下を貫通してくる配管という事で、水としては、地下水の流入と判断しております。

5号、6号ですが、6号機においては、先日来、原子炉の補機冷却水系が復旧しておりますので、本日、ドライウエルの空調系にもその冷却水を通水しました。これまで、6号機のドライウエル環境は、47 $^{\circ}\text{C}$ ぐらいと非常に高温だったのですが、夕方の段階で43 $^{\circ}\text{C}$ まで落ちていて、さらに低下していくと期待しています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

これによって、環境改善、また、ある程度の復旧作業が進めると判断しております。プラントは以上です。

(1F復旧班)1号機から6号機、水処理関係のご報告をいたします。まず、1号機ですが、ホットウェルからタービン建屋への移送ですが、9月14日の9:53から本日の14:35まで移送しております。連休もありまして、一旦止めまして、9月20日から再開の予定です。それから、2号機、3号機のコアスプレイ系の注入につきましては、先ほどご報告したとおりでございます。4号機ですが、本日、スキマサージタンクに水張りを行っております、10:35から11:19にかけて、約23トン送っております。あと、6号機のほうですが、メガフロート、タービン建屋から仮設タンクへの移送はありませんでした。タービンの地下から仮設タンクへの移送もありません。仮設タンクの淡水化装置の装置でございますが、本日、13時から16時運転を行っており、現在、順調に運転しております。それから、ちょっと先の話ですが、5号機のRHRS、バルブ修理のために、9月26日の日に、本設から仮設のRHRSに切り替えます。また、ちょっとその先ですが、10月24日ですが、BのRHRSの本設モータの吊り込みのため、また、仮設に一旦切り替えることとなります。それから、水処理のほうですが、本日SARRYが停止しました。原因は、信号を伝送する基板に問題があった模様で、基板の交換を実施したところまた、元に戻っております。それから、KURIONのベッセルの交換ですが、順調に行われております。5・6号のウォークダウンの結果の概略を、ちょっとお時間を頂きたいと思っておりますので、ご紹介したいと思っております。

(ウォークダウン説明)書画にて説明

5・6号のウォークダウンですけれども、2週間ほどかけて、8月の下旬から調査してございます。だいたい、出揃いつつありますので、この場を借りて、ご報告したいと思っております。書画にあるとおり、プラントのレイアウトはこのような形で、上が北向きになりますけれども、5号のタービン、リアクタ。あと、海周りがこちらのほうになります。回ったところですけども、ここの建屋内全般と、ヤード周り全般を回ったと。ただし、高所で足場が必要なものですとか、照明が無いようなところは回ってございませぬ。基本的には、主要機器について調査をしてございます。それぞれの写真を含めて紹介したいと思っております。

まずは、5号の屋内設備になります。左上のところにありますのが、高圧注水系の設備になります。こちらは、リアクタビルの地下2階のところでございますけれども、機器自体には特に損傷は無いと、床面には、若干滞留水があるという形になります。その右側のところがRHRポンプ、こちらもリアクタビルの地下2階にございますけれども、同様なような状況となっております。その右の、リアクタビルの天井クレーンなんですけれども、機器自体の総称は特に認められなかったのですが、中が若干多湿状態になっていまして、湿気がこもっていて、レールの

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ほうにサビの発生がありまして、そういったところがございます。あと、その結露水等で、今後電気品ですとか、そういったところに支障をきたす可能性がありますので、そういったところの環境改善を図っていきたいというふうに思っております。その右側のところが、2階フロア全域と書いてございますが、こちらが、ドライウエル内になってございます。今回、5号機については、環境改善がある程度はかかれてきたこともあって、5号のドライウエル内は調査してございます。今後、6号機のほうも、環境が整い次第調査のほうに入っていこうと考えております。

ドライウエル2階フロアの全体を見回しましても、特に機器への外観上の異常については確認してございません。ペDESTAL内と書いてございますが、こちらは下部の方になってございますけれども、こちらも特に支障はないといったところではあります。その右側のところが、5AD/Gと5BD/Gと、こちらはタービンビルの地下1階にございますけれども、D/G自体に特に損傷等は確認されていないという状況でございます。その右側に、湿分分離機と書いてございますが、湿分分離機から湿分分離ドレンタンクへドレンを落とす配管のところにある、その母管から出ている小口径配管のドレンを抜くための管のところですね、一部損傷しているといったところを確認してございます。その右側のところが、高圧タービン、こちらはタービンのオペフロ、2階にございますけれども、前部軸受台、フロントスタンダードのところの基礎のグラウト部分、お化粧部分のところ、赤い破線で書いているところですが、そこに少クラックのようなものが確認されているという状況になってございます。

6号機ですが、RHRポンプ、こちらと一緒に特に支障はございません。6AD/Gですけども、リアクタビルの地下2階にございますけれども、特に目立った損傷等はございません。その隣にあります、HPCS D/Gについても、同様でございます。その脇にあります、SGTSですけども、リアクタビルの3階にございますけれども、こちら、基礎を含めて特に損傷は確認されておりません。左下のところの、リアクタビルの天井クレーン、こちら、5号機同様でございます。その右側にあります、2ヒータと書いてございます、給水加熱器ですけども、明らかに写真で見てわかりますように、お化粧部分のところ、少し剥離した状況であることが確認されております。その右側の低圧タービンですけども、こちらは摺動方向に若干の傷があったことを確認してございます。その右側のところは、ラドビルのところの地下2階のところ、少し水が貯まっている状況でございます。5号機の屋外設備でございますけれども、取水路のところのコンクリートのところが、損傷しているというところがございます。その隣の循環水ポンプでございますけれども、こちらのほうは特に目立ったものはございません。その隣の、スクリーンのところは、上から門形クレーンが倒れてきたところがあります。その隣の取水電源室、こちら海周りでございますけれども、破線の下側のところ、そのろことが取水電源室があっ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

て、いま工事の関係でこちらのほうを撤去してしまいましたけれども、そのところが破損していたと、上側の破線のところはですね、ストームドレンの処理建屋のほうがございましたけれども、こちらも若干傾いたりしております。その左下の写真のところに取水ケーブルピットがございますが、こちらは海周りのところなのですが、海周りから建屋のほうに向っていくところの、ケーブルピットがございまして、そちらのところで、津波によると思われるもので没水しているといったところがございまして。水だけでなく、土砂のほうも含んだ状態になってございまして。程度の差はございますが、6号側のほうもこのように水が貯まっている状況となっております。その右側の主変圧器、その隣の主排気筒、この2つにつきましては問題になるところは確認されておりません。そのとなりの、碍子を洗浄するための水をためておくタンクですが、いくらかタンクが変形したりとかございまして、基礎部自体には問題はなかったというところがございます。

つづいて、6号機ですが、海周りのポンプでどうしても、津波そのものというよりかは、津波に伴った漂流物による損傷というところが、5号も一緒ですけども、散見されます。HPCSのDGSWポンプ、これも例としてあげてますけれども、他にも漂流物による損傷がございまして。そのとなりのスクリーン周りとかいてます、トラッシュピット、洗浄水ポンプで取ったゴミをためておくところですが、除塵の柵が散逸しているという状況です。その隣の、逆洗弁ピット、循環水に送り出す海水を逆洗をかけるところの配管ピットがございましてけれども、そちらのほうに海水がたまっている状況、そのとなりが、主変圧器、こちらのほうは外見上特に問題ありません。5号と同様でございます。下側に写真のほう4つ追加してございまして、左側2つのほうは、海側で海拔4mのところから坂を上がっていくところの消火配管、右側2つのほうが建屋側の高さまで来ているところの、山側の消火配管になります。中越沖地震等の関係もありまして、消火配管等の架空化等を進めてございまして、山側のほうにつきましては、若干サポートのずれとかはあったのですが、配管等が著しい損傷を受けているといったことはなかったと思っております。このような形で調査のほうは実施してございまして、冒頭でもお話ししたとおり、建屋全般的に見た時にはですね、津波による損傷が支配的で、地震による影響というのは、建屋内で見たときに極めて限定的であったのかなと考えてございまして。

(1F復旧班)2号機の原子炉建屋の水位ですが、昨日、9月15日に設置しまして、1日おいて様子を見ていたのですが、使えるということがわかりましたので、今後この水位計につきましても監視していきたいと思っております。

(1F 土木)汚染水処理用のタンクの設置、継続実施中でございます。本日、G・Hエリアのタンクの設置等々を実施しているということで、明日も継続実施でございます。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

無人化施工によるガラ撤去ですが、本日、4号機の逆洗弁ピット付近を実施しまして、コンテナ4個分のガラを撤去してございます。明日も、継続実施でございませ

す。
海関係ですけれども、北防波堤の復旧ということで、テトラポットの据付を実施してございませ

(1F建築)

1号機リアクタビルカバー工事におきましては、本日、西側壁パネルの2面の取り付けを実施してございませ

す。明日は、南側壁パネルの取り付け、さらに、パネルの水切り作業を予定してございませ

す。
3号機リアクタビル上部ガレキ撤去ですけれども、本日、南側ヤードでガレキの片付け、明日も継続になりませ

す。
4号機リアクタビル上部ガレキ撤去ですが、本日、高所解体用の重機の組立、明日も継続作業になりませ

す。
スラッジ貯蔵施設ですけれども、スラッジ棟、設備棟の基礎配筋作業を行っておりまして、明日も継続になりませ

す。
(安定化C所長)いまの、5・6号のウォークダウンですけれども、まだ続いているということですか？スケジュール的にはどのような感じなのでしょう

か？
(1F復旧班)一旦、ウォークダウンとしては、終了してございますが、今後、中に入れるように、環境改善が図られ次第、追加でやっていくと考えてございませ

す。
(安定化C所長)まだ、全部は入れているわけではないので、そこは、順次拡大していくということですか？

す。
(1F復旧班)その方向で、進めていきたいと思ひます。
(安定化C所長)計画がたてられるようであれば、その計画そのものも、ここで紹介するかはあれですけれども、しっかりと作って、節目節目でまとめていくということが重要化と思ひますので、よろしくお願ひします。

す。
(安定化C所長)安定化Cからの紹介事項としては、まず、水処理のほうのトラブル概況について、簡潔に説明をお願ひします。

(安定化C水処理)書画にて説明

今日、午前中にありました、SARRYを手動停止した件について、ご説明いたします。SARRYにつきましては、B系のほう、この絵で言ひますと下側のほうのラインを使いながら運転をしていたわけではございませ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

がゼロになってしまったということで、なんらかの異常があるだろうということで、今日、10:54に手動停止してございます。いろいろ調べた結果、この制御装置、圧力計がいくつかあって、それぞれに対して、制御装置がいくつかあるわけですが、入口側の圧力を見ている制御装置、それから、あと、この入口にAO弁がついてございまして、このバルブを見ている制御装置がですね、どうも異常をきたしているということで、取替をしまして、運転したところ、きちっと運転できることが確認されました。今日の流量計が出なくなってしまった理由ですが、制御装置がですね、ダウンしたことによりまして、入口弁がAO弁になっていまして、どうも、これが閉まってしまったことによりまして、流量が出なくなってしまったというふうに推定してございます。下流側のほうにつきましては、制御装置が別になってございますので、そういった関係で、この入口側の圧力計を使って、ベッセルの差圧を見ているところもございまして、その高いところも確認されたというところでございます。今現在は、A系にあります、同一の制御盤をこの中に入れてあげて、取り替えを行いまして、B系のほうを立ち上げて、29トン/hで運転を開始してございます。

(安定化C所長) 基板の異常というのは、どこまで調査できるか、わかりませんけれども、再発しないように、できる調査はお願いしたいと思えます。炉注関係で、今の2号、3号の状況について、お願いします。

(原子炉安全評価) 書画にて説明

2・3号の炉注と、それに伴いまして、各種パラメータの動向についてご説明をさせていただきます。

今、お示しておりますのが、2号のドライウェルの圧力の推移です。本日、ここで、CSを2から3に増やしております。昨日まで、ずっと温度、圧力が低下しておりましたが、顕著に下がってきている状況ではありませんけれども、引き続き低下傾向を示しているものとみております。こちらのグラフが圧力容器の上部の温度でございまして、下側の青いグラフが上蓋フランジで、こちらにつきましては、順調に下がってきております。こちらの、赤色がスタッドボルトになりますが、今朝方から急に上昇を始めまして、ちょっと高い温度、145℃を超えるような温度を一時示しておりました。これにつきましては、過去にもこういうような挙動を示しているということ、ただ、実現象であるということから、何らかの熱源、たぶんRPVにくっついているFPが、上記の流れに乗って、こういったところに入り込んで、高い温度を示しているのではないかと推定しております。3m³に増やしましてからは、順調に下がってきておりますので、今後の推移を見ていきたいと考えております。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

こちらが、2号のRPVの下部の温度でございます。こちらにつきましても、あまり顕著ではございませんが、緩やかに低下傾向を示しているものと考えておりますので、引き続き監視を継続していきたいと思っております。

3号の温度のグラフを示していきます。こちらが、3号のRPVの上部の温度です。こちらの線が、本日、コアスプレイからの流量を3から8に増やした点でございます。まだ数時間程度でございますが、見ていただきますとわかるとおり、全般的に下降傾向を示しているかと思えます。今後、これで温度が下がっていくことを期待しております。ペローシールのところの温度が一部上昇しておりますが、これも過去、こういう上昇を示している傾向もありますので、こちらにつきましても、引き続き継続監視をしたいと思っております。こちらが下部の温度でございます。下部の温度も、緩やかに、下降傾向を示しておりますので、今後監視を継続していきたいと思えます。

最後、3号につきましては、急激に5m³、コアスプレイからの流量を増やしたということで、予め、五ホウ酸ナトリウムを注入してございます。それについて、補足させていただきますが、今回投入をいたしました、五ホウ酸ナトリウムは480kg、これを溶液に溶かしまして、15m³を3時間あまりかけて投入してございます。この480kgという量ですけれども、通常の原子炉の保有水340トンに対して、十分保守的な値ということで、どういう状態かという、燃料がきれいに配置された状態で、全制御棒が引き抜かれた状態でも、未臨界に維持できる、そういう量を投入してございます。反応度換算で言うと、実効増倍率で0.94になるような、そういうぐらいの大きな量を今回投入し、未臨界維持を確保するというのでやってございます。

(安定化C所長) それでは、環境影響評価のほうで、明日の2号の出すと測定に關しての概要について、極簡単で結構ですけど、説明をお願いできますか。

(本店環境影響評価) 書画にて説明

明日、午前と午後の2回、ダスト測定を予定してございます。午前は、前回と同じ条件で、コアスプレイからの注入後の影響を確認するというので、前回、8月29日との比較をしたいと考えております。午後につきましては、大物搬入口を閉じた状態で測るということを計画してございます。これは、原子炉建屋からの放射性物質の放出は、格納容器からの蒸気に伴っての放出と、それから建屋内に付着しているものが、建屋内の空気に含まれて外に出て行くと、2つあると考えておまして、これらが合わさって、ブローアウトパネルで測定されると考えております。大物搬入口を閉じることによりまして、建屋内からの空気に伴って出てくるものの量を抑制をした状態で、格納容器からの量がどのぐらい出るかということを確認したいということで実施をするものです。明日は、大物搬入口は、内扉を全閉といたしまして、パーソナルエアロックそれから西側の非常用扉が空い

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

た状態で、下とそれからブローアウトパネル部での風速を計って、評価をしたいと考えております。具体的には、ブローアウトパネル部の測定は、前回と同様に開口部の上と下で測定を予定しております。今回もうひとつ、上部につきましては、ダストサンプラを2台装備いたしまして、前回と同様にブローアウトパネルに向った向きでのダストの採取。それからもう1つ、北側に向いた向きでも、サンプリングをしようと思っております。これは、風の影響がどの程度あるかというのをみたいということで、併せて測定をしたいということで考えております。

(安定化C所長)いらんなパラメータで、希少なデータを得て、これを全体評価につなげていくということで、順調に作業できるようにまた、がんばっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

(本店広報班)

本日の広報対応の状況をご説明いたします。今日午前中は11時から12時まで、1時間のレクでございました。資料を用いてのご説明は、プラント状況のほか、1号の制御棒の検出器の確認結果、また、1号機の格納容器の凝縮水・ダストサンプリング結果、2・3号の炉心スプレイ系からの注入流量の増加について、資料を用いてご説明をしております。共用プール建屋の滴下による水溜りの発生、また、SARRYの手動停止、これについてもご説明をさせていただいております。マスコミの関心は主に、制御棒検出器の状態確認結果並びに2・3号の原子炉注水量の増加というところに時間を要して、ご説明をしたところでございます。特に、制御棒に関してですが、結果について細かくご質問を受けて、想定される原因ですとかをご説明したという状況です。2・3号への注水量に関しては、増加ということを受けまして、第二ステップの達成時期についてご質問を受けておりました、10月というのがあるのかというところのご質問を受けている状況です。これに対しては、そもそも冷温停止自体は、温度100℃未満ということ並びに放射性物質の制御管理と2つの面から判断するというところで現時点では、まだ見通しをお示しすることはできないというお答えをしている状況でございます。午後ですけれども、午後は18時から予定通り会見を行っております、SARRYの復帰の状況並びに滞留水の処理分析結果をお出ししている状況であります。

明日の予定をご説明させていただきます。明日、土曜日ということでございまして、先週から新しく企画といたしまして、冷温停止の実現に向けた取り組みという形で、少し時間をお取して資料をまとめてご説明をという取り組みを始めておりました、先週は、現在の原子炉注水システムの状況というものを動画や写真を中心にご説明をしております。明日は、その2回目といたしまして、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器、こちらの計測機器の状況について、写真を用いて、パワーポイントで丁寧にご説明してまいりたいと考えております。併せまして、先

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

だつてご説明しておりますが、少しでも現場の映像をマスコミの皆さんに提供してご説明しようという取り組みといたしまして、明日からですね、毎週土曜日に現場で撮り貯めていただいている写真を、写真集という形で、現状のご報告という形で少し取りまとめて、ご提供してまいりたいと思っております。現場で、写真をお撮りいただいた皆さん、ありがとうございます。明日からは、そのような活動も始めてまいりたいと思っております。

(園田政務官)

13日の件で、一言だけ御礼を申し上げさせていただきたいと思っております。13日に安定化センターの小森さんをはじめ、Jヴィレッジの皆さん、海外からの訪問団、放射線防護の専門家の方々を受け入れていただきまして、ありがとうございます。本日でございますが、日本財団の会長からですね、細野大臣のところにお越しいただきまして、現場で東電の皆様がたがしっかりと対策を講じていただいているということと、それから丁寧に説明をしていただいたということで、大変感謝とそれから現場の状況を高く評価していただきました。そのことを、大臣を通じて、私から皆様方へお伝えするということが、本当に現場の皆さん、大変厳しい状況でございましたけれども、視察を受け入れていただきましてありがとうございます。今後も、私のほうもですね、しっかりと、着実に対策が進んでいくということを外に対しても発信をしていく所存でありますので、かなりまだ厳しい作業が続きますけれども、一緒にがんばってまいりたいと思っておりますので、よろしく引き続きお願いしたいと思います。

(安定化C所長) どうも、ありがとうございます。Jヴィレッジ、第一の皆さんの協力で対応できたと思っております。どうも、お言葉ありがとうございます。

(安定化C所長) 明日、土日ということ、3連休ということになります。作業そのものは、クリティカルなものは引き続き継続して実施してまいりますが、若干作業ボリュームは減ることになるかなと思っております。また、来週は、雨が来るようですので、そのあたりは天候によく注意して、作業管理あるいは、プラントの状況確認をしていきたいと思っておりますので、関係の皆さんよろしくお願ひしたいと思います。それでは、今日の全体会議は終了したいと思います。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/17(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長) 休みのお仕事ご苦労です。本日の比較的気温は高めでしたが、風が少し強く、台風のせい、海は波浪が強まっています。

本日はいろんな作業が行われていますが、2号機ブローアウトパネル開口部のダストサンプリングが予定通り実施できました。その他、共用プール側の仮設 P/C、MCC の移設工事を行っています。共用プール水温度の上昇が予想よりも高めである、今後の作業計画の前倒しを説明したい。

特記事項として、2、3号機の炉注水量を増やしている、その現状について紹介をしていただきたい。水処理関係では、本日の運転を継続していますが、高レベル汚染水を万が一の時に移送できるように、28基分のタンクの設置工事が完了しました。また、アレバ水処理の後段側の放射能濃度が高くなったためアレバの運転を取りやめています。それに対する今時点での見解を後ほど紹介していただきたい。

風が吹き、波が高いことから、カバーリングのパネルの取り付けができない状況でした。

(1F 〇〇) 本日は気温が上がったが、風が吹いたということもあり、作業中の熱中症の発生はなく、事故もなかった。特記事項は紹介の通りです。

(1F 発電班) 1号機は 3.9m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 85℃、SFP 温度は 31℃、D/W 圧力は 22kPagage で安定しています。1号機のデータの内、イントラで公表している S/C 温度の A 系の温度が本日からダウンスケールしています。S/C 温度は 4 点で測定しており、他の 3 点は安定しているのでプラント挙動に変化はないと思われる。計測系の調査を行います。

2号機は、昨日 15 時頃より CS 系の流量を 1m³/h 増加させて 2.9m³/h、FDW 系から 3.9m³/h あわせて約 7m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 112.9℃で緩やかに低下して、現在ほぼ一定の状況です。SFP 温度は 34℃、D/W 圧力は 15kPagage で安定しています。

3号機は、昨日 15 時頃より CS 系の流量を 5m³/h 増加させて 8m³/h、FDW 系から 3.9m³/h とあわせて約 12m³/h で炉注水を行っており、RPV 底部ヘッド温度は 96.1℃で、昨日夕方より 7℃低下しています。RPV 底部ヘッド上部温度は 92℃で両方とも低下していますが、継続して監視しております。SFP 温度は 33℃、D/W 圧力は 0.2kPagage で変化ありません。

4号機 SFP 温度は 40℃で一定です。共用プールについては、現在冷却システムを停止しており、プール水温度は 51.3℃で、1 時間に 0.1～0.2℃程度上昇を継続しています。これについても監視を継続しています。5、6号機は冷温停止を継続して

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

おり、6号機は SFP、炉心と平行した冷却を順調に継続しています。

(1F 復旧班) 1号機 H/W から T/B への移送について、9/20 に再開で本日は停止しています。2号機は、SFP スキマーサージタンクに 8m³ 補給しています。

滞留水水位について、2号機タービン建屋は 4mm 下降、トレンチは 4mm 下降、3号機タービン建屋は 6mm 下降、トレンチは 4mm 下降、4号機タービン建屋は 6mm 下降しています。受け入れ側水位について、プロセス建屋は 24mm 下降、HTI 建屋は 45mm 下降しています。

滞留水処理について、本日、キュリオンベッセル 3 塔交換しています。

作業関係では、4号機 SFP の塩分除去装置の方ですがほぼ終わり、明日インサービス、データ採取 (ED 装置も含めた) を行う予定です。5、6号機の RO の滞留水について、明日10時から16時に運転する予定です。メガフロートへの移送は本日なく、明日も予定していません。仮設タンクへの移送についても、本日・明日ありません。水処理装置については、明日キュリオンのベッセル交換予定はありません。

(1F 土木班) タンク設置工事について、本日、明日とも G・H エリアで継続実施です。無人重機によるガラ撤去については、4号機逆先弁ピットでコンテナ1個です。明日はステージ設置のため準備工となっています。海関係では、1~4号機透過防止堤設置工事のテトラポット据え付けを本日実施しています。明日はテトラポット休工ですが、1~4号機透過防止堤の方は、シルトフェンス開閉を9時から10時20分に予定しています。

(1F 建築班) カバーリングについて、1号機パネルのつり込みは強風のため取り止めとしています。水切り関係は、本日午前中7:40に入港し、出航9:10で予定通りメガフロート上に水切りを行いました。明日、風の状況をみながら、パネルの取り付け、メガフロート上のパネル材の荷振りを予定しています。

3号機ガラ撤去関係では、本日、南側ヤードにおいてがれきの解体片づけ、周辺ヤードにおいて鉄板の溶接を行っています。明日も継続します。

4号機解体関係では、本日、解体重機の搬入・組み立てを実施しています。明日は休工の予定です。

スラッジ貯槽建屋関係では、本日は継続でスラッジ棟・設備棟とも基礎配筋工事を行い、明日も継続で実施します。また、ガレキ収集・運搬関係ですが、本日の夜間作業で重ダンプを使って3号機周囲のガレキの運搬を実施します。明日は休工の予定です。

(安定化 C 所長) 2、3号機の炉心の注水 (増加) による炉心温度のトレンド状況について紹介願います。

(原子炉安全評価) (書画説明) 示しているのが CS インサービスからの時間経過で、2号機 (青)、3号機 (赤) の温度の挙動を示したものです。3号機は順

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

調に下がっています。2号機についても上蓋フランジは順調に下がってきており、ほぼ3号機と同じ温度領域ですが、スタッドボルトについては、何らかの熱源が蒸気の流れによって上がってきて少し温度が上がっています。その後、同じような傾きで下がっているのが、順調に冷却されていると考えられる。また、冷却の傾きもほぼ同じなので、CSの効果については、2, 3号機とも同等と評価されると考える。次に2, 3号機のRPV下部の温度挙動を示す。3号機は順調に下がってきているが、2号機はあるところで飽和して下がっていないように見える。原因の1つは、D/W 圧力上昇にともなって飽和温度が上昇していることが考えられる。2号機D/W圧力を示すが、初めにCSインサースしたときに蒸気発生が増えたことにより一部上昇していますが、現在は注入開始前のポイントよりも少し低めの値で安定しています。このことから、RPV下部の温度は飽和温度あたりで安定していると考えられる。また、他の要因として、2号機のRPV上部の温度は、3号機よりも20℃位高いこともあり、CSから注入された水が下部に落下する量が少ない(途中で蒸発するあるいは温度が上昇してサブクールで寄与していない)ことが考えられる。原因としては、2号機の方が炉心に残っている燃料が多いということが考えられる。今後詳細に検討したい。また今後の流量については、CS注入開始後、圧力がまだ緩やかに下がっているように見えるため、このままホールドして、どこまでD/W圧力が下がるか注視したい。こちらが3号機の温度挙動で、こちらが昨日CS流量を3m³/hから8m³/hに増やしたポイントであり、まだ順調に下がっている状態が継続しており、引き続き状態を監視していきたい。

(安定化C所長)2, 3号機のCSの効き方を説明していただきました。どんな量(燃料)が炉心側にあるか見えません。注入量が3m³/hと8m³/hで大きく違うため、挙動が異なってもおかしくないのでは？

(原子炉安全評価)CSインサースする前の状況は、どちらも非常に緩やかに低下しており、状態は同じと考えられます。FDW系からRPV下部に流入する量は大きく変わってないと仮定すると、このように考えられます。今後、炉心・圧力容器の状態を評価する中での一つの情報として活用したいと思う。

(安定化C所長)今の時点で判断は難しいが、引き続き評価をお願いします。

次に、共用プールの電源系工事の今後について説明願います。

(安定化C施設基盤)共用プール電源系の復旧行程について説明します。共用プール地下の電源盤の取り替え工事に干渉する仮設P/C等の移設工事を実施しています。当初、P/C停止期間は6日間で、共用プール温度の管理値まで上昇するのは10日間と予想していたが、温度上昇の傾きが予想よりも大きいため、行程の見直しを検討した。(書画説明)上の方が当初の行程で、人の関係もあり、P/C移設、MCC移設、変圧器移設をシリーズで行う行程としていたが、下のよう明日、P/C移設、MCC移設、変圧器移設を平行して実施し、プールの冷却に関

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

わるケーブルを優先的に引いて接続することで、19日午前中までにケーブルの敷設接続まで終わらせて、その午後に試験を行う。19日夕方までには復旧させ、十数時間前倒しできる見通しとなりました。現在プール温度については、17時現在で 51.3℃で、保守的評価すると19日18時(復旧の前倒し行程)で 61℃であり、管理値の 65℃に対して余裕あるところで完了できる見通しです。

(安定化 C 所長) 温度があまり上昇しない形で作業終了できるよう検討いただいた。いずれにしても、平行して多くの方が入ると思いますので、工事の安全と確実な作業について、よく注意して進めてください。

水処理関係では、アレバの出口側で 10^5 位の放射能濃度となったため、一旦停止してバイパスしていますが、現時点での検討、評価状況の説明をお願いします。

(水処理PJ) アレバ凝集沈殿装置について、バイパスしてキュリオンの単独処理で性能みているところです。アレバの当時の状況について分析したので説明します。9/15 夕刻18時にキュリオン・アレバで処理していましたが、アレバの性能低下により水処理を停止しました。状況は、30t/h で少なめの流量で処理を開始したところでした。アレバ処理水が 10^6 Bq/cc で、これまでの運転では、キュリオン・アレバ連動処理水は 10^0 以下でしたが、いきなり 10^5 になり、停止しました。褐色水がサンプルされ、これはおそらくスラッジの混入ではないかということで分析のためバイパスしました。直接の原因は、アレバの処理水タンクのスラッジを含んだ高線量の水が入っていることです。原因として2つ考えられ、1次攪拌槽の水が処理水タンクへ入ったケースまたはディスクフィルタの故障が考えられる。装置の概要についてキュリオンから出た廃液受けタンクをそれぞれ1次反応槽および高速凝縮沈殿装置マルチフローを抜けて、アクチフローの2次については漏えいがあったことからバイパスしているが、その後ディスクフィルタを抜けて廃液処理水タンクに流れます。こちらのサンプルの結果が 10^5 で検出された。13, 14日に、1次反応槽の攪拌機の取り替えのため、水を抜いて工事を行った。その後の分析の結果について、1次反応槽は高さ6mで、通常水位は5mあり、ドレンラインで水を抜いて工事の準備をしていた。同じフロアの廃液処理水タンクの構造はこのようになっており、ドレンラインのバルブは閉じてありました。開放型タンクのため、万が一(流量が急に増えた、ポンプから吐き出すことができなくなった)のためにオーバーフローラインがあり、解放のラインが直結しています。そこの水頭差を計算しところ約 3m あります。工事の準備のためドレンを開けて水を全部抜いたが、抜くときには気を遣い、水が落ちていく時間を考えていたが、水頭差がきついということを失念しており、それ以上に水が流れてオーバーフローラインから逆流した可能性が高い。今後の調査方針について、アレバの処理水タンクの底に1次反応槽で攪拌していたスラッジがたまっていることが予想されるため、ラインを赤線のように内部循環の構成をしまして(バルブの切り替えでできる)、アレバは水処理を行っていないため

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

オフラインで再循環させ、最終的にはマルチフローやディスクフィルタでトラップされて浄化されることが期待される。一方、ディスクフィルタの性能が落ちていないかということについて、スラッジの粒径が 30 ミクロンより大きいものは処理できるので、30 ミクロンより大きいスラッジがこちらに流れているのであればディスクフィルタが壊れているという分析もできますので、こちらをあわせて検討します。現状わかっている状況は以上であり、来週以降にこの調査方針に従って確認します。

(安定化 C 所長)アレバの機能そのものは復旧する必要があるので、調査をして原因を特定したら対策をお願いします。フローの管理方法やタンクのオーバーフローラインの配管について検討する必要があるが、一過性とも考えられる。ディスクフィルタであれば、ハード的には対応が難しいかとおもわれるが、来週計画を立てて原因究明を進めてください

(水処理PJ)もう一つ補足しますと、水質が悪化した水が SPT(B)タンクに流れていたことは事実ですが、SPT(B)タンクそして下流側の淡水化装置入口の手前で分析した結果、 $1.4 \times 10^2 \text{Bq/cc}$ であり、 100Bq/cc (管理値)の近傍であった。若干高めではあったが、それほど多くのスラッジは流れていないということ、おおむね RO の管理値 100Bq/cc (理由は、フィルタの線量が上がって被ばくが増える)の範囲に収まっていることから、今後、線量評価しながら状態を見守っていきたい。現状は、サリーとキュリオンで浄化した性状の良い水が流れているため、どんどん回復していくことが予測されます。

(安定化 C 所長)水質についても監視をお願いします。

(本店広報)本日の説明状況について、11時と(午後)6時に行っています。11時は、2号機ダストサンプリングの話をしましたが、ごく短いやりとりで終わっています。質問は、アレバ装置不調に関するもののみです。午後6時は、本日作業が少ないなかで、先週、炉注水システムについて動画で説明しましたが、第2弾として冷温停止実現にむけた取り組みの一つとして RPV、PCV の測定機器の状況、測定原理について資料を用いて記者に説明を行いました。前回と同じように説明状況を HP にアップする予定です。もう一つは、今週からの取り組みですが、写真でサイトの全体の様子をお知らせするというので、1~6号機の外観やタンクエリア、集中廃棄物処理エリアの様子について、トピックスを交えて写真で配っている。これについても HP にアップする予定です。

(安定化 C 所長)休みということもあり作業は少なめですが、重要な作業が明日・明後日と継続となります。また、来週は天候が安定しないようで、雨も降りそうなので、その点についても注意していきます。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/18(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)天候は晴れ、風は強くなってきた。気温は高め。海廻り関係ではクレーンに関係する作業では出来ないものもあった。注水に関する2,3号の話題、ブローアウトの2号機のサンプリング、監視ができることの概要の説明を安定化センターよりさせて頂く。

(1F ■■■)風は昨日より少し緩かったが、安全のため停止するものは停止する、といった対応をしている。

(発電班)1号機については、炉注は3.8m³/hで実施中。また、S/P温度がダウンスケールしている事象があったが、昨日の夜の間には正常に復帰している。温度計の導線が接触していたもので、端末処理を行い復帰している。2号機についてはCS系から2.9m³/h、FDW系から3.9m³/h合わせて6.8m³/hで注水している。RPV底部ヘッドは113℃昨日から変化なし、SFPは34℃。D/W圧力15kPag、3号機はCS系から8.1m³/h、FDW系から3.9m³/h、合わせて12m³/hで注水。RPV底部ヘッドで92.2℃、昨日の報告から4℃降下、RPV底部ヘッド上部は89℃、両方低下している。SFPは33℃、D/W圧力は0.2kPag。4号機のSFP温度は40℃。56号機順調に冷却中。現在電源工事のために冷却を停止している供用プールは55.3℃。明日夕方には工事を完了、復旧予定。

(復旧班)2号機縦坑はHTIに移送継続。Tbで4mm下降、トレンチで4mm下降。3号機はタービンからプロセス建屋に移送を継続。Tbで5mm下降、トレンチで4mm下降。4号機タービンで3mm下降。受け入れのプロセス建屋は27mm下降、HTIは180mm下降、本日7時が欠測していたので、17日の16:45からの差による。ベッセル交換は本日はなし。明日はキュリオン3台とサリー1台交換予定。4号機でSFPのスキマーに22m³補給した。塩分除去装置のED装置インサービス実施。6号機でROを10～16時で淡水化の運転をしている。供用プールの仮設P/CとMCCの移送が終わり明日予定通り受電予定。

(土木)タンクはGHエリア今日明日継続実施。無人ガラ撤去は、本日明日ともに準備工事实施。海関係は2.5mの波高の予報。1～4号透過防止口はフェンス開閉一度実施。明日採石投入を行う。北護岸、56号機のテトラ設置は本日明日は休工。

(建築)1号機カバーについてはパネル取り付けは強風のため中止して、パネル取り付けのためのPC基礎の設置を実施。明日も強風の予定のため、壁パネルの養生のみ予定。ガレキ撤去は3,4号ともに本日休工。明日は3号機の南側ヤードのガレキ片づけ、地組の架台組み立て、4号機側で、高所解体重機の搬入組み立て、所内変圧器の搬出。ガレキの運搬は日中作業で土捨て場の通行路の補修

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

を予定。夜間はなし。スラッジ貯蔵施設は基礎配筋を行っていて、継続。

() 供用プールは協力企業さんのご協力により、前倒しで実施いただいて、プール温度は60℃程度に収まると思われる。1日前倒しで実施頂いた企業さんには感謝致したい。

(安定化C安全評価) (書画) 2号機のRPV上部のトレンド。CS系の効果が顕著であることが分かる。下部の温度は低下で進んできたが、上部に比べるとかなり緩やかなことが分かる。ほぼ横に寝てきたと認識していて、2号機はRPV下部の温度低下が緩やかである。今後の方針としては、CS系からの冷却の効果を確認するために、CS系からの流量をさらに1m³増やしてさらに24時間ホールドとしたい。これで効果がなければ、給水系を増やしていきたい。こういった確認をしながらどのように冷温停止にもっていけるか、検討したい。

3号機は給水系から4m³、CS系から8m³としたところ、急激に温度が低下して殆ど100℃を切ってきている。当面90℃を目安に給水系をしぼることを考えている。

(C所長) 2号機の下部の温度低下が顕著ではないことがそのとおりなので、今週雨が降りそうだが、2号機、3号機のバランスを取って頂いて、明日はベッセル交換もあることから水処理側と運用を連係してやって欲しい。

(環境影響評価) (書画) 昨日ブローアウトのサンプリングを実施。中央部と下部で実施。R/Bの大物搬入口が開いた状態で実施したものと閉じた状態で計った。若干閉じた状態の方が高かった。開口部の風速測定を併せて行っているので、そちらの測定と併せて評価したい。またサンプラーを90° 横にして取っているが、サンプリング方向による変動はあまり無かった。前回8/29に測定しているが、CSが当時-3乗オーダーであったが、今回は若干低かったが、気象条件等の差であるかどうか、評価を行っていきたい。

(C所長) このデータだけではあまりものが申せないことから、評価のほうもよろしくお願したい。

(水処理PJT) (書画) 重要免震等で水処理システムの監視ができるようなシステム構築を行っていく。現場にある大型トレーラーを改造したCCRと、HUBで繋いで、監視の強化を行っていくことが可能となる。制御については二重制御防止のためこのシステムには入れておらず、監視機能のみとなる。9/21に3時間ほど部分的に停止して信号を切り替える。また9/27AMに一時止めて切り替える。昨日紹介したアレバについて、アレバは水質が悪かったため停止しているが、高い水がSPTからRO側に行ったのではないかと監視をしていた。137~140Bqで受け入れ基準100Bqを少し超えたことから停止していたが、管理値100Bqを下回った。サリーとキュリオンで処理をしている。キュリオンの出口を100Bq以下になるように監視しているが、8~10Bq程度だが、若干線量の増加が見られるということで、明日のベッセル交換予定であったが、少し早めて今晚実施したいと考える。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(本店広報) 東電単独で11時と6時。11時は特段遣り取りはなし。6時はED装置のインサービスを説明する予定。昨日の6時の会見で、写真を配布した。1号機については4枚の写真を交換したが、②の写真は朝日の一面に取り上げられ、記事も順調に進んでいる状況という前向きな内容だった。このような感じで毎週発電所の状況を写真で公開することで考えているので、ご協力をお願いする。

(OFC) センター内で貴重なアドバイスを頂いている。交通安全について。一時立ち入りで700台ほどの一般の方々が入れられるので、信号が無いなどのことから、作業員の方々については、十分交通安全にはご注意願いたい。

(小森) 30km圏内については作業員のスピードの出し過ぎといったご指摘も頂いているところであることから、この会議の参加者から作業員へ周知のほどよろしくお願ひする。また、ロードマップの公表も控えていることから、関係各位のご協力を願ひしたい。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/19(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)本日現場で働いて下さった皆様、現場を支えて下さった皆様、お疲れさまでした。作業は通常で縮小していたが、作業は概ね順調であった。その中で2号機 CS 系から3m³/h で注水していたが、冷却効率の確認を行うために4m³/hに上げている。水処理装置では H ベッセル、サリーのベッセル交換を行っている。台風が近づいている関係からカバーリングや海関係は休工。明後日あたりから台風圏内に入ってくるため点検作業を行っている。共用プール冷却が9/14からP/Cを移設する工事があったことから5日間止まっていたが、本日予定を1日繰り上げてP/Cの受電を実施して冷却が復帰している。

(1F)本日は朝から雨模様。気温も昨日より10℃以上下がる模様。本日病人やけが人等はなく作業は完了している。

(発電班)1号機については、炉注は3.8m³/hで実施中。RPV底部ヘッドが84℃、SFP は31℃、D/W圧力が22kPag で安定。2号機は本日15時過ぎにCS系からの注水量を4m³、CS系から3.8m³/h で合わせて7.8m³/hで注水中。RPV底部ヘッド上部で112℃変化なし。SFPは34℃、給水流量の増加にともないD/W圧力は0.6kPa低下して14.4kPag。3号機はCS系で8.1、FDWから3.9あわせて12m³/hで注水中。RPV底部ヘッドで89.8℃、昨日夕方から2.4℃降下しているが低下が緩やかになってきた。SFPは32℃、D/W圧力は0.2kPag。3号機では注水量に変化がないが RPV ベローシールの温度上昇が確認された。一旦上昇して現在は安定しているが詳細は安定化センターから報告頂く。4号機の SFP 温度は40℃。56号機順調に冷却中。共用プールは本日17:22に冷却を再開し58.8℃。作業されご協力頂いた方々に御礼申し上げたい。

(復旧班)2号機縦坑はHTIに移送継続。キュリオンのベッセル3塔交換。サリーはベッセル1棟交換のために、9:08～12:57で停止したが現在は運転中。17時現在、サリーは25m³/h、キュリオンは29.1m³/h、順調に運転中。淡水化装置 RO、No. 2, 3が運転中だが14:16、RO3 カセット1のエネルギー回収装置近傍にあるPT用のテフロンチューブから漏えいして、RO2, 3を停止。その後14:50にRO2を起動して運転継続。こういった関係で、水位がTb/Bが低下傾向、プロセス建屋が低下傾向、HTI はサリーが止まった関係で上昇。RO の漏えいの水質はキュリオンの出口程度という分析結果。2号機高い方がTb/Bで2818、3号機トレンチが高く3111mm。プロセスは20mm下降で4654mm、HTI は45mm上昇で1999mm。明日はキュリオンの H ベッセル3塔交換予定。明日は共有プールP/C受電しているのでプール冷却系以外の負荷の復旧。RO3の漏えい対応が引き続き。明日高線量は1号機H/W→TB 水移送の再開、2号機のTb/B水移送が

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ンプの設置、1号機PCVガス管理システムの配管つぎ込み前の水抜きが高線量作業。4号機ハウストランスAが重量物作業となっているので気をつけて実施したい。56号機は明日は Tb→仮設タンク移送予定、10時～16時。仮設タンクからメガフロートへの移送なし。6号機HPCSD/G 室からの移送はなし。

(土木)タンクはGHエリア今日明日継続実施。無人ガラ撤去は、本日準備工事。明日は4号機逆先弁ピットを行う。海関係は本日1～4号透過防止堤は採石投入を行った。明日はテトラポット、透過防止堤ともに台風対策で休工。

(建築)1号機カバー工事については強風のため巡視点検のみ。明日保安検査官による壁パネルの検査。風の状況によりパネル取り付けを行いたい。3号機の南側ヤードのガレキ片づけ、地組の架台組み立て本日実施、明日は南側ヤードのガレキ片づけの他、3号 Tb 屋上の遮蔽ダクトの解体、4号機側は本日、高所解体重機の搬入組み立て、所内変圧器の搬出。明日は重機の組み立てを継続実施。ガレキの運搬は本日土捨て場の通路の補修。明日は夜間で3号機のガレキの運搬を実施する。スラッジ貯蔵施設は継続して基礎配筋を行っている。

(水処理 PJG) (書画)RO の淡水化装置 No.3 からリークが確認された件。全体の概要は除染水をRO装置に送ってバッファタンクから炉注水を行っているが、装置の構成ですが、供給ポンプから各種フィルターを介して、逆浸透膜(RO)に通して処理水と分離水に分けられるが、濃縮水側のエネルギーを使って、エネルギー分離装置というが、ブースターポンプを付けていて、RO幕のインプットに付けている。漏えいが確認されたのはブースターポンプの吸い込みラインに付いている、黄色いラインがエネルギー回収装置のラインになるが、テフロン性の圧力検出ラインがあるが、ここにピンホールがあり、漏えいが発生していた。現在はこれにテープを巻いている。漏えいは停止している。土日以降にこのチューブの引き替えを検討・実施していく予定。

()ホースの取り替えにあたっては被ばくに十分注意して実施方。

(安定化C安全評価) (書画)2号機の D/W 圧力の推移。CSをインサースしてからは蒸気が発生して少し上昇してその後流量を増やしながら見ていたが、なかなか下がってこない状況であったので、流量を3→4に増やしたところ、D/W 圧力が下がってきた。これにともないRPVの下部の温度が、4にしたあと、今までよりも傾きが出て来た状況。参考に、上部の温度は、スタットボルトの温度も、上蓋フランジの温度も緩やかに下がっている。上蓋フランジは少し下がりすぎかもしれない。傾向監視して評価したい。3号機の温度は、先ほどお話あったように、急に立ち上がっている部分、今日の13時半くらいまで、ベローシールの温度は92℃程度であったが、現在120℃弱と、30℃近く急激に上がっている。その他の点はCSを5m3にしてトータル12m3にした以降は下がってきているが、この点は今日の13:30以降で急激に上がってきている。このベローシールは同じ高さで5点取っているが、5点ともに全く

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

同じタイミングで上がっていること、上がり方はそれぞれあるが、上がり方がきれいな上がり方をしていることから、物理現象に見えるが、実現象なのか今後調査を行っていきたい。

(C所長)引き続き慎重に監視や原因究明を続けたい。

(本店広報)本日のマスコミへの情報提供。11時は短く、注水、原子炉の冷却の状況、明日の道筋の関連。6時以降は供用プールの電源の復旧を説明する予定。また RO の処理施設の漏えいに関して、今分かっている状況をお知らせする予定。本件、非常に早い発話で大変助かった。汚染・被ばく・漏えいはキーワードなので、いち早くお知らせするよう各方面から要請されているので、国にもご心配頂いているが、プレスには頭出しをすぐに行い、詳細は18時以降、として伝えることができた。今後とも、こういった情報はいち早く頂けますと助かりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

() 台風が近づいてきている。非常に早い台風なので、明日もう一度台風が来る前の最後の確認を行おうと考えている。では作業を続ける方々、ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/20(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日現場で作業にあられた方、現場を支えるために各所で業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日は雨であります。アメダスによると朝から49mmの降雨量が観測されています。これに伴いまして、これまでT/Bあるいは集中RWの水位が下がっていましたが、雨の影響で上昇に転じております。まだ少ないけれども10mm程度の上昇が観測されています。なお、現在2uのT/Bの水位が2816、3uが2910ですので溢水の心配はありません。本日の作業ですが、雨の影響で若干中止になった作業がありますが、様々な作業が行われ、概ね順調です。お疲れ様でした。主な作業としては、建屋内の作業ですが、水処理においてはベッセルの交換、共用プールの復旧、T/B 地下開口部の閉塞等であります。タンク設置作業は今日も継続しています。明日も様々な作業が予定されていますが、明日も午後から雨が強くなってくるという天気予報ですので、様子を見て早めに判断してまいります。

(1F 所長) 今日朝から雨でした。現場を見た人間から話があり、建築さんの方でT/Bの上を穴ふさぎをしてもらったのですが、まだ漏れているような音がするというので、明日、雨がまだ続いている中で漏水状態を確認したいと思っています。ちょっと水位が気になる状況です。傷病関係、熱中症等々、それから怪我はありませんでしたが、1件、作業の最中に全面マスクのフィルタがとれるという事象が発生しました。汚染等なかったが、念のためWBCを受けたという事象がありました。これについては、場合によっては外れるということを念頭に置いて作業をするということが必要かと思っています。

(1F発電班) 1uは3.6m³/hで注水を継続しています。RPV 底部ヘッドが82℃、使用済燃料プールが28℃、D/W 圧力が22kPaで安定しています。2uについては、昨日の15時過ぎにCS系からの注水量を1m³/h増加し4.1m³/h、給水系から3.6m³/h、あわせて7.7m³/hで注水を継続しています。RPV 底部ヘッドが111.7℃で緩やかに低下しております。使用済燃料プールは32℃、D/W 圧力は注水量の増加に伴いゆっくり低下していたが、現在12.2kPa gageで安定しています。3uについては、CS系から8.1m³/h、給水系から3.8m³/h、あわせて11.9m³/hで注水しています。RPV 底部ヘッドは87.7℃、これは昨日の夕方時点から約2℃の降下です。RPV 底部ヘッドの上部温度は84.8℃といずれも低下中です。昨日の夕方、上昇が確認されたRPV 上部のベローシール温度ですが、一旦上昇した後、ほぼ一定もしくはゆっくり下がって安定している状態です。使用済燃料プールが30℃、D/W 圧力が0.2kPa gage、4uの使用済燃料プールは37℃、こちらの方が安定しています。3u、4uの使用済燃料プールにつながっているスキマーサージタンクのレベルが雨の影響で上昇しています。現在、5.5mから5.6mのレベルで、水位監視ができる上限が約7mですので、こ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

れに達しないように状況に応じてブローをします。ブローした水は各建屋の RW/B を経由して T/B の滞留水に合流することになるので、滞留水の方もあわせて見ていくことになります。5u、6u については冷温停止中で、外気温・海水の温度の低下に伴い、炉水温度・プール水も若干低下し、27℃以下で安定した状態です。

(1F 復旧班 1~4 号) 水移送ですが、2u、3u ともポンプ 1 台による水移送を継続中です。水処理の方は、キュリオンは本日 H ベッセル 3 塔交換しましたが、流動の変動はごくわずかです。今、AGH ベッセル 2 塔を交換中で、29m³/h の流量が 25m³/h に低減しています。17 時現在で、サリーは 24.5m³/h、キュリオンは 25.5m³/h で流れています。RO の方は、RO2 で処理中です。明日はベッセル交換等はございません。T/B 関係の水位ですが上昇傾向を見せています。2u、3u の T/B の水位は副所長の言った通りですが、1u の R/B の方は今朝に比べて 75mm 上がっておりまして 4654 という状態になっています。プール水のブロー等もありますので、今後、滞留水の水位を注意深く見ていきたいと思えます。受け入れ側のプロセスと HTI については低下傾向が続いており、プロセスが 18mm 下降の 4598、HTI が 37mm 下降の 1898 という状態です。その他の作業ですが、本日、高線量作業が 2 件ありましたが、いずれも問題なく完了しています。一つが 1u の PCV ガス管理システムの配管繋ぎ込み前の水抜きということで、計画 5 ミリに対して最大 2.09 という状態でおさまっています。もう一つが 2u T/B の水中ポンプ設置関連の作業ですが、こちらの方は線量は全く問題ありませんでした。また、4u の所内変圧器 A の移動作業中に玉掛け作業員の全面マスクフィルタの外れが発生しています。こちらについては、情報を他の協力企業さんに周知しまして水平展開を図っていきたくて考えております。

(1F 復旧班 5~6 号) 明日の作業ですが、5・6u の滞留水関係ですけれども、6u T/B から仮設タンクへの移送を実施します。10 時から 16 時です。仮設タンクからメガフロート、6u の HPCS D/G 室トレンチから T/B への移送はありません。

(1F 土木) 本日は降雨と台風に対する警戒ということで、土工事・海工事については工事を見合わせています。明日も台風の対策を実施しています。引き続き台風の対策を実施するとともに、一部工事については天候を見て実施していきたいと考えています。なお、明日以降の波の状況ですが、明日の夜にむけてどんどん波が高くなっていくということで、夜については 6m を超えるような波の可能性が、大しけになる可能性があるというかたちで現場を注視していきたいと思っています。

(1F 建築) 1u R/B カバー工事については、本日、南側の壁パネルを取り付ける予定でしたが、中止しました。また、物揚場においてカバー工事の報告徴収の一環として、幕材の材料確認を保安検査官に実施して頂いております。明日は、台風の状況で明日の朝に最終的に判断しますが、本日できなかった壁パネルの取付を予定しています。3u R/B 上部のガレキ撤去については、本日、南側ヤードのガレキの解体片付け等を実施しています。明日も継続して実施する予定です。4u のガレキ撤去の準備

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

備工事については、本日、回転重機の調整を実施し、明日、オペフロの南側のガレキの撤去を実施する予定です。また、ガレキの収集場については、夜間作業として 3u のガレキの運搬を予定しています。明日も継続して実施する予定です。スラッジ貯蔵施設については、本日、基礎の配筋工事を実施しています。明日も継続して実施する予定ですが、明日の朝の天候に応じて判断したいと思います。

(安定化 C ■■■■■) 台風の影響で強風、降雨が予報されていますが、慎重に作業を進めていきたい。まず、本日、AGH の交換を実施しています。かねてからキュリオン単独で流量を下げて運転し、性能をみているところだが、変化がありましたのでその対応として行っています。この点水処理 PJ より報告します。

(安定化 C 水処理 PJ) 現在、アレバ出口の水質が悪いため、アレバ装置をバイパスしてキュリオン装置を使って滞留水の浄化を行っています。また、サリーを使って平行して HTI 建屋の水を浄化している。先週からサリー単独の運転をしているということで、出口側の水質を毎日サンプリングして調べており、キュリオン出口側のセシウム 137 と 134 あわせた濃度は 300Bq/cc となっており、出口側の水質がだんだん悪くなってきていることが確認された。このため、本日、キュリオンの AGH ベッセル 2 塔を交換しています。出口の水質が悪くなると、淡水化装置 RO 側の負荷が大きくなるため、早めに交換するというので、本日実施しています。キュリオン装置については、入口に SMZ、真ん中に H スキッド、下流側に AGH スキッドがあり、これまでは 2, 3, 4 番目の 3 系列を使った運転を行っており、AGH については合流して 4 塔通水している状態でした。今回出口側でセシウム濃度が上がってきたため、様子を見るために 2 塔を交換して、水質の状況をサンプリングしながら確認していきたいと考える。今現在、ベッセル交換作業中です。

もう一点、サリーは B 系列を使いながら 25t/h で処理を行っている。本日現場を確認したところ、先頭から 2 番目に誤って高性能メディアが入れていることが確認された(1, 2, 3 番目までは通常のメディア、後ろ側は高性能メディアを入れて水処理を行う)。水処理の性能としては問題ないが、ベッセルとしては、前段に 1 段しかない状態で 2 段目に高性能メディアが入ると、高性能メディアでかなりセシウムを除去してしまつて線量が上がってしまうという傾向を示す。このため、一旦サリーを停止して、2 塔目をバイパスするためのバルブ切替操作を今晚行う予定です。

(安定化 C ■■■■■) 炉注水流量の増加にともなう温度の傾向について報告します。

(原子炉安全評価) 2, 3 号機の RPV 廻り温度を説明します。2 号機 D/W 圧力の低下傾向はなまってきており、ほぼ整定している状態です。これを受けて、RPV 底部ヘッド上部、下部ヘッドの温度は同じように下がっており、2°C 程度下がって整定している状態です。参考までに RPV 上部の温度について、残念なことに上蓋フランジの温度は温度計の故障により今後使えなくなった。2 号機の RPV 上部でちゃんと動いている温度計はスタッドボルトのみとなりますが、緩やかに低下傾向を示している。2

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

号機については、底部の温度が下がりづらいことから、FDW 系からの注水量増加を検討しているが、天候の関係もあることから、時期と量について滞留水チームと相談しながら決定していきたいと考える。

3号機については、16日(金)にCS系からの注水量を $3\text{m}^3/\text{h}$ から $8\text{m}^3/\text{h}$ にしてトータル $12\text{m}^3/\text{h}$ としている。RPV下部の温度は順調に下がっている。一方、昨日3時半頃にRPV上部のベローシールの温度が急上昇しましたが、その後、緩やかに低下傾向にあります。それ以外の温度は順調に低下傾向を示しており、ベローシール部の温度上昇は何らかの事実象と推定できるが、温度上昇のタイミング・実際の原因等ははまだ不明なので今後調査を進めていきたい。流量を増やしているのにも関わらず一部温度が急上昇していることから、一時臨界の懸念もありましたが、その他の温度の挙動をみて、臨界の懸念はないと判断しています。

(安定化C █████)引き続き慎重に監視をしていきたいと思えます。もう一点、先日、1号機にて制御棒位置指示系のスイッチの状態により、炉内の損傷状況を推定する作業を行いました。本日は同じ作業を3号機にて実施しましたので報告します。

(安定化C計装設備G)3号機制御棒位置検出器状態確認作業結果について報告します。先週、1号機で実施した作業と同じで、作業期間は9月17~19日の3日間です。制御棒位置検出器は、制御棒と一緒に永久磁石が上下することによって、インジケータチューブ内にあるプローブの接点が動作し、その電気信号により位置を検出するものです。事故当初、原子炉はスクラムしており、全制御棒は全挿入位置であり、その状態であれば、全挿入位置と00pos.の接点が動作をし、それ以外の接点については動作していない状態となっているはずですが、今回は全挿入位置の二つの接点と参照として中間位置、全引き抜き位置の4接点、137本すべての制御棒について接点状況を調査しました。その結果、全挿入かつその他の接点が動作していない状態のものは1本もなかった(1号機では1本存在した)。2番(すべての接点が動作している)状態がバラバラで、3番(正しくない位置で接点している)あるいは4番(一つも接点していない)がばらついている状態です。1号機については、上と下とで分かれている状態(中操側に信号を送るケーブルがPCV貫通口を通るとき象限毎に分かれており、その象限上半分ですべてが導通しており、下半分はほとんど断線しているあるいは一部接点している状態と分かれていたため、ケーブル貫通口あるいはケーブル集合箇所では何かあったかと推測される)でしたが、3号機については、PCV貫通口との関係をもみても因果関係認められない。これらの結果をまとめて考察すると、3号機については正しく全挿入位置に接点している制御棒は一つもなく、検出器・ケーブルがどこかで損傷して短絡あるいは断線を生じている可能性があり、これらの炉心分布との相関関係あるいはPCV貫通口の分けとの関係性を見いだすことができなかつたことから、残念ながら1号機と同様に、RPV下部の状態を推定することは難しいという結果になりました。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C ■■■) 今回も残念な結果でありましたが、引き続き炉底部の状態の推定を続けてまいりたい。

(本店広報班) 本日のプレス対応状況についてご説明致します。午前中 11 時から 11 時半まで、当社単独で行っています。質疑としては、今日、道筋ということもあり、冷温停止、あるいは滞留水の地下水への影響について質問がありました。それから、2 号、3 号の注水量といった質問もありました。マスクフィルタの外れについても説明したので、それに関する質問もいただいています。16 時半から、夕方は統合会見ということで道筋の公表をした。現在も質疑が継続中です。なお、共用プール建屋の結露水と思われる水溜まりがございましたが、これにつきまして、福島事務所の 15 時のレクの時点でその状況を説明するとともに、16 時半の会見の冒頭でサンプリングした結果でセシウム、コバルト、ヨウ素、いずれも 10 のゼロ乗オーダー、I-131 は検出限界以下ということも説明した。

(安定化 C 所長) 福島地域支援室に戻りました。本日の道筋の 9 月時点での進捗に関しての説明は、16 時半から東京都同時に開始しており、30 分ぐらいの説明と、40 分ぐらいですか、1 時間にはいかない程度の質疑で終わっています。質問としては、そんなに沢山はなく、細野大臣の発言がございましたけれども、冷温停止状態について年内に見通しについての話と、ステップ 2 の終了との関係、ほぼ 1 対 1 ですが、細かく言えば各項目についてステップ 2 の目標があるという話を、保安院の渡辺統括の方から説明がありました。それ以外の技術的な話としては、格納容器のガス管理システムの補足説明をお願いされたということがあったが、特段宿題に残るようなものはなく、比較的穏やかに終了したというのが福島県記者クラブでの状況です。

(安定化 C ■■■) 一点補足させていただきます。本日、小山田原子力安全委員が福島第一をご視察されています。対応されました皆様、お疲れ様でした。その他、ないようでしたら、本日の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/21(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)今日は台風15号の影響で、強い雨が降っていたとのことであるが、福島でも朝から雨であった。24時間で100mmの降雨が確認されており、2, 3, 4号機 T/B 水位が20~30mm上昇している。深夜にかけて100mmを超える降雨が予想されている。この雨のなか、吉田所長らが建屋内の雨水流入箇所のパトロールを実施した。その結果、雨水流入を止める作業を今まで実施してきたが、止水が十分でないところがいくつか見つかった。

海作業の多くは中止しているが、ケーブル敷設作業等実施している。

(1F 所長)雨が降っており、気温は低い状況であり、ケガ等はなかった。本日私含め6人で、1~4号機 T/B の中をパトロールしてきた。3号機は穴が開いていた影響で建屋の色々な箇所、屋根が壊れている所から漏れている。また、ルーフトレンから漏れていた。1号機もルーフトレンが損傷しており漏れている。2, 4号機は比較的少なかった。雨がやんだあとに、1, 3号機の止水を考える必要がある。

(1F 発電班) 1u は 3.7m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッドが 78.6℃ で外気温の影響で下がっていると思われる。使用済燃料プールが 27℃、D/W 圧力が 21kPa で安定しています。2u は、CS から 4m³/h、給水系から 4m³/h、あわせて 8m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッドが 119℃ で緩やかに低下しております。使用済燃料プールは 30℃、D/W 圧力は 10.7kPa gage で、RPV の温度と D/W の圧力が雨の影響により低下している。3u については、CS 系から 8.1m³/h、給水系から 3.8m³/h、あわせて 11.9m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドは 84.8℃ で昨日の夕方から約 3℃ 低下している。RPV 底部ヘッドの上部温度は 82℃ といずれも低下中です。使用済燃料プールが 29℃、D/W 圧力が 0.2kPa gage。RPV 下部ヘッドの温度測定点が 3 点あるが、そのうちの 2 点が電気系による変動がみられており継続的にみている。

4u の使用済燃料プールは 35℃、共用プールは 36.3℃ である。

3, 4号機 SFP のスキマーサージの水位が雨による影響により上がっているため、昨夜から連続ブローしている。雨が強くなってきたので流量を増やしてブローする。14 時頃、1, 2号機中操の雨漏れの報告をしているが、17 時のパトロールで更に一カ所雨漏れの箇所を確認した。設備に掛かっているわけではないので、受け皿で対応している。

6号機においては本日、IA・SA コンプレッサー、IA ドライヤーの確認運転をしていざれも問題なかった。6号機について、T/BM/C 室から新たな水の流入を確認している。数カ所にじみリークがあるが、すべて側溝に流している。

(1F 復旧班 1~4 号) 水移送順調に継続しており、水処理についてキュリオン、サリ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

一について順調に運転を実施している。17 時現在で、サリー及びキュリオンの流量は 25m³/h である。

13:34、RO3をカセットNo2を使用して起動しており、現在はRo2, 3の運転となっている。明日はHベッセル3棟の交換を実施する予定。RO3で問題となった、カセットNo1の漏えい箇所の修理を行う予定。水位は上昇しており、T/B1時間1~2mm程度であり、今のところ大きな問題となる可能性は小さいと考えている。

1号機R/Bは200mm今朝から上昇しており、OP5009mmとなっている。プロセス建屋が 12mm 下降の OP4565mm、HTI が 40mm 下降の OP1800mmという状態です。

1号機のIA仮設コンプレッサーの取替は順調に完了した。現在運転中である。

1号機のPCVガス管理システムでCCSラインの水抜きを完了している。

2、3号機のPCVガス管理システムでロボット現場調査について、本日午後モックアップを実施したので明日2号機で調査をする予定である。

電気関係は今15件程の多数の件名があるが、明日もほぼ継続である。

4号機はハウストランスの油抜きを明日実施する。

3号機RPV周りのTEの健全性確認並びに3号機のデジデポに入力点を追加することで、RPVのベローシールの入力点を追加する作業が本日また明日継続となっている。

(1F 復旧班 5~6 号) 6u T/B から仮設タンクへの移送を明日も実施します。10時から16時です。仮設タンクからメガフロート、6uのHPCS D/G室トレンチからT/Bへの移送はありません。

(1F 土木) 本日は台風の影響もあり、タンクの工事をHエリアで機材の積み降ろしを行っているのと、4号機逆洗弁周辺でガラ撤去、インバーターの復旧を実施した。それ以外のほとんどの工事を中止した。明日については、朝現場を確認した上で判断するが、海工事については工事を見合わせている。

(1F 建築) 1u R/Bカバー工事については、本日、強風のためパネル取り付け工事は中止した。台風対策の実施ということで、750tクローラークレーン2台のブームを倒す作業を実施した。明日はブームの起こし作業を行う予定であるが、風の状況を見て実施したいと考えている。3u R/B 上部のガレキ撤去については、こちらも台風対策で600tクローラークレーン2台と200tクローラークレーン1台のブームを倒す作業を実施した。これ以外の作業としては、変圧器周りのがれきの片づけ、ダクト解体ガレキ降ろしを実施している。明日はクローラークレーンのブーム起こしについては、風の状況を見て判断する。4uR/Bのガレキ撤去の準備工事については、オペフロのSFPの南側の空調機の撤去を行った。台風対策として大型の腕の折りたたみを行っている。明日はオペフロの南側ジブクレーンの撤去と変圧器の撤去跡の整備を行う予定である。スラッジ貯蔵設備については基礎配筋を実施し、明日も継続して

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

実施する予定。1～4号機T/B漏水状況調査を行った。1号機T/Bでは5カ所漏水が認められた。2カ所は雨水配管の接続の外れであり、3カ所は天井躯体の亀裂からである。2号機T/Bでは1カ所、ブローアウト解放部から漏れが確認された。3号機は1カ所であり天井の亀裂となっている。4号機も1カ所で3～4号機間の雨水配管の接続の外れとなっている。止水方法を検討し優先順位をつけて対応する。

(本店■■■■)(書画で説明)2号機D/W圧力のトレンドグラフである。本日、11時頃から下がってきている。現在 112KPa 程度まで下がってきている状況である。これを受けて、RPV下部温度について圧力の低下に伴い温度が下がってきている。上部の温度は、上部フランジの温度は昨日だめになったということで、スタッドボルトの温度で監視しているが、こちらはいずれも温度の絶対値の差はあるが順調に低下してきている。

3号機は上部の温度は、16日にCSからの注水流量を $3\text{m}^3/\text{h}$ から $8\text{m}^3/\text{h}$ に増やしたところ下がってきている。ベローシールだが、一昨日下がってきたが、本日上がった。何かしらの事象が起きているものと思われる。下部の温度については、順調に下がってきている。

2号機については、CSからの追加の注水により冷却効果が確認されたが、RPV全体が高温度にあることから思ったほど温度の低減効果は大きくない。本日、圧力が下がったこともあり、外気温の低下もあるだろうが、D/W圧力の低下にCSの注水効果は一定の寄与はあるだろうということから、CSを $1\text{m}^3/\text{h}$ 増やすことを考えている。

3号機は、概ねRPV下部温度は目標としていた 90°C を下回ってきたことから、早めに静定させたいことからFDWの流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 下げること考えている。

なお絞る操作は、明日早々にやりたいが、2号機は今後の滞留水の状況を見ながら判断したい。

(安定化C水処理プロジェクト)(書画で説明)毎週、高レベル滞留水の貯蔵及び処理の状況について水曜日に報告している。今回は第13報となる。

1～4号機の各建屋の貯蔵量を示しているが、合計で 78710m^3 となる。前回報告したものと比べマイナスである。

移送先になるプロセス建屋とHTI建屋であるが、合計で 19280m^3 となっている。

水処理装置の性能であるが、ヨウ素及びセシウムに対する除染性能になるが、DFについてはキュリオンでの性能になるが、 2.7×10^4 、セシウム 137も同様で 2.9×10^4 となっている。アレバ装置の不具合でキュリオン単体での運転となっている。

サリーのDF(除染性能)については、 10^5 となっており所定の性能を出していると考えている。

淡水化装置については、入口側は 5200ppm の塩素濃度があるが、出口で 20ppm であり所定の性能を出していると考えている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

処理した水は、3242m³であり累積で30126m³である。

(安定化C冷却プロジェクト)4号機のSFPの循環冷却のパトロールを実施したところステンレス製のフレキシブルホースから微少な漏えいがみつかった。10分1滴程度なので、今受け皿をおいて継続監視としている。

(本店広報班)今日午前中のレクは、免震重要棟の水処理監視システムについて説明をした。3号機制御棒の検出器の状態確認結果を説明した。台風対策等について質問を受けた。午後は環境モニタリングの他、溜まり水の週報、建屋の流入を説明している。また、15時から本賠償の取り組み会見を行った。

(官庁連絡班)17:25から保安院より台風の徹底指導を受けている。

(安定化C)保安院からの指導は承っている。

(福島地域支援室)明日、1Fへ福島県と大熊町、双葉町、楢葉町、富岡町の県及び役場の方が状況確認でお世話になる。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/22(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C) 昨夜台風15号が到達し、昨日午後から夜半にかけて、この地域では200mmの降水量があった。そのために、建屋の中に雨水が流入し、T/B 水位が約100mm上昇した。現在、2号機は OP2900mm台、3号機は OP3000mm台である。水位があまり上昇しないように、2号機から集中 R/W への移送量を増やしている。また、台風の影響により、現場ではトラブルが発生している。一つは遠隔監視カメラが何台か停止したことである。また、水処理関係の淡水化装置の中に水が進入したりした。ただ、全体としてはプラントが大過なく冷却できている。

(1F 所長) 本日は、曇りのち一時雨であった。気温は低い状態であって熱中症や人身事故はなかった。昨日の台風で、いくつか不具合があったが、次のことを考えて早急に対策を取る必要がある。水漏れ、遠隔装置は水に弱いのでどうやってプロテクトするかということと、水処理設備そのものが蛇腹ハウスを使っているため、強風の時にどうするのか考える必要がある。

(1F 発電班) 1u は 3.8m³/h で注水を継続しています。RPV 底部ヘッドが 78.4℃。使用済燃料プールが 27℃、D/W 圧力が 21kPa で安定しています。2u は、CS から 5m³/h、給水系から 4m³/h、あわせて 9m³/h で注水を継続しています。本日 15:36 に CS からの流量を 4m³/h から 5m³/h に変更した。RPV 底部ヘッドが 119.2℃で、使用済燃料プールは 30℃、D/W 圧力は 8.2kPa gage、CS の流量を 1m³/h 大きくしたことにより、D/W 圧力が低下しており、今後静定具合を見ていく予定。3u については、CS 系から 8m³/h、給水系から 3m³/h、あわせて 11m³/h で注水しています。15:17、給水系からの流量を 3.8m³/h から 3m³/h に絞った。RPV 底部ヘッドは 81.8℃で昨日の夕方から約 3℃低下している。RPV 底部ヘッドの上部温度は 78.2℃、使用済燃料プールが 29℃、D/W 圧力が 0.2kPa gage。

4u の使用済燃料プールは 34℃、共用プールは 34.4℃である。

昨日台風の影響で、3、4号機の SFP のスキマーサージの水位が上昇した。そのため、ブローを実施したいが、現在停止していて水位安定している。

5、6号機は特にトピックスはない。

(1F 復旧班 1～4号) 水移送順調に継続している。17:12、2号機から HTI 建屋への移送を 1台から 2台に増やした。水処理についてキュリオン、サリーについて順調に運転を実施している。17時現在、サリー及びキュリオンの流量は 24.5m³/h である。本日は H ベッセル 3 棟交換した。明日も H ベッセル 3 棟交換及びサリーベッセル 1 棟交換を予定している。サリーを 2系列化して、キュリオンの流量を絞ることを予定している。それにより、サリー 40m³/h、キュリオン 20 m³/h で運転する予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

1号機の PCV ガス管理システムで CCS 配管の切断を予定していたが、配管内に水素ガスが1%強あったので中止した。2号機の PCV ガス管理システムについてはロボットを入れて調査した、明日もカメラをつけて調査をする予定。3号機の PCV ガス管理システムは人によるカメラの調査を行う。

電源関係は、予備品倉庫の M/C 設置について本日消防の立入があった。明日は共用プールの仮設 MCC の3A、3B の受電が予定されている。

計装関係は、3号機デジデポのRPVのベローシールの入力点追加を完了している。明日は1号機 D/W の機器ドレンの TE の指示確認が予定されている。

台風関係は、構内配電線の2号に木が倒れており、現在作業を行っている。

伝送系の異常で WEB カメラの異常が発生したが、ハブやコネクタの取替えをしてきて大分復旧してきている。4号機の水位監視計について対応中である。

(1F 復旧班 5~6 号)6u T/B から仮設タンクへの移送、仮設タンクからメガフロート、6u の HPCS D/G 室トレンチから T/B への移送はありません。

(1F 土木)タンク関係の工事で本日は〇〇を実施したが、明日からタンクの〇〇を再開する。4号機逆洗弁周辺でガラ撤去を実施し、コンテナ2個分回収した。明日も同じ場所で作業をする予定。海工事については工事を見合わせている。明日以降5、6号機でブロック積みを再開する。

(1F 建築)1u R/B カバー工事については、本日750tクローラークレーンのブーム起こし作業を実施した。3u R/B 上部のガレキ撤去についても600tクローラークレーンのブーム起こし作業を実施した。南側ヤードでは変圧器周りの解体片付け、北側ではダクト解体作業を実施した。明日も継続で実施する。4uR/B カバー工事については〇〇を実施した。明日は人が上るための〇〇を実施する。スラッジ貯蔵設備については基礎配筋を実施し、明日も継続して実施する予定。

(1F 所長)県町の立入があった。午後現場と質疑応答の対応している。水処理装置側の確認、ガレキ等の設置状況を重点的に確認された。

(安定化 C) (書画で説明)台風に伴い地下水が流入している。前回も同じだが、一週間程度で通常になると思われる。T/B の水位は大幅な変動はなく、OP3000 前後で推移しているが、T/B の水位変動を監視しながら移送ポンプを2台運転するなどして対応をしたいと考えている。本日は、2号機からの移送台数を1台から2台に増強した。明日は水処理装置のサリーを主体的に運転するため2系列化する。B 系しか使っていないが、A 系、B 系とし40tとし、キュリオンについては20tの運転とする。台風前は炉注流量は24t/h 程度であったが、地下水流入量は15t/h 位であるため合計39t/hと考えている。T/B から集中 R/W へ移送している量は43t/h 位であり、水処理としてはキュリオンとサリーで50t/h 位であった。台風後は、炉注流量は24t/h でいったとして、地下水流入量は計算すると35t/h 位であるため、合計59t/hと考えている。今日移送ポンプを増強し70t/h となっている。水処理装置は明日60t

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

に調整するが、全体バランスを考えながら計画したいと考えている。

(安定化 C) (書画で説明) 本日、1号機ガス管理システム設置のため配管を切断する予定であったが、水素測定器の測定結果が 10000ppm 以上(10000ppm しか計れない計器でオーバースケールした)であった。処置としては、水素が検出されたので中断した。ベントラインとサンプリングラインで水素測定をしたところ2カ所とも検知された。念のため、他の雰囲気の水素測定したが、検知されなかった。明日、4%まで計れる検出器で測定したい。その後、水素のページ計画手順を建てた上で実施したい。

(1F 吉田) 水素について、PCV のゲート弁だと効かない。そのため、2、3号機配管への回り込みが要注意。切断作業はできないが、どういうページをしていくのか手順を考えないといけない。

1号機にカバーを取り付けたがどう影響するのか、水素抜きを検討していく必要がある。

(本店広報) 本日は11時から単体会見、16:30から合同会見を実施している。午前中は台風の影響、監視カメラ、ライブカメラの停止の原因について聞かれている。午後の会見では、原子力安全委員会の委員の発言を受けて質問を受けている。原子力安全委員会の先生は2点発言をしており、1点は5～6号機建屋の滞留水の算出についてである。2点目は、〇〇である。

(本店官庁連絡班) 使用済の人工衛星が落下することより、保安院から被災状況の有無の確認を指示されている。落下する数時間前に落下場所等の情報を頂くのでお伝えする。別途パトロールは不要とのことであるが、その時点の状況を TV 会議で教えてほしい。

(福島地域支援室) 県町の状況確認を行った。ご協力ありがとうございました。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/23(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日は、天候的には恵まれた天候で、台風の後の爽やかな感じのような状況でしたが、作業そのものは継続して行われています。後ほど、トピックス的には、1号機の PCV のガス管理システムの現場調査、γカメラをおこなったりしていますが、水素濃度が高いという話がありまして、本日もその後の計測をしています。慎重に工事を進めていかなければならないという状況です。台風の余波で通信系、電送系がやられまして復帰していますが、引き続き、監視カメラ等の障害の対応を実施している状況です。

(1F ユニット所長) 今日、3連休の初日ということで、APD の貸し出しの数を見ますと、通常の週末の土曜日と同程度ということで、2500 人弱の作業員の方が入っていたのではないかと思います。天候は最高気温が 25℃を下回るような環境で、今日もケガ人の発生、熱中症の発生はありませんでした。昨日、炉注の流量を調整しました2号と3号について、CS からの炉注流量を 1m³/h 増やした2号機ですが、RPV の底部温度等、低下傾向が継続しています。給水系からの流量を 1m³/h 減らした3号機ですが、温度の低下傾向がおさまってきたという状況です。水処理の関係ですが、昨日お話ししたように、SARRY の2系列化の作業が17時頃完了しています。今、KURION、SARRY とともに安定流量で運転中です。滞留水の関係は2号から HTI 建屋、3号からプロセス建屋移送を継続しています。

(1F 発電班) 1号機は、安定しています。原子炉注入は 4.0m³/h、RPV 底部ヘッドが 78.4℃、使用済燃料プール水が 26℃、D/W 圧力が 21kPagage です。2号機は、昨日、CS を 1m³/h 増やしまして、現在 CS 系から 5.1m³/h、給水系から 4.0m³/h、合わせて 9.1m³/h です。RPV 底部ヘッド上部で 106.3℃で、昨日の夕方と比べて約 3℃低下しています。なお、この測定点ですが、やや乱点気味ですが、他のパラメータ、底部ヘッド上部の2点、下部ヘッド上部の2点、いずれも低下傾向で、これら4点は 100℃を切っている状態です。また、その他のパラメータですが、使用済燃料プールは 30℃、D/W 圧力は 5.7kPagage、D/W 圧力もかなり低下しています。3号機は、昨日、給水系の流量を約 1m³/h 絞りました。現在、CS 系から 7.9m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて約 11m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドは 82℃、RPV 底部ヘッド上部温度は 78℃となっています。これは、本日の朝から見ているとほとんど下がっていない状況です。他のパラメータ、使用済燃料プールが 28℃、D/W 圧力が 0.2kPagage で変化ありません。4号機の使用済燃料プールは 36℃、共用プールのプール水温度は 32.5℃で、こちらは順調に運転しています。5、6号機は特にトピックスはありません。

(1F1～4 号復旧班) 原子炉注水関係は、引き続き注視していきます。SFP 注水は、実績はありません。T/B 水移送関係ですが、2号機から HTI については、2台運転

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

継続です。明日、1台にする予定です。3号機は、プロセス建屋に1台で運転です。水位関係ですが、1号機は、T/B で 2mm 上昇して OP5120 です。なお、1号機の T/B の水位につきましては、昨日から抜管エリアの精度の高い水位計を使用して監視することになります。若干水位が上がったことに伴いまして、変更するものです。精度の良いもので監視します。2号機は、T/B、トレンチでそれぞれ 17mm、18mm の下降です。3号機は、3mm と 2mm の上昇です。4号機は 10mm の上昇です。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス建屋は変化ありません。OP4523 です。HTI 建屋は2台運転していることから、304mm 上昇して OP2195 です。

水処理装置関係ですが、KURION、ベッセル3塔交換しまして、4系列あるところ2系列にしまして、20t/h で安定流量で運転しています。SARRY については、ベッセル1塔交換しています。今日から2系列運転してまして、40t/h で運転していて、合計 60t/h、KURION と合わせて 60t/h で運転しています。作業実績関係、トピックスとしまして、1号機のガス管理システム関係で、CCS 配管の切断に伴いまして、水素濃度の測定をしています。

(1F5~6 号復旧班)メガフロートへの移送、本日はありませんでした。仮設タンクへの移送も本日はありません。各建屋の台風 10 号の影響で浸水がかなり確認されています。その関係で、明日、仮設タンクへの移送ですが、10時~16時に移送する予定です。メガフロートへの移送はありません。

(1F 土木班)汚染水処理のタンクの設置ですが、G,H エリア継続実施中です。明日も継続実施予定です。無人化施工によるガラ撤去ですが、本日、4号機の逆洗弁ピット周辺を実施したということで、コンテナ3個分のガラを撤去しています。明日も4号機の逆洗弁ピット付近を実施する予定です。海関係ですが、北防波堤の復旧ということで、テトラポットの据付けを実施しました。明日も継続実施です。1~4号透過防止工の設置工事ですが、本日、小名浜港で袋詰め採石を船に積み込んでいます。明日、小名浜港から1Fへ船を回航することを予定してまして、その関係上、シルトフェンスの開閉を1回実施する予定です。

(1F 建築班)カバーリング関係ですが、1号機、本日、壁パネルの取付を予定していますが、作業前に加重表示計の不具合が確認されたところ、現在、そちらの整備を行っています。本日中に取替部品の交換を終わらして、試運転までやる予定です。明日は作業の再開を考えています。3号機ガレキ撤去関係ですが、本日、南側ヤードにおいて変圧器廻りの解体、瓦礫の片づけ、北側ヤードにおいて、ダクトの解体、ガラを(聞き取れず)路盤整備を実施しています。明日も継続で行います。4号機瓦礫撤去関係は、本日、機械式のステージの組み立てを行いました。スラッジ貯蔵設置工事関係は、スラッジ塔、設備塔ともに、基礎配筋を継続しています。明日も継続の予定です。瓦礫収集運搬については、本日も夜間作業で、3号機廻りのガラの積み込みを実施します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 保安班) (書画で説明) ラド施設周辺の複数のサブドレンから水をサンプリングして放射能濃度を毎日測定していますが、昨日、本日のサンプリング結果で、4号機の HTI 建屋の北側のサブドレンの放射能濃度が高めに推移しているという状況です。こちらはトレンドですが、昨日、今日は、サブドレンの放射能濃度が1ケタ程度高めに推移しているという状況です。このため、本日、安定化 C にてサブドレン周辺の現場確認をしていただきましたが、異常はなかったという確認をしています。現在のところ原因は不明ですが、今後も監視を継続しまして、様子を見ていきたいと思えます。(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明) 今日は下側のサンプリングラインから水素の濃度を測定しています。使用した装置が、昨日は水素濃度スイッチでしたが、今日は、緊急で手配した手前でしたので、水素濃度というよりは可燃性ガスの濃度の測定器で検出しています。結果からいいますと、最初開けたとき、測定器は 0% から 100% で出ますが、オーバーレンジが出て、要は、100% の可燃性ガスを検知した形となって、中から出てくるガスが拡散して数字が 90%、80% となって最後は 0% になるといった状態がありました。その作業を 2、3 回やったのですが、同じようにバルブを開けると、まず 1 回オーバーレンジになって、数字がでて、最後に 0% になると。昨日用意した測定器は、吸引式のもので、常に中からガスを引っ張って濃度を測定できていたものですが、今日のは、吸引が無くて、単にバルブからでてくるガスが拡散していく状況を測定するというので、最終的に中からものが出てなくなっているのだと思えますが、周辺と同じような値となると濃度としては 0% になるといったことになっています。濃度のデジタル値ということ言えば、今日はいまよく把握はできていないですが、相当濃度の水素が中に溜っているものと認識しています。そういう状況を踏まえまして、仮に中のガスを抜くにしても慎重に手順等を考えて対応を進めていきたいと考えています。

(本店広報班) 本日の中央マスコミへの説明状況です。今日は 11 時と 6 時、当社単独の会見となっています。11 時の会見は、1 号機の格納容器スプレイ系配管からの水素検出ということで、先程の図を説明しました。やりとりとしましては、1 時間程度、全て水素の件についての質問が寄せられたという状況です。6 時からの会見は、今現在会見中です。

(安定化 C 所長) 台風の後、後処理的なこととか、少し今後の台風を考えなければならぬことは継続して報告していきたいと思えます。また、水処理関係については、60m³/h くらいで処理をしていますので、水位の上昇はある程度のところでおさまっていくだろうと思えますが、地下水位の関係も含めまして、まだ、よく見ていきたいと思えます。3 連休というか休みの日ではありますが、明日、明後日共にクリティカルな作業については継続してまいります。全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/24(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 本日は、あまり特記するようなことはありませんが、天候的には安定した天候で、作業が進んでいる状況です。比較的休みの間でもあり、作業者は少ないという状況ですが、全体については、特段、大きな問題なく進行しています。

(1F 所長) 天候は秋晴れでして、気温も低くて過ごしやすく、ケガ人等もありませんでした。

(1F 発電班) 1号機は、現在 3.6m³/h で給水系から注水を行っています。RPV 底部ヘッドで 77℃、使用済燃料プールが 26℃、D/W 圧力が 20kPagage で安定しています。2号機は、CS 系から 5.1m³/h、給水系から 3.9m³/h、合わせて 9.0m³/h で注水を行っています。22日に変更してから炉心スプレイ 1m³/h 絞りましたが、まだ温度の低下傾向が継続しています。RPV 底部ヘッド上部で 105.7℃、使用済燃料プールは 29℃、D/W 圧力は 6.1kPagage です。3号機は、CS 系から 7.9m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて 10.7m³/h で注水しています。22日に給水系を 1m³/h 減らしてから RPV 上部の方は低下傾向が続いていますが、RPV 下部の温度は低下傾向が止まって、温度的には安定している状態です。RPV 底部ヘッドで 82.2℃、RPV 底部ヘッド上部温度は 77.6℃です。使用済燃料プールが 27℃、D/W 圧力が 0.2kPagage です。4号機の使用済燃料プールは現在 35℃で安定です。共用プールは 31.1℃で、まだ若干低下傾向が確認されています。5、6号機は順調に原子炉と使用済み燃料プールの冷却を継続しています。

(1F1～4 号復旧班) 原子炉注水関係は、引き続き注視していきます。SFP 注水は、実績はありません。T/B 水移送関係ですが、2号機で立坑から HTI 建屋に、現在2台で運転を継続しています。本日、1台にする予定でしたが、若干流量が想定より小さかったことから明日に延期しています。3号機は、T/B からプロセス建屋に1台で運転中です。水位関係ですが、1号機は、抜管エリアで 5mm の下降です。2号機は、T/B とトレンチで 17mm と 19mm の下降です。3号機は、T/B で 1mm の上昇、トレンチは水位変化はありません。4号機は T/B で 1mm の上昇です。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス建屋で 5mm の上昇で、OP4535 です。HTI 建屋は 8mm の下降で OP2184 で、特に問題ははありません。滞留水処理装置ですが、SARRY、KURION は安定的に運転中です。AREVA は現在、休止中です。明日、KURION の H ベッセル2塔交換する予定です。本日、淡水化装置の RO3を午前中起動しています。特に問題ははありません。

(1F5～6 号復旧班) メガフロートへの移送は、本日ありませんでした。仮設タンクへの移送は、本日は 10 時～16 時、移送を行いました。明日はメガフロートへの移送は今、計画していません。仮設タンクへの移送も計画はしていません。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 土木班)汚染水処理のタンクの設置ですが、G,H エリア継続実施中です。本日予定されていた作業は全て終了しています。明日は日曜日ですので休工にしています。無人化施工によるガラ撤去ですが、本日、4号機の逆洗弁ピット周辺を実施したということで、コンテナ10個分のガラを撤去しています。明日は休工です。海工事関係ですが、北防波堤の復旧ということで、テトラポットの据付けを継続実施ということで、明日も実施予定です。1~4号透過防止工の設置工事ですが、本日、袋詰め採石を小名浜港から運搬、搬入したということで、港湾内に入荷しました。そういうことで、シルトフェンスの開閉作業を1回実施しています。明日は袋詰め採石を設置する予定です。

(1F 建築班)1号カバー工事につきましては、750ton クレーンの修理作業を実施中です。明日の午前中までかかる見込みで、修理ができ次第、壁パネルの取付を行います。明日は水切りもあります。3号 R/B 上部のガレキ撤去ですが、3号 R/B 周辺ヤードで瓦礫の片づけ、路盤整備、主排気ダクトの解体を行っていき、明日も継続です。4号 R/B のガレキ撤去ですが、M ステージの(聞き取れず)を本日行っていき、明日は休工です。瓦礫の運搬については、照明の給油のみ行っていき、本日夜のガレキの運搬、および明日は休工となっています。スラッジ貯蔵施設については、基礎配筋を継続で行っており、明日も継続です。

(安定化 C 所長)原子炉建屋の上部についてダストのサンプリングをしていますが、そのときに撮影した動画等についてサマライズしたものを紹介したいということで、本店からよろしくお願いします。

(安定化 C 環境影響評価 G) (書画、ビデオで説明)2号機と3号機の状況を紹介しますが、まず、2号機につきましては、9/17 にブローアウトパネルの前からダストを採取しましたが、そのときに同じ方向からビデオ撮影をしていました。これが静止面ですが、内部の状況を捉えております。カメラの位置はほぼ点線の方です。原子炉の上部の様子を捉えた動画をこの後紹介します。一部、少し蒸気と思われる白いモヤモヤしたものが写っていますのでご確認下さい。続いて3号機の状況について紹介します。3号機については 8/24 に撮影したのですが、上部からクレーンでダスト採取した際に下向きにビデオ撮影したものです。撮影場所は4箇所採ったうちのこの部分についての状況です。後ほどご覧いただきますが、こちらでも少し蒸気と思われる白くモヤモヤしたものが写っていますので、ご確認下さい。2号機ですが、カメラが風で揺れていますが、ブローアウトパネルの左の方を写していますが、少し進めて後半の方に蒸気が写っていますので進めさせていただきます。ほぼ正面を撮っている場面ですが、もう少し経つと右下、今、少し白いものが下の方に見えているかと思いますが、もう少しカメラが下を向きますので。こちらに今、白いものが見えていると思います。下の少しピンクに見えますのが、原子炉の上を柵にかかっているシートと思われるのですが、今、白いものが確認できるかと思いますが、正面が原子炉の上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

による防潮堤を今後設置しますが、震災直後に引いた電源ケーブルが干渉したということで、その位置を 26 日にずらす予定にしています。これに先だって、この電源ケーブルを使っている B 系を止めて A 系に切り替えるという作業になります。明日の 10時から11時の間に切替を行います。実際に停止時間は10分から20分程度の停止になる予定です。なお、温度上昇については、3℃/h と評価しています。

(1F 所長) スペインの皇太子が福島の復旧の人に賞を送るというのは、どうなっているのでしょうか。

(本店情報班) 詳細は確認しますが、国際部が外務省と調整しているという話を聞いていますので、情報について確認したいと思います。外務省ではなくて、スペインの大使館と聞いています。

(安定化 C 所長) お休みの中でお仕事ご苦労様ですが、引き続き一歩ずつ前進ということで安全確保を踏まえて努力して参りたいと思います。全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/25(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 天候的には比較的安定した状態が続き、作業もクリティカル的なものを継続しておりますが、何点か不具合等がありまして対応しております。1つは昨日の夜から停止しておりました SARRY の水処理の停止ということで、結果的にはコンプレッサーが不調でその制御系のバルブが閉まるということで A 系 B 系も動かないという状況が続いてしまったということです。設備点検も含めて少し考えなければいけない教訓があったと思っております。後ほど、補足させていただきます。

それ以外には、今、1号機のカバーリングクレーンの修理を続けておりますが、荷重計のところの計器関係の修理に手間取っているという実態で、なかなか台風以降クレーンの復旧ができきていない状況で、そちらに専念しているという仕事が発生しています。

他に補足としては、1, 2, 3号機の温度の状況と炉注の今週当面どうするか、という話については、後ほど補足させていただきたいと思えます。

それでは、プラントの状況の前に本店に一度マイクをお返ししたいと思います。保安院さんのほうからお話があるということでよろしくお願ひいたします。

(保安院) 原子力安全・保安院でございます。会議に参加させていただきまして一言、1号機 CCS 系配管からの水素検出について、土曜日にも一言お話をさせていただきましたが、今後の作業に際して、改めてということで、4点口頭指示をさせていただきます。一つめは CCS 系については水素濃度を測定し、水素の排出・置換等適切な措置を取った後作業を進めること。二点目、他の配管についても、水素が滞留している可能性を否定できないことから作業前には水素濃度の測定等慎重に行うこと。三点目、格納容器内の水素濃度の測定に努めること。四点目、2号機、3号機についても同様の措置を取ること。以上4点よろしくお願ひしたいと思います。

(安定化 C 所長) 今のお話の方向で、当然現場の方でも考えておりますけども、今他の配管にも共通性がないかということも机上で確認も含めて実施しておりますし、作業前の基本動作として実施して参る所存ですが、今のお話の点は、もう一度発電所、安定化 C とも共有しまして、対応して参りたいと思えます。どのように計画をまとめるかについては若干お時間をいただきたいと思えます。

(1F 所長) 本日もさわやかな秋晴れの日でした。人身安全の観点でも事故がなく一日に終わっております。あと先ほどありましたとおり、SARRY のコンプレッサーの件ですが、いろいろありましたが、予備機を用意して何とかして動かしたということで、予備機等々、プラントの運転に支障が出るものについてはもう一度事前に検討しておく必要があるかなと考えております。それでは各グループからプラント状況について簡潔に願ひします。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F 発電班) 1号機については安定しております。現在 3.9m³/h で給水系から注水を行っています。RPV 底部ヘッドで 78℃、使用済燃料プールが 26℃、D/W 圧力が 21kPagage で安定しています。2号機は、CS 系から 5.0m³/h、給水系から 3.9m³/h、合わせて 8.9m³/h で注水を行っています。22日に炉心スプレイ系の流量を 1m³/h 増やしてから部材の温度の低下傾向が継続しています。RPV 底部ヘッド上部で 104.8℃で昨日の夕方よりも 1.5℃低下しました。使用済燃料プールは 29℃、D/W 圧力は 5.7kPagage で推移しています。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.8m³/h、合わせて 10.8m³/h で注水しています。22日に給水系を 1m³/h 減らしてから温度低下傾向は止まって安定状態です。RPV 下部ヘッドが 82℃、RPV 底部ヘッド上部温度は 77.7℃です。使用済燃料プールが 28℃、D/W 圧力が 0.2kPagage で安定しています。4号機の使用済燃料プールは現在 35℃、共用プールは 31.1℃で、こちらも順調に低下しています。5、6号機は特にトピックスはありません。プラント状況は以上です。

(1F1~4 号復旧班) 原子炉注水関係は、引き続き注視していきます。SFP 注水は、実績はありません。T/B 水移送関係ですが、2号機で立坑から HTI 建屋につきましては本日午前中までは2台運転でしたが1台運転に切り替えております。3号機は、T/B からプロセス建屋に1台運転で継続です。水位関係ですが、1号機について 10mm の下降です。2号機は、T/B で 1mm 下降、トレンチについては変化がありません。3号機は、T/B で 1mm の下降、トレンチは水位変化はありません。4号機は T/B で 3mm の下降です。受け入れ側の集中ラドですが、プロセス建屋で 7mm の上昇で、OP4551 です。HTI 建屋は 287mm の上昇しております。本日 9:46 にポンプ 1 台運転にしておりますが、もう少し時間がたてば効果がみられるかと思えます。明日再度確認したいと思えます。OP2710 で、レベル的に問題はありません。滞留水処理装置ですが、先ほどお話がありましたとおり、SARRY が昨日の 20:30 頃停止していましたが本日コンプレッサーの交換を実施しまして、17:05 に安定流量 40m³/h を確認しました。KURION については H. ベッセル 2 塔交換を実施しており、10:16 に安定流量を確認しております。作業全般につきましては本日あまり作業はありませんでしたが、明日から通常の平日並みの作業が始まりますので、安全作業に気をつけて実施してゆきたいと思えます。

(1F5~6 号復旧班) メガフロートへの移送は、本日ありませんでした。仮設タンクへの移送もありませんでした。明日はメガフロートへの移送はありません。仮設タンクへの移送は 10:00 から 16:00 にかけて移送を行います。それと明日ですが 5 号機の RHRSP ポンプですが出口弁の修理のために一旦本設から仮設の RHRSP ポンプに切り替えて修理を行います。予定ですと明日本設から仮設に切り替えまして 9 月 30 日にまた仮設から本設に切り替える予定です。

(1F 土木班) 本日日曜日ということで作業量はだいぶ減りまして、海関係の工事を主

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

に実施しております。具体的には北防波堤付近のテトラポットの据え付けを継続実施しております。また1～4号機の透過防止工の設置工事ということでシルトフェンスの設置をしております。明日から通常業務に戻るということで、汚染水処理のタンクの設置、無人化施工によるガラ撤去等々継続工事を実施してまいりたいと思っております。

(1F 建築班)1号カバー工事につきましては、本日、壁パネルの水切りを終了しております。またクレーンの修理・調整を実施しておりまして、明日も作業としましてクレーンの修理・調整を実施したいと思います。原子炉建屋上部のガレキ撤去ですが、3号については南側ヤードで変圧器廻りの解体、瓦礫の片づけ、北側ヤードでダクトの解体、瓦礫の荷下ろし等を実施します。明日も継続して実施します。4号機につきましては本日休工しております。明日は再開しまして、瓦礫の搬出等を行います。瓦礫の運搬・収集作業につきましては、本日休工しております。明日からまた再開し、夜間作業として瓦礫の運搬等を実施します。スラッジ貯蔵施設については、基礎配筋を実施しておりまして、明日も継続して実施する予定です。

(1F所長)1Fは以上です。

(安定化C水処理)(書画カメラ使用)SARRY. でございますが、現在、A系、B系2系列を使って運転しておりますが、昨晚自動停止したわけですが、こちらのB系のポンプを使いましてそれぞれA系B系に水を流すという形で運転をしております。ポンプの入口とA系B系入口にAO弁がございまして、AO弁に対しましては、こちらにあります空気圧縮機で空気を送ってあげて、強制的に開けて運転をしている状況です。昨晚19:59頃に空気圧縮機の温度高の警報が出て、こちらの空気圧縮機がトリップしましてエアーが供給されなくなってこちらのバルブが順次圧力がなくなり、バルブが閉まってしまった、ということ20:26にこちらのバルブが閉まってしまった。それから、20:28には入口側のバルブが閉まったということで、こちらのバルブが閉まって閉まったということでその信号を拾ってポンプが停止しまして、結果として SARRY 全体が止まるというような事象が発生しました。こちらの推定原因ですが、今申しました、警報の発生状況、それから現場を確認した結果、空気圧縮機に何らかの異常が発生して、空気圧縮機の温度が上昇して自動停止した、というふうに推定しております。現場で確認しました床面に油が飛散した部分があるということとオイルゲージのレベルが見えない状況で、油が抜けてしまった可能性がございます。そうした関係で空気圧縮機が動けなくなり、エアーがなくなって、バルブが閉まってしまったのではないかと、結果として SARRY が止まってしまったのではないかと推定しております。応急対策としまして、こちらの空気圧縮機の代替品をタンクの方につなげまして、エアーを供給するというので立ち上げを実施しております。今後ですが、当該の空気圧縮機を交換しまして、自動停止した原因につきまして調べてゆきたいと考えております。また、この空気圧縮機は1台しかないというところもありまして設計的な問

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

題点も含めまして、少し改善を加えてゆきたいと考えております。

(安定化 C 所長) 設計的な共通の駆動源があるようなところのチェックは、まず SARRY についてもみてもらいたいと思いますし、その他の水処理系についても少しそのような観点から、予備品の確保以外の設計的に強化することは必要なところ、ちょっと洗い出す必要があるかなと思いますので、順番でまずは SARRY をやってもらいたいと思いますが、その他のシステムについても同じような観点からチェックをしてゆきたいと思います。よろしくお願いします。

それでは本店にいる■■■■GMから今の原子炉の温度状況と当面の注水量について説明をお願いします。

(安定化C安全) (書画カメラ使用) それでは当面の注水の方針について説明させていただきます。現在お示しておりますのが、先週の木曜日にお示しました資料ですが、冷温停止としてはRPVの底部が概ね100℃以下というのが温度の定義となっております。ですので現在、RPV全体を100℃以下にするようにいろんな調整をしておりますし、特にRPV底部の温度については、100℃に対しては少し余裕が持てるように90℃以下にするよう目標を設定して注水流量を調整しております。こちらが1号機の温度ですがここで85℃、この辺ですと80℃を切って70℃の後半というのが今の1号機のだいたいの温度になります。こちらが2号機でございまして、青いものこの辺がRPVの上部の温度でこの辺の赤色オレンジ色がRPV底部の温度ということになりますが、このラインが100℃のラインになります。まだ、RPVの上部も底部も100℃を超えているものがあると状態です。こちらが3号になります。100℃のラインはここで、いずれの温度も現在80℃台、一部70℃台のところもあるという状態で、今安定して推移している状態と認識しております。以上のようなことから各号機の今後の当面の方針ですが、1号機につきましては下部温度がすでに80℃を下回っておりますし、他の部分も高いところでも85℃程度ということで90℃未満ですので、当面注水量については現状維持ということで3.8m³/h程度を維持してゆこうと考えております。2号機につきましては、9月22日にCSからの流量を5m³/h増加させていますが順調に下がってきておりますが、未だ100℃以上のものもありますので、明日、CSからの注水量をさらに1m³/h増やして6m³/hにしたいと考えております。3号機ですけれども、同じく22日にFDW系からの注水量を絞ったところ全体の温度が概ね80℃台で安定しておりますのでこちらについても現状維持ということで当面推移を監視してゆきたいと思っております。

(安定化 C 所長) 2号機について1m³/h増やすということは現場とよく調整をして、実施していただきたいと思います。

(1F所長) 福島第一ですけれども、基本的に明日、流量を上げていただくことは全然問題なくて、あげていただいて結構ですが、これまでの台風ですとか水処理装置のSARRYが止まるとかあるわけで、そういう状況をみながら柔軟に対応してゆくことに

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

なりますので、あまり決めたからこれでゆく、というわけではなくて、状況を見ながらやってゆくという形でよろしくお願ひしたい。明日、流量を増やすことについては了解。(安定化C安全)我々もそのように考えておりますので、滞留水側とよく相談しながら直前までよく調整したうえで、判断したいと思っております。よろしくお願ひいたします。

(安定化 C 所長)その状況については明日の段階で結果を人身安全も含めて報告してもらいたいと思います。

(本店広報班)本日のプレス対応状況についてご報告します。本日は午前中11:00から11:40までですが、会見ということではなくて、日曜日ということでしたので事務方のプリーフィングということで40分間やっております。SARRYの停止に関しまして、昨夜の23:47でございますが、メールにて停止した状況については、中央並びに福島のマスコミの方にはお知らせをさせていただきました。従いまして午前中のプリーフィングでは、SARRYの停止状況についてのご質問、それと1号機の水素検出に関する今後の作業見通しについてのご質問を受けております。それから夕方ですが、18:00から■■■■本部長代理によります幹部会見を実施しております。ここでは先ほどお話ありました、SARRYが定常流量に到達したことも含めてご説明を進めております。それから今しがた保安院さんありました口頭指示につきましてもご紹介ということで進めたいと思います。本店広報班から以上ですが、先ほど、流量の変更についてのお話がありましたが、流量のその決定をする、ないしは実施をするお時間についてはいつ頃になるでしょうか。

(安定化C安全)明日の作業の今の予定ですけれども、作業方からは15時頃を目途に作業すると聞いております。

(2F)昨日連絡をしました、本日2号機のRHRをB系からA系に切り替えを完了しております。これの次の段階で明日1号機と2号機のRHRのB系に電源を供給している仮設ケーブルの電源をアイソレして移設をします。2号機につきましては、今夜、今待機中になっているRHRのB系を不待機状態にします。なお、2号機はRHRのA系それからCUW系での除熱を計画しています。それから1号機につきましては、A系がまだ復旧してませんので、明朝6:00にB系を停止した後、RHRが全停になります。再起動の予定は16:00で10時間の停止を予定しています。この間、CUWで冷却しますのでこの平衡温度に向かって炉水温度がゆっくり上昇してゆくことが評価されます。温度上昇率は2.4°C/hで10時間であれば結果として炉水温度が50°C程度まで上昇してゆくかと予測をしております。リスク管理をしながら慎重に工事を進めたいと思います。

(安定化 C 所長)慎重にお願いしたいと思います。

水素関係については、どういう作業予定かという話にも関心がありますが、いずれにしても水素計の調達とか段取りをちゃんとしたからでないかと着手できませんので、ま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ずはそちらの方の計画を少ししっかり練る、ということを進めることで、時間ありきで頑張るということよりは、むしろリスクをちゃんと評価することから詰めてゆきたいと思いますので、すぐに計画をきっちり出せるというところまで行かなくてもCCS系に関する段取りとかサンプリングとか詰めてますので、またご紹介できる状況になりましたら説明したいと思います。

これで全体会議を終了したいと思います。ご安全に

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/26(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C) 天候は比較的過ごしやすい気候であった。本日は PCV ガス管理システム準備工事や構内電源強化工事や集中遠隔監視システム工事等実施した。

(1F) 昨日は入講されている作業員がいつもの 1/3 程度であったが、今日は通常に戻っており 3000 人程度入講している。連休後の作業であり 3H による変化があることから注意していたが、怪我人が 1 名発生してしまった。トラックから鋼材の荷下ろし作業をしていた方だが、基本動作である重機の操作者との相互の確認ができていなかったことが原因である。

本日は熱中症の方はいなかった。

プラントは昨日伝えたように、今日の 15 時頃、2 号機の炉注水流量について CS からの流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 増やした。今後パラメータを監視していく。

水処理設備であるキュリオン、サリーは順調に運転を継続している。

(1F 発電班) 1 号機は給水系から $3.8\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っています。RPV 底部ヘッドで 78°C 、使用済燃料プールが 25°C 、D/W 圧力が 21kPagage で安定しています。2 号機は予定通り 15:05 から CS 系からの炉注流量を $1\text{m}^3/\text{h}$ 増やして、 $5.9\text{m}^3/\text{h}$ である。3 時間程度なので効果は確認できないが温度の低下傾向は継続している。給水系からは $3.8\text{m}^3/\text{h}$ で合わせて $9.7\text{m}^3/\text{h}$ で注水を行っています。RPV 底部ヘッド上部で 103°C 、使用済燃料プールは 27°C 、D/W 圧力は 9.7kPagage で推移しています。

3 号機は、CS 系から $7.9\text{m}^3/\text{h}$ 、給水系から $2.7\text{m}^3/\text{h}$ 、合わせて $10.6\text{m}^3/\text{h}$ で注水しています。22 日に給水系を $1\text{m}^3/\text{h}$ 減らしてから原子炉上部温度は低下しており、底部温度は安定している。RPV 下部ヘッドが 81.4°C 、RPV 底部ヘッド上部温度は 77.0°C です。使用済燃料プールが 26°C 、D/W 圧力が 0.2kPagage で安定しています。4 号機の使用済燃料プールは現在 33°C 、共用プールは 29.7°C です。

5、6 号機は冷温停止中である。本日 SHC モードを B 系から A 系に切り替えた。仮設停止前の原子炉水温度は 26°C であったが、切替後 35°C となり、 45°C になると予想している。

(1F1～4 号復旧班) 本日、SFP へは注水していない。明日、4 号機 SFP へヒドラジン注入する予定である。

2 号機立て坑から HTI 建屋へポンプ 1 台で移送をしており、3 号機立て坑からプロセス建屋へはポンプ 1 台で移送を継続している。

水位は 1 号機 T/B が 15mm 下降、2 号機 T/B が 2mm 上昇、トレンチが 3mm 上昇、3 号機 T/B が 1mm 下降、トレンチが変化なし、4 号機は変化なしである。プロセス建屋は 8mm 上昇し OP4572mm、HTI 建屋は 105mm 下降し OP2434mm である。

水処理設備は現在順調にキュリオンとサリーを運転している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

明日はキュリオンの監視用ソフト交換のため午前中停止をする。サリーは停止しない。

SFPの免震棟からの監視カメラ(カメラ?)を隣の部屋に移設する作業を実施するため、免震棟からの操作が出来なくなる。何かあったら現場に駆けつける体制を取って対応する。

(1F5~6号復旧班)5号機について仮設RHRSに切り替えている。明日から3日間弁を修理して29日に運転を再開したい。本日はメガフロートへの移送はしていない。仮設タンクへの移送は10時から16時に行った。明日は仮設タンク及びメガフロートへの移送はしない。

(1F土木班)GHエリアへのタンク設置は継続している。無人施工によるガラ撤去は4号機逆洗弁ピット周辺で実施し、コンテナ5個分回収した。本エリアはこれで終了した。明日は段取り変えのため休工とする。海関係では、透過防止工の設置工事として、袋詰め採石の投入を実施した。明日も実施し投下防止工の設置工事については終了となる見込み。5,6号機の港湾復旧工事として〇〇ブロックの設置を引き続き実施していく。

(1F建築班)1号機カバーリング工事として、クレーンの調整が終了した。明日は南側壁へパネル2面取付する予定である。3号機は南ヤードのガレキの移動、北側ダクト解体、ガレキの荷下ろしを実施した。4号機は継続してオペフロのガレキを搬出している。昼夜間共にガレキ運搬を実施している。スラッジ貯蔵施設については、基礎配筋を継続して実施している。

本日怪我人が発生したため概要を説明する。3号機のガレキ撤去のための路盤整備を実施していたが、トラックの荷台にH鋼が積載していたが、地面荷下ろしした際に、玉かけをしていた作業員がH鋼に左薬指を挟んでしまった。重機のオペレータと相互確認が不十分であった。敷地外の元請けの事務所に戻ったが、保安の方に負傷しているということで5,6号機医務室に向かうように指示されたことから、戻った時に全面マスクを外していたため、サージカルマスクで向かった。その結果最終的にサーベイ及びホールボディを受けたが異常なかった。これからは、怪我をした際は医務室へ直行するように徹底したい。

(安定化C放出抑制部)明日から実施する4号機ガレキ撤去に伴い、燃料プールにフロートを敷き詰め異物混入防止対策として9月27日~10月4日に設置する。原子炉建屋南側に設置する160tクレーンでフロートのブロックを5階までつり上げて、燃料プール内に設置する。

(本店広報班)本日は午前中11時から20分弱レクを行った。プラントパラメータや1Fのサーベイマップを配布した。また、本日の作業予定として、2号機のCSからの炉注水流量を増加させる件や、5号機RHRSポンプの切替作業を説明した。マスコミからは1号機PCV配管の水素検出について、2,3号機の測定予定や工程が遅れる

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

可能性について質問を受けた。午後は16:30から統合会見を実施しており、こちらはプラントパラメータや1F の環境モニタリング、怪我人の発生やその全面マスクの取外について説明した。本日14時から西沢社長から電力受給の統括会見を実施し、節電のご協力に対するお礼をした。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/27(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日作業にあられた皆様、現場を支えるために様々な業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日は秋晴れで気温も 22℃、作業には適切な 1 日だったかと思えます。怪我もなく、トラブルもなく、作業は予定通りの進捗です。1 号機のカバーリング工事では、2 台のクローラクレーンが本格的に稼働し、パネルの取り付け作業が行われたところです。4 号機では、オペフロのガラ撤去工事においてはプールにガレキが落下するのを防止するためのフロートを置く作業が始まったところです。また、所内電源強化工事、タンク設置工事、PCV ガス監理システムの準備工事等が行われたところです。詳細については 1F さんからご報告をお願いします。(1F 本部) お話しのあった通り、天気は良い 1 日でしたが、太陽光はまだ強く、外に出ると体感温度がかなり高くなる状況でした。おかげさまで本日も傷病者の発生はなく工事は進んでいます。トピックスを 2 つほど。1 点目は、申し訳なかったが、5 号機の T/B のクレーンの点検の関係で、減速機のオイルを抜いていたところ、オイルを受ける缶からオーバーフローして数%のオイルが出てしまったという状況でした。オイルの量の換算を誤ったということによって起きた事態ですが、現場の管理をきちんとやるということを再度徹底したい。もう 1 点、昨日から本日にかけ、保安調査の一環として、本省から山本検査課長他がお見えになり、主に被ばく関係の内容を確認頂いた。現場の管理としては、きちんとやっていると講評いただいたところです。保安調査自身は今週いっぱい続きますので、他の内容についても十分に対応していきたいと思っています。

(1F 発電班) 1 号機は、3.6m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドが 78.2℃、使用済燃料プールが 25℃、D/W 圧力は 21kPa gage で安定しています。2 号機は、CS 系から 6.0m³/h、給水系から 3.8m³/h、合わせて 9.8m³/h で注水しています。昨日 15 時に CS 系の流量を 1m³/h 増やしています。流量の増加後、RPV 底部ヘッドの温度は下がっており、100.5℃です。昨日の夕方から 2.5℃下がっています。引き続き継続して監視します。使用済燃料プールが 28℃、D/W 圧力が 8.8kPa gage です。3 号機は、CS 系から 8m³/h、給水系から 2.7m³/h、合わせて 10.7m³/h で注水しています。こちらも温度は下がっており、RPV 下部ヘッドが 79.9℃です。使用済燃料プールが 26.5℃、D/W 圧力が 0.2kPa gage、こちらは変わっていません。4 号機は使用済燃料プールは 35℃、共用プールの水温が 29.7℃で、共用プールの方はこれでほぼ落ち着いた状態です。5 号機については昨日、残留熱海水系の弁棒の取り替えのために、原子炉の冷却を RHR の B 系から A 系に切り替えています。A 系の方は冷却水が仮設の海水ポンプを使っているので流量が若干少なく、原子炉の水温が若干上がっています。現在 40.9℃ですので、42～43℃で落ち着くと考えていま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。6号機は原子炉、使用済燃料プールとも安定に冷却を継続しています。
(1F1~4号復旧班)水移送ですが、2号立坑からHTIへの移送、3号T/Bからプロセス建屋への移送は、いずれもポンプ1台で継続しています。水処理関係も、サリーは運転を1日継続していました。キュリオンはソフトウェアの交換のため、8:27から11:30まで停止しましたが、その後運転は再開しています。17時現在で、サリーのAが19.5m³/h、サリーのBが20.5m³/hで、サリー全体として40m³/h、キュリオンは19.3m³/h(85GPM)で運転しています。淡水化のRO2、3についても運転しています。本日、Hベッセル2塔を交換し、明日はキュリオン、サリーともベッセルの交換の予定はありません。水位は小康状態を保っています。2号は立坑、T/B変化なし、ないしは1mm程度の上昇で、高い方のT/Bで2840mmという状態です。3号についてはT/Bで2mm程度の下降、トレンチは変化ないということで、高いトレンチで3277mm.と低い状態です。4号も1mm程度の下降です。1号のR/Bは今朝から14mm下がり、5079mmです。受け入れ側のラドですが、プロセス建屋は25mm上昇し4618mm、HTIは69mm下降の2191mmという状況です。炉注関係の作業は本日なかったが、明日、高台の炉注ポンプのミニフローライン等の試運転並びに2号の流量計の取り替え作業があります。使用済燃料プール関係では、今日、4号にヒドラジン2m³を注入し、明日は2号で同様に2m³ヒドラジンを注入します。本日の高線量作業として大物搬入口のフラッシングヘッダの移動作業並びに、同じく2号のT/Bのスリーブ取り付け作業がありましたが、いずれも計画線量に比べて実績線量は大きく下回っている状況になっています。電源関係ではメタクラ1A~5.6号の連結の受電を本日実施し、明日もそれ関係の作業を継続します。また、明日、1号のCCS配管のH₂濃度の再測定が行われます。

(1F5~6号復旧班)明日の作業ですが、5.6号の滞留水関係ですが、T/Bから仮設タンクへの滞留水hの移送は10時から16時であります。仮設タンクからメガフロートについてはありません。6号のHPCS D/G室トレンチからT/Bへの移送は実施します。継続ですが、5号でRHRS B系のポンプの吐出弁の修理等を実施します。本日の作業で、5号T/Bオペフロで潤滑油の漏えいがありました。経緯は、11:05に当社の運転員が5号オペフロにパトロールに行った時に漏えいを確認しました。これはT/Bの天井クレーンの点検に伴い、減速機の潤滑油の油抜きを実施していたところで、オペフロ上でドラム缶に受けていた油の流入量が上回ってオーバーフローしたという事象です。漏えいについては2m×4mで8%程度と推定しています。原因は、減速機の潤滑油自体が全部で360%程度あるのですが、その時は3本目のドラム缶に入れており、既に200%以上入っていると認識していたために、もう大丈夫だということで現場を離れてしまったというのが原因です。実際には認識していたよりも少ない量しか入っておらず、200%以上もなく、3本目で潤滑油が出てしまったという状況です。対策については、天井クレーンの油抜きの実施については、思いこみで現

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

場を離れることは実施しないで監視員を配置し作業完了を確認するということと、十分な養生をするということを当社を含め、関係者に周知徹底することとしています。

(1F 土木班)タンクの工事については、G・H エリアで継続実施です。無人重機によるガラ撤去は、昨日まで 4 号の逆洗弁ピットでガラ撤去を行っており、本日は残りの後片づけを入れてガラコンテナを 3 個分撤去しています。明日から 1 号の開閉所付近に行き、引き続きガラ撤去を行う予定です。海の工事の関係では、1 号から 4 号の透過防止工設置工事ということで、鋼管矢板の両側に設置する袋詰砕石の設置を本日実施しています。明日も残りの袋詰砕石の設置を行い、予想では明日で透過防止工の設置工事を終了予定です。シルトフェンスの開閉は本日並びに明日ありません。5・6 号全面の消波ブロックの設置等を本日・明日、引き続き実施します。

(1F 建築班)1 号 R/B カバーリング工事ですが、本日、南側の壁パネル 1 枚を取り付けることができました。本日で 18 分の 9 枚、取り付けが終わっています。排気ダクトの据付も行っております。明日も継続して行います。壁パネルは南が 1 枚、東が 1 枚の 2 枚を予定しています。3 号機の R/B 上部ガレキ撤去工事ですが、南側ヤードの変圧器廻りの解体とガレキの片付け、T/B 側のダクトの解体と荷下ろしです。こちらも明日継続して行います。4 号機 R/B 上部ガレキ撤去工事ですが、本日、オペフロの使用済燃料プールのフロートの養生を実施しました。28 分割のうち 5 分割を実施しています。その他、南側の変圧器の撤去後の路盤整備を行っております。次に、滞留水関係で、スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、本日は明日行われるスラッジ棟の位置工区のコンクリート打設準備を行っております。明日、スラッジ棟の位置工区 400m³ コンクリートを打つ予定になっています。

(水処理 PJ) (書画説明)蒸発濃縮装置について、250t 規模のものを 3 台制作しております。蒸発濃縮装置は、淡水化装置 RO で濾した水をさらに蒸発させて淡水を作る装置であり、現時点ではアレバ・東芝の装置二つがインサービスしていますが、淡水がそれほど必要ないため、これはスタンバイ状態です。それに加えて 3ABC の運用開始を 10 月に予定しています。こちらで搾り取った淡水については、脱塩器を経て原始炉注水系ポンプへいきます。淡水をより絞り出して炉内注水量を増すことができます。

試運転のスケジュールについては、今のところオンスケであり、10月10日から運用開始です。本日は蒸発濃縮の試験の前の洗浄試験について、3Aのものが終了しています。来週以降、順序を追って試運転を行っていきます。工場試験について、水処理設備があるエリアのすぐ北側にあり大がかりな装置です。蒸発させるためのボイラ、それを受けるためのタンク類が非常に大きな設備となっています。濃縮水から受けた水を低濃縮装置それから高濃縮装置に受けまして蒸留水を作ります。

淡水処理量のイメージについて、キュリオン・サリーを通した水が SPT にたまり、そこからくみ上げて RO 膜を通りますが、その RO 膜の処理量が理論値で 1200t/日です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

この場合だと、480t/日がバツファタンクに供給でき、残りの 720t/日が蒸発濃縮装置 (750t/日処理できる) に流れ、そこからさらに水が搾り取られて、つごう 960t/日 (約 40t/h) の炉内への注水が可能となります。

(安定化 C ████████) 慎重に試運転を進めてください。

先週末から2, 3号機にて PCV ガス管理システム準備工事としてロボットによる調査を行っていますのでまとめて報告します。

(外部循環冷却 G) PCV ガスシステムを設置するエリアの線量等を確認するためにロボットを入れている。(書面説明) 2号機は、南東の二重扉からロボットを入れ、このような動線で中の確認を行っている。システムの方は、315° のこのあたりにガスを抽気するダクトを敷設する計画です。2号機の線量は大きくても 24mSv/h で、高線量ではあるが3号機に比べればワンオーダー低い状態です。これはクインスというロボットで見ましたが、翌日に JAEA のロボット (今回初お目見え) でこのあたりの γ 線分布を見えています。

24日にクインスを使って3号機の確認を行っています。北東の二重扉から入り、最終的には大物搬入口まで物の状況と線量を確認しています。ターゲットとしている PCV ガス抽出点は 135° 機器ハッチを考えていますが、高線量 (最大で 370mSv/h) が確認されています。そのほかに残材が確認されている。システムはここから抽気して最終的には二重扉から出す予定ですが、物の搬入ルートをおのうに予定しますのでロボットは逆行した形で状態を見えています。

動画を用意しているのでご覧ください。はじめに2号機で JAEA のロボットにより γ カメラで撮っている状況です。リモコンカーを少し大きくしたような自走式のカメラを搭載したロボットになります。ヘッドが動いている状況が見えると思いますが、これでファインダーをあわせて、対象となるところを撮影します。1カ所あたり6分位の撮影で数ショット撮っています。

次に3号機をご覧ください。松の廊下でちょうど入ったところです。右側に見えるのがロボットの正面、真ん中が後ろの映像になります。二重扉入ったところすぐの左側に資機材があり、CS に注入するこの辺に敷設したホースがあります。真ん中に四角い箱が見えるところが考えている機器ハッチあたりで、ガスを抽出するペネがあるあたりです。北側の HCU の前を通ったあたりです。このあたりに蛍光灯の傘のような物が見えます。さらに行くとも左側にフェンスが見えます。さらに行くともダクトが垂れ下がっているのが見えます。その先に黄色い丸い物、ドラム缶が北西側コーナーに横たわっています。曲がって大物搬入口に向かっており、このあたりは爆発の影響と思われる粉塵が廊下上に残っており、建築ガワ部隊にいろいろな物を撤去してもらっています。システムを入れる際にこのあたりに干渉するような機材があるため、これらを撤去した上でガス管理のための物を搬入することを考えています。

(安定化 C ████████) 今後の作業の見通しはいかがでしょうか？

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(外部循環冷却 G) 2号機の方は目途が付きましたが、3号機の方は遮蔽とか環境改善のための準備が必要と考える。

(安定化 C ■■■■■) 十分検討して安全な作業ができるよう段取りをしていきたい。続いて CCS 配管で水素が検出された件について報告します。

(外部循環冷却 G) (書画説明) 先日よりお騒がせしている1号機 CCS 系配管について、明日、高濃度の水素を測れる計器の準備ができたので、同様な形で配管内の水素濃度の確認を行います。ここが格納容器から出てくる隔離弁内側・外側があり、先日水素が確認されたのが外側弁からいって床から 1500 位のところにあるサンプリングラインの 46A の弁と、弁管のベントのところ、実際のベント弁自体は床に近いところにありますが、とっているガスの位置が一番高いところの状態の2カ所から検出されました。

手順としては、前回と同じく、12 弁(電動弁だが)を手動で開けて、この状態で 46A から水素の濃度を測ります。終わったらバルブを閉めて、84A から同様な形で水素濃度を測ることを考えています。ガスの方は、46A の例ですが、水素濃度計を先の方にホースをつなげ、流量計(流量を調整できる)を介して、N₂ で不活性な形にした状態で吸引ポンプにより引っ張り、最終的にはフロアで屋内に水素がたまらないようにして、中の状況を維持してサンプリングしたいと考えています。ここはすかし開けの状態ですが、46A のサンプリングが終われば 46A を閉めてホースを 84A につないで同様に水素濃度を測ろうと思います。今回用意している水素濃度計は、上限 75% まで測れますので、どのような値が出るか確認します。

今後の見通しについて、午前中に濃度計が到着しますので、段取り等をしまして、実際の計測は午後から夕方にかけて行いたいと考えます。

(安定化 C ■■■■■) 安全第一で慎重に作業を進めて頂きたい。もう1点、ご報告したいと思います。今、1号、2号、3号とも冷却が進んでいますが、冷却の方針についてご報告頂きます。

(原子炉安全評価 G) (書画説明) 今、示しているのが 2 号機のグラフになります。昨日、CS からの流量を 5m³/h から 6m³/h に増やして現在トータルで約 10m³/h で注入しています。ご覧の通り順調に温度が下がってきており、高い所で 100°C、RPV の下部であれば 90°C を目標にしていたのですが、概ね、RPV 下部温度が 90°C をちょっと上回る段階、高い所でも 100°C をほぼほぼ達成しつつある状態で、順調に温度が下がっていると考えています。こちらが 3 号機のトレンドグラフになります。22 日に給水の流量を 1m³/h 絞り、現在トータル 11m³/h で注水している状況です。絞った以降は、温度は約 80°C 程度で安定して推移しています。まあ、一部ベローシールの所は温度が高く維持していますが、注水を継続しているということで、だんだん下がっている状態と認識しています。以上のことから、2 号機と 3 号機の当面の方針ですが、2 号機については概ね 90°C、高い所で 100°C で、目標に対しては概ね達成したと評

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

働いています。まだ現時点ではゆっくりと温度は低下中なので、注水流量は現状を維持したまま傾向を監視していきたいと考えています。3号機ですが、トータル 11m³/h で現在注水中で、約 80℃で温度は安定しています。詳しくみると若干の低下傾向があるが、これは崩壊熱の低下等々に起因するものと考えています。ですので、当面、注水量の流量は変更せず、傾向監視を継続してまいります。3号機については従来より給水系からの注水量が若干減少し、時々それを補償する形で流量を少し増やすということを継続しており、現在も 2.7m³/h ぐらいと聞いていますが、これを 3m³/h に戻す操作はしないで、今の注水流量で維持しながら傾向監視を継続していきたいと考えています。

(安定化 C ■■■■■) 2号機で 10m³/h 弱、3号機で 11m³/h 弱、1号機が 3.6～3.8m³/h なので、全部合わせて 24～25m³/h で冷却を続けるわけですが、この 25m³/h の供給について、水処理側からはどうでしょうか？

(水処理 PJ) 先程ご説明しました、蒸発濃縮装置が 20t/h ぐらいの能力があり、それ以前の RO 装置とあわせ、トータルで最大性能としては 40t/h の注水が可能で設備ですので、注水量に応じて装置の稼働をコントロールしながら対応は可能と思っています。

(安定化 C ■■■■■) 了解しました。安定化センターからの報告は以上です。本店本部さん、ご報告ございましたらお願い致します。

(本店広報班) 本日は 11 時と 6 時、当社単独の会見です。午前中は、主にトピックスは 2 つで、1 つ目は 4 号機の使用済燃料プールの養生について、もう 1 つは本日報告徴収を受けており、1～3 号機の事故時運転操作手順書に係わる報告の徴収で、これまでマスキングをして出していたものを、改めて報告徴収を受け、マスキングをせずに保安院さんに提出するという事です。本件については、保安院には出すが、当社のスタンスは変わらないということで、もしも情報公開法に基づいて保安院さんが公開するとなった場合には、当社としての考え方を再度説明することとなります。マスキングをされて出ていくのかいかないかは、私どもが関与するものではなくなったということです。午後については、2号機、3号機 R/B のロボットによる雰囲気線量の調査等を説明する予定です。油漏れについても口頭説明する予定です。

(安定化 C ■■■■■) これで全体会議を終了します。お疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/28(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C █████) 本日、作業にあられた皆様、また、現場を支えるために各所で業務にあられた皆様、お疲れ様でした。本日も秋晴れのよい日でしたが、気温も20℃くらいで、作業には適した気候だったと思います。作業も大きなトラブルなく順調に進んでいます。今日の工事としまして、炉注ポンプのミニマムフローラインを付ける工事、海では透過防止工の工事が行われまして、これは本日竣工しています。また、1号機のガス管理システムの設置のための準備工事で配管の一部から水素が出てくるということが既に報告しているところですが、本日より詳細な水素の測定を行いましたので、後ほど報告します。

(1Fユニット所長) 本日は、天候は良かったですが気温はそれほど上がりませんでしたという状況でした。傷病者の発生はおかげさまでありませんでした。かなりの作業員の方が入って仕事をいただいている状況です。特記事項は、本日、福島労働局、富岡労基署の立入がありまして、被ばくの関係、遠隔操作の被ばく低減の状況について、水処理建屋、カバーリングについてのお立ち会いをいただきながら、ご確認をいただきました。

(1F発電班) 1号機は、3.8m³/hで注水を継続しています。RPV 底部ヘッドで78℃、使用済燃料プールが25℃、D/W 圧力は21kPa gage で安定しています。2号機は、CS 系から6.0m³/h、給水系から3.8m³/h、合わせて9.8m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドで99.4℃、昨日の夕方と比較して約1℃低下していますので、CS 系の流量増加の効果で温度低下が継続している状況です。使用済燃料プールが28℃、D/W 圧力が8.4kPa gage です。3号機は、CS 系から8.0m³/h、給水系から2.6m³/h、あわせて10.6m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが79℃で、非常にゆっくりの低下傾向ですが、ほぼ一定になったという状況です。使用済燃料プール水温が26.5℃、D/W 圧力が0.2kPa gage、こちらは変動ありません。4号機は使用済燃料プールは34℃です。共用プールのプール水温は29℃です。共用プールについては、昨日とほぼ変わっていませんので、安定領域まで冷えているということです。5号機は、原子炉の冷却をRHRのB系からA系に切り替えていまして、それに伴って原子炉の水温も上昇傾向でしたが、約41℃で安定した状態に入りました。6号機の方も、RHR系、FPC系で安定に冷却を継続しています。

(1F1～4号復旧班) 水移送ですが、2号からHTI建屋、3号Bからプロセス建屋への移送は、ポンプ1台で継続しています。水処理関係も、本日は運転を継続してまして、17時現在、SARRYのA系が19.3m³/h、B系が20.3m³/hで、合計39.6m³/hです。KURIONの方は、88GPM、20m³/hで運転をしています。ROの2、3についても運転を継続しています。本日、KURIONのAGHベッセルを2塔、今、ま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

さに交換中です。こちらは KURION 出口の放射能が上がったということでその対応です。明日は、H ベッセル2塔、ならびに SARRY ベッセル2塔の交換を予定しています。水位の方ですが、小康状態と申しますか、ほとんど変化のない状態が継続しています。2号は今朝より1mm 下がりました、高い方の T/B で 2839mm という状態です。3号については 2mm~4mm 程度下がってしまっていて、トレンチの方が 3273mm という状況です。1号の R/B は 15mm 下がりましたが、相変わらず OP5041mm と高いレベルですので、こちらが下がるまで、小康状態が続くものと考えます。受け入れ側のラドですが、プロセス建屋は 6mm 上がりまして 4633mm、HTI 建屋は 95mm 下がりました 1938mm という状況です。炉注関係ですが、本日は高台のミニフローラインのリークテスト、インサービスが行われましたと同時に 2号の流量計の取り替えを完了しています。SFP 関係では、2号のヒドラジン注入が 2m³ 行われまして、明日、3号のヒドラジン注入を 2m³ 行います。電源関係ですが本日、構内配電線の2号が復旧しました。明日、電源関係で1号の原子炉カバーリングの電源の受電が行われます。1号の CCS 配管で水素濃度の測定が行われまして、明日、パージおよび切断が行われます。こちらは水素の対策、パージならびに汚染、被ばくの方、十分注意したいと思えます。

(1F5~6号復旧班)明日の作業ですが、5、6号の滞留水関係ですが、T/B から仮設タンクへの滞留水の移送は、本日同様 10時から 16時であります。仮設タンクからメガフロート、6号の HPCS D/G 室トレンチから T/B については移送ありません。5号で RHRS の B 系のポンプの吐出弁の修理等ですが、明日、弁の組み立てをやって 30日にリークテストの予定です。

(1F 土木班)本日、タンク設置工事ですが、G エリア、H エリア、継続実施です。無人によるガラ撤去ですが、本日から 1,2号開閉所に移動しています。移動して実施しています。コンテナの実績は 0 個になります。海工事関係では、北護岸のテトラポットの据え付けは本日、明日ともに継続実施になります。1~4号の透過防止工の設置工事ですが、本日、鋼管矢板ならびに周辺の袋詰めの採石を完了しまして、本日で工事完了となります。明日は、船の搬出でシルトフェンスの開閉を 9:30~10:50 の予定で行いたいと思えます。今回は本工事で設定しました鋼管矢板につきましては、東京電力の東通建設所から運搬した鋼管を再利用して実施しています。

(1F 建築班)1号機 R/B カバーリング工事ですが、本日は、南側パネル 1 枚の取り付けを完了しています。明日は、東側2枚のパネルを取付予定です。3号機の R/B 上部ガレキ撤去工事ですが、本日は、南側ヤードで変圧器廻りの解体、ガレキの片付け、北側ヤードでダクトの解体とガレキを地上へ降ろす作業、明日も継続作業になります。4号機 R/B 上部ガレキ撤去工事ですが、本日は、主排気ダクトの解体、メーカーさんによりまして、燃料プールのフロート養生作業ということで、27ブロック中 19ブロックの敷設を完了しています。明日は主排気ダクトの解体作業を継続、燃料

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

プールのプロト養生作業、継続作業になります。スラッジ貯蔵施設ですが、本日はスラッジ棟において、1工区のコンクリート打設 400m³ の打設を完了しています。設備塔では、基礎背筋作業、明日は、スラッジ棟で2工区のコンクリート打設、設備塔で基礎背筋作業、継続作業になります。

(1F ユニット所長)本日午前中に、電事連の八木会長以下の皆さんにご視察いただいて、所員に向けて多大なる訓辞をいただきました。

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明) CCS 系の方で、先週、水素濃度が高いのが検知されましたので、今回、あらためて高濃度の水素が計れる検知器を用意しまして再度測定しています。同様のライン構成で 46A と 84A の方、計測しました。結果は、46A の方で 63%、この際、合わせて水素濃度計のチューブを外して、ここに吸引式の酸素濃度計で計った値を書いています。0%でした。その後、チューブをこちら側に付け替えをしまして、84A の方の濃度測定を行ったところ、61.7%と、ほぼ同様の高濃度が確認されています。こちらは、酸素濃度の測定は実施していません。しななかった経緯ですが、水素だけを測定しているときは建屋の中に水素が滞留しないように流量計で引っ張って屋外に開放していますが、酸素濃度計で計測する際は、吸引装置がなく、計測器を近づけて吸い取ります。この際、高濃度の水素は、建屋の中にある程度、滞留するリスクがありますので、ベント側については同様のリスクを回避したいと、合わせて特異的事象として、こちらの方が高さ的に高いところがありまして、一般的には酸素は水素より重い物質ですので、こちらで 0%であればこちらもほとんど溜っていないというふうに考えて、こちら側の計測は今回見送っています。ほぼこちらについても酸素濃度は 0%と判断しています。この状況を受けまして、明日以後、中の高濃度の水素をパージ、追い出したいと考えています。ライン構成については、こちらとこちらで水素が検出されましたが、12 弁を蓋をしまして、46A よりまた下にラインがあります。こちらから窒素を封入してこの中の管の水素を追い出してやろうと考えています。ファンネルの部分には防爆タイプのプロアを設置しまして、押し出した水素とこの周辺にある大気を合わせてヤードに放出というふうに考えています。プロアを回して、94 の方から窒素を約 7m³ 入れていきます。ゆっくりゆっくり入れる形になります。最終的にその状態が終わった後、内部流体の濃度測定、2箇所と同様に水素の測定を行います。1%未満であることを判定として考えています。その後、一旦終わった後、30分放置して、再度、他の部分からの漏れ込みがないことを確認するために、計測を行って、この際も 1%以下であることを確認を行う予定です。ここまでできましたら、シリーズで明日、管の切断まで入りたいと考えています。切断箇所はサンプリングライン 46A を挟んで上、下2箇所になります。下側から切ろうと考えています。切る手順ですが、先程のパージラインを活用しながら切断を考えています。N₂ をパージ、流しながら切断する作業で考えています。切断による水素爆発の危険性ということが懸念されますが、3つを考えて発生がないと考えています。ま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ず一つめは、窒素封入で置換していますので、水素の燃焼の可能性がありますが可燃限界以下、4%以下であることを確認しています。合わせて、切断時に常時下側から N₂ を封入させて、不活性の環境の形成を実施しています。更に、切断に使用する開先加工機がありますが、(聞き取れず)、火花がでないような構造になっています。円形のを配管に抱かしてバイトが中にぬくぬく出てきて、回転しながら外側をめぐりながら切断するような構造です。火花が出るようなものではありません。以上な状況でありますので、濃度をしっかり管理しながら切断作業に入れば、切断による水素爆発の可能性はないと考えています。

(安定化 C ■■■■) 水素が 63%ということでしたが、残りの 30 数パーセントは何なのでしょうか？

(安定化 C 外部循環冷却 G) 直接測定は難しいですが、格納容器内の雰囲気等を考えれば、窒素が残り、リッチな状態であると考えています。

(安定化 C ■■■■) 格納容器内がほぼ窒素雰囲気なので、そこから 11 弁のシートパスで窒素が入っているよりは…。

(安定化 C 外部循環冷却 G) 水蒸気と窒素がほとんどでして、水蒸気分についてはたぶんドレン化して入ってきますが、水抜きはほぼ終わっていますので、不活性である窒素ではないかと思っています。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 水処理の週報を本日公表していますので報告します。先週から1週間分の水処理ということで、1号機から4号機の滞留水の貯蔵状況ということで、81930m³ ということで、前回報告に比べまして、各号機ともプラスに転じています。こちらは、先週、台風がきたということで、流入量があったということで各号機ともにプラスに転じている状況です。移送先になります、プロセス主建屋、HTI 建屋ですが、一週間分、今現在で 19580m³ ということです。水処理装置の性能ですが、Cs-134 で KURION を通しての性能は 2.7×10^4 、Cs-137 も同じような状況です。括弧書きの方ですが、除染性能、DF ですが、第二セシウム吸着装置、SARRY ですが、 1.7×10^5 、Cs-137 でも同様、 10^5 以上の性能が出ている状況です。淡水化装置ですが、入口が 5200ppm、出口が 20ppm で、滞留水、淡水装置それぞれ所定の性能を発揮できていると考えています。発生した淡水については、原子炉注水に使用しているのが 3980m³、今までの累積でいきますと、34106m³ 使用している状況です。淡水が今、余っているということで蒸発濃縮装置は止めていますが、淡水は 8370m³ 程、貯蔵されている状況でして、原子炉側への注水は十分な水を保有している状況です。

(安定化 C 施設基盤部) (書画で説明) 明後日、30 日の金曜日ですが、電源の増設に伴いまして、3号の SFP が3時間ほど停止しますので説明します。概要ですが、今後のカバーリング用電源の負荷増加の対応としまして、変圧器盤を増設します。具体的には、仮設の3、4号 M/C A にぶら下がっています No.6 の変圧器盤に追加の

(非管理メモ)

本資料は、本部門卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

変圧器盤を設置して、今後の1号等のカバーリング用電源として供給するというものです。停止は、明後日、金曜日の15時から18時の3時間を予定しています。3時間停止に伴う温度上昇の評価ですが、約1℃程度ということで想定してまして、本日現在のプールの温度が26.4℃となっていますので、管理値の65℃に対して十分余裕のある数字となっています。No.6の変圧器盤の負荷としましては、3号のSFPの他に3号のカバーリングの工専用電源として使用していますが、こちらの方は関係者と調整済みとなっています。関係者の皆様のご協力をよろしくお願いします。

(本店広報班)本日の中央マスコミへの説明状況です。午前中は11時から、午後は6時30分から説明をしています。午前中は、CCS配管の水素の測定、準備状況についての質問が多く寄せられていました。後は、原子炉压力容器の温度が、2号機は特に大きく動いていなくて、CS系が寄与したのか、水の量が寄与したのか、そうふうなことを伝えています。午後については、水素の測定の結果、あるいは、2、3号機へロボットが入って現場を見たという動画を紹介します。水処理関係の週報が内容となっています。

(2F ■■■)福島第二ならびに安定化Cにも電事連八木会長にお越しいたきまして所員に対してご訓辞をいただいています。また、午後からは福島労働局、ならびにいわき労働基準監督署によります立入調査を受けています。被災状況、設備の復旧状況、放射線管理、被ばく管理、医療体制をご確認いただきました。復旧作業に関しましては、設備の状況を見極めて慎重に進めるようにというコメントをいただいています。

(安定化C ■■■)これで統合本部全体会議を終了します。本日はお疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/29(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 気候的には大分安定した状態が続いていますし、暑い時期も過ぎていると思いますが、工事量としてはかなりの物量をこなしているという状況です。本日は、水処理関係でトラブルが2件ありまして、後ほど説明しますが、一つは、RO の接続部からの水漏れということで RO の2を停止しています。もう一つは、蒸発濃縮装置の下流側にあります濃縮廃液設備の洗浄も含めた処理をしているときに、水を被りまして、汚染が発生したということで、対応せざるを得ないという状況になっています。作業管理としまして、装備はそれなりの装備をしていたと聞いていますが、予期せぬ水被りがありました。計画をし、現場でもしっかりとした作業管理をするということですが、そういうリスクがあるということは常に考えなければならないということです。WBC を受けましたが、記録レベル以下ということでありましたが、結果としてはそういうことでありましたが、今後、作業管理には万全を期していく必要があるかと思えます。

(1Fユニット所長) 気候はかなり過ごしやすい状況になってきました。本日は、熱中症、けが人の発生はありませんでしたが、作業の中で一部、顔にかかるという状況で内部取り込みのヒヤリハットがあったということですので、現場の方で十分に管理ができるようにしていきたいと思っています。先般、台風が来たときにいろいろと発電所の中で課題がありましたが、現在、例えばカメラの伝送系については鋭意対応していただいています。所長以下で現場に行って T/B でかなりの水漏れがあるということに関して、本日、建築さんの方で、自営で3、4号機 T/B のルーフトレンの修理をやっていただきました。作業の方、進めていただいてありがとうございます。

(1F 発電班) 1号機は、3.8m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドが 77.6℃、使用済燃料プール水が 25℃、D/W 圧力は 21kPa gage で安定しています。2号機は、CS 系から 6.0m³/h、給水系から 3.8m³/h、合わせて 9.8m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッド上部で 99.4℃で、昨日の夕方と同じ値です。使用済燃料プールが 28℃、D/W 圧力は 9.1kPa gage です。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.6m³/h、あわせて 10.6m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが 78.6℃で、こちらも昨日夕方とほぼ同じ値です。使用済燃料プールは 27℃、D/W 圧力が 0.2kPa gage です。3号機の使用済み燃料プールの冷却系については、明日、電源の繋ぎ込みの工事のために、15時から18時で停止を予定しています。停止中のプール水温は1時間あたり 0.3℃上昇するものと評価していきまして、水温の上昇は極小さいものと考えています。4号機は、使用済燃料プールの温度は 35℃、共用プールのプール水温は 30℃、5,6号機は、原子炉、使用済み燃料プールとも安定に冷却されて、パラメータは大きな変動はありません。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(1F1~4号復旧班)水移送ですが、2号からHTI建屋、3号からプロセス建屋、ポンプ1台ずつで継続です。明日、3号の移送先をHTI建屋に変更する予定です。水処理関係は、SARRYはベッセル2塔を交換ということで、本日8:52から16:47まで実施していましたが、16:49 20m³/h×2ということで安定流量に復帰しています。KURIONはHベッセル2塔の交換がありましたが、装置の停止はありませんでした。ROの2の更にスキッドの2の接続部で水漏れがありまして、ROの2を停止していますが、その後、RO2についてはスキッド1を再起動してまして、RO3ともにROとしましては50m³/hで処理中です。水位関係はバランス状態が継続してまして、2号は、今朝より2mmから3mmの下降です。高い方のT/BでOP2835mmという状態です。3号についても2mm程度の下降で、高い方のトレンチでOP3267mmという状況です。1号機のR/Bは今朝から77mmと大きく下降してましてOP4907mmという状況です。受け入れ側のプロセスならびにHTIですが、プロセス建屋は4mm上昇しまして4642mm、HTI建屋は169mm上昇しまして1949mmになります。こちらはSARRYの停止が影響しています。本日、炉注の関係は特にありません。明日もありません。SFPは、3号のヒドラジン注入を2m³行なっています。明日は特にありません。1号のCCS配管、本日パージ、ならびに切断を予定されていましたが延期されまして、明日もこの作業はありません。電源関係で、本日、1号カバーリング装置の受電を行っています。明日は、滞留水回収装置のうち、蒸発濃縮トランス盤の受電が予定されています。

(1F5~6号復旧班)滞留水関係ですが、本日、T/Bから仮設タンクへの滞留水の移送を行っています。10時から16時でした。明日も同時刻で送ります。明日、仮設タンクからメガフロート、6号のHPCS D/G室トレンチからT/Bへの移送はありません。5号で、RHRS B系のポンプの吐出弁の修理が、今日、弁の組み込みが終わりまして、明日リークチェックを行います。

(1F土木班)高濃度のタンクの方、タンク間の埋め戻し、ROのタンクはタンクの組み立て、継続になっています。セシウム吸着塔一時保管ヤードですが、G'、こちらは周辺の整備の方、継続になっています。ガラ撤去ですが、1,2号の開閉所付近を実施してまして、本日7個のコンテナ、明日も同じ場所を実施します。集塵機の方は、厚生棟、駐車場、今回実施していましたが作業を終了しまして、明日は、機械のメンテを行います。1~4号の取水路関係の止水工事ですが、透過防止工の工事ですが、本日、(聞き取れず)内に、作業が終了しまして置いてありました船を出向しまして、シルトフェンスの開閉を実施しました。

(1F建築班)カバーリング関係ですが、1号カバー関係、本日、順調にパネルの取り付けをしまして、南面および東面、各2枚、計4枚のパネルの取り付けが完了しています。物揚場の方で資材の移動、ダクトケーブルの設置を行っています。明日、パネルの取り付けはお休みで、物揚場の片づけ、PCウェイトの設置を予定しています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

3号機ガラ撤去関係ですが、南側ヤードで変圧器廻りの解体、ガレキの片付け、北側ヤードでダクトの解体、ガラ降ろし、鉄板敷き、採石棟の路盤整備、2号海側地組ヤードで小建屋の解体を行っています。4号機ガレキ撤去関係は、主排気ダクトの解体、南西キュービクル廻りの瓦礫の片づけを行っています。スラッジ貯蔵施設ですが、スラッジ棟、基礎背筋に加え、昨日に引き続き本日も基礎コンクリートの打設、6分割中の2分割目の打設を完了しています。明日は、明後日のコンクリート打設に向けて、清掃、背筋作業を行います。設備棟は、継続で基礎背筋を実施しています。瓦礫収集運搬は、昼間は継続で夜間走路の照明の給油、4号機関係の瓦礫の運搬、運搬については中ダンプを利用して3号機の瓦礫を積み込み、運搬を実施します。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 今日発生したのは、SARRY、KURION で水処理をした後の水を更に処理する装置、淡水化装置と言っていますが、こちらの装置で発生した事例です。水処理のプロセスとしましては、KURION、SARRY で処理した水を淡水化装置、RO で塩分を除去して、また RO に戻してあげるといったシステムになっています。RO 装置で出てきた廃液をエバポレータ、蒸発濃縮装置の方に通して、再度、廃液と淡水に分けるシステム構成になっていて、今日、水を被ってしまったのは、この蒸発濃縮装置で、ここから出てくる廃液、こちらは一旦、濃縮水タンクで受けて、最終的には貯槽に溜めるようになっていますが、濃縮水タンクの方が炭酸カルシウムという物質が溜まってくるので、中を清掃するというので、この中の水抜きをして、こちらの貯槽にパワープロペスターというトラックで、廃液を移送する最中に起きた事象です。実際にタンクの方に、濃縮廃液貯槽に移す際に、トラックで廃液を移送してあげて、この作業が終わったということで、このホースを洗浄するために別のトラックに繋ぎ変えて、そのホースを洗浄する作業をしていました。作業は、こちらから取り外してこちらの方に繋ぎ変えをするということで、ホースの方には閉止キャップを取り付けて、こちらに取り付ける作業をしています。こちらは高低差があります。ある程度ヘッドがあるところで、閉止キャップを外して作業をしていましたが、この際、中に溜まっている水、ヘッド差分がありますので、水がホースから吹き出て作業員の方に吹きかかったという事象です。作業員の方の装備ですが、全面マスクを取り付けて、タイベックの上には防水スーツ、手袋はゴム手袋を三重で作業をしていましたが、水を被ってしまったということで、確認したところ、口のまわりに 500cpm の汚染があったということで、WBC を受けていただいて、記録レベル未満であることを確認しています。おそらく、全面マスクを取り外す際にマスク外面の汚染が口元に付着してしまったものと考えています。もう一点ですが、淡水化装置、全部で 3機ありまして、そのうちの 2番目の装置の廃液を出すホースのつなぎ目から漏洩が確認されています。入口側からポンプを介してスキッド 1, 2に入れて、淡水にするものと廃液を受けるものというかたちで処理を行います。装置自身は蛇腹ハウスという

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

テントみたいな中に入れてありますが、蛇腹ハウスの中にスキッドが全部で4個入っている状態で、本日、漏洩が確認されたのがスキッド2番というものです。ホースの継ぎ手の部分から漏洩が発生したということで、現場パトロールしています委託の捜査員の方が、現場をパトロールした際に漏れていることを確認しまして、10:20 に漏洩を確認して 10:40 頃に停止して漏洩を停止しています。蛇腹ハウスの中には堰が設置されていて、水は堰の中に留まっています、大体漏れた量としては3リットル程度ということです。こちらについては、明日以降、残水処理をした上で、当該部分の修理を行いたいと考えています。淡水化装置については、スキッド1, 2と2つありますので、スキッド(聞き取れず)は大丈夫ということで、本日 11:40 にスキッド1を起動しています。

(安定化 C 滞留水移送 G)シミュレーションを使いまして今後の予定を説明します。現在は、3号機からプロセス建屋にポンプ1台で、2号機の T/B から HTI 建屋にポンプ1台で送っている状況です。現在の水位としましては、3号機は 3000 を少し越えているところ、2号機は 2800 を少し越えているところです。先日の台風の影響で 9/21 ~9/2 にかけて約 100mm 上昇してしまっていて、その影響を解消するために、2号はポンプを2台、3日ほど動かしまして水位を下げた状況に至っています。その後、ポンプ1台ずつで水位は安定している状況です。今後は、現在、1台で HTI 建屋に2号から送っている状況で、移送量に比べて水処理量が上回っているため HTI 建屋の水位が下がっている状況です。そこで、明日、3号、現在、プロセス建屋に送っていますが、これを HTI 建屋に送ることにして、3号と2号から HTI 建屋に送るということで、一度、HTI 建屋の水位を上げる操作をしたいと思います。また、10/3 にサイトバンカからプロセス建屋に移送の操作、ならびに 10/3~10/8 まで約6日間になりますが、3号機の H/W の水抜きを行いたいと思います。3号機の H/W の水を抜きまして T/B 送るということを行います。水位としましては約 100mm 程度上昇する予定です。続いて、火曜日、10/4~10/5 にかけて、2日間になりますが、2号機のポンプの追設を行う予定です。それに伴いましてホースの繋ぎ込みを行いますので、10/4~10/5 の2日間、ポンプの移送を停止しまして、ポンプの繋ぎ込みを実施します。その関係で約 100mm 上昇します。それぞれ 100mm 上昇しますが、約 3000 を維持すると、水位は安定した状態となっています。

(安定化 C 所長)1号機の格納容器のガス管理システムの方では、水素関係で昨日工事の段取りをお話したということですが、なお、水素の話ですので、念には念を入れるということで、非常に細かいところまでの手順のチェックとか、燃焼防止の観点からもう少しできないかという検討をしてもらっていますので、しばらく時間を社内的に検討したいということで進めています。

(本店広報班)本日の中央マスコミへの説明状況です。本日は、午前中は 11 時、午後は 6 時からということで、それぞれ当社単独の会見です。午前中は、1号機の CCS

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

配管の窒素パージが延期になりましたということ、今日の朝刊各紙にありましたが、1～3号の冷温停止が 100℃を切って一步冷温停止に近づきましたということで、これに関する質問が中心でした。午後については、鋼管矢板設置完了の写真の紹介ですとか、1F、2Fの免震重要棟に設置してました地震計の観測状況、これを研究機関に無償で提供して有効利用してもらおうというニュースをしています。中身的には免震重要棟に設置したデータを見ますと十分に免震装置の効果が測定されたという内容が中心となっています。

(オフサイトセンター)今、住民の方の二巡目の一時立ち入りをしていまして、この開始にあたりまして、20km 圏内の車両の安全運転をお願いしていますが、それに関して具体的なお願いです。お願いは、道の駅 楢葉がありますが、この出入口周辺で車両の運行スピードを落としていただきたいというお願いです。今、道の駅 楢葉をスクリーニング解除に使っていまして、現時点で1日200台くらいマイカーで入っています。これがどんどん増えて400台くらいになりますが、住民の方の車が出入りする際に、全面の国道を通る車両のスピードが早いので、危ない場合があるという話が出ています。たぶん、車両は制限スピードで走っていると思いますが、制限スピード、たぶん 50km 位だと思えますが、これで走りますと老人の方もいらっしゃいますので出入りする場合は危ない場合が考えられますので、出入口周辺では極力スピードを落としていただきたい、制限スピード以下に落としていただきたいということです。住民の方が出入りする際には交通誘導員の方が立っていますので、交通誘導員の方を見たら制限スピード以下に極力スピードを落とすということを是非、徹底していただきたいと思えます。

(安定化 C 所長)本件については、1F、2F、安定化 C とも関連する場所ですので、J ヴィレッジで仕事をされる方もそうですが、道の駅 楢葉で二巡目の一時帰宅ということで、マイカーでかなりの数が今後入ってくるということです。徹底の仕方はまた、各発電所、安定化 C で考えますが、ここで聞いておられる方、是非、今の話についてご留意いただいて安全運転、減速について努めていただくということでよろしくお願います。企業さんにもいろいろな形お願いしたいと思えます。これで統合本部全体会議を終了します。本日はお疲れ様でした。ご安全に。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<9/30(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C)本日は過ごしやすい天候でケガ等もなかった。一方、本日はキュリオンの停止があった。詳細は後ほど。

(1F 所長)本日は曇りでかなり気温が下がってきた。ケガ等は無かったが風邪等今後は気をつけなくてはならないと思う。

(1F 発電班)1号機は、3.7m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッドが 77.9℃、使用済燃料プール水が 26℃、D/W 圧力は 21kPa gage で安定しています。2号機は、CS 系から 6.0m³/h、給水系から 3.8m³/h、合わせて 9.8m³/h で注水しています。RPV 底部ヘッド上部で 99.3℃、使用済燃料プールが 29℃、D/W 圧力は 10.7kPa gage で概ね安定している。3号機は、CS 系から 8.0m³/h、給水系から 2.5m³/h、あわせて 10.5m³/h で注水しています。RPV 下部ヘッドが 78.5℃で昨日の報告と同じ。D/W 圧力は 0.2kPa。3号機の使用済燃料プール冷却系は電源の繋ぎ込み工事のために本日 15時から停止している。停止前の温度は 27.5℃、18時現在は復旧の作業をしているところで温度の上昇の幅は非常に小さい。4号機は、使用済燃料プールの温度は 36℃、共用プールのプール水温は 30℃で変化なし。5,6号機は、5号機の SDC、26日から A で運転していたが、本日 B ポンプに切り替えた。4日間は仮設 RHRS ポンプで容量が小さかったが、炉水温度が 42℃くらいで安定していたが、本日 26℃まで低下。6号機は FPC の F/D をインサービスしている。建屋内の環境改善として、水質の向上に寄与すると思う。

(1F1～4号復旧班)水移送ですが、3号の移送先を変更した。9:46にポンプを一旦停止して、10:00に移送先をプロセス建屋から HTI に変更し移送を再開した。2号機の HTI への移送は継続している。水処理関係は、SARRY は運転継続している。17:00現在で 20m³/h で A/B 系運転している。KURION は前段にある油分離装置の処理水移送ポンプ A が過負荷トリップして、14:19にシステムが停止し 17:38に再起動して 17:50に流量 20m³/h で安定となっている。RO については、RO の 2、RO の 3が運転している。このうち RO の 2-2 については昨日の水漏れの対策をうって、11:27に再起動を掛けている。処理量は 75m³/h。水位関係は若干の減少傾向となっていて、16時現在で 2号は、今朝より 3～4mm の下降、高い方の T/B で OP2850mm という状態です。3号についても 2～4mm 程度の下降で、高い方のトレンチで OP3263mm という状況です。1号機の R/B は今朝から 52mm と大きく下降して OP4759mm という状況です。受け入れ側のラドですが、プロセス建屋は 22mm 下降して 4627mm、HTI 建屋は 8mm 上昇しまして 1824mm になります。その他の作業として電源関係で、滞留水回収装置の蒸気濃縮装置トランス盤の受電は午前中に完了。1号機カバーリングの電源の増設作業は 3号機の SFP 冷却が停止

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

しているが、こちらはもうすぐ作業完了しまでもなく復電予定。計装関係で、緊対室にある集中関係システムの構築が本日完了した。

(1F5~6号復旧班) 滞留水関係ですが、本日、T/B から仮設タンクへの滞留水の移送を行っています。10時から16時でした。明日は移送なし。5号機のRHRS(B)のポンプ吐出弁の修理を実施、L/Cを行い完了。

(1F 土木班) 高濃度のタンクの方、Gヤードでタンク間の埋め戻し、RO はHヤードでタンクはタンクの組み立て。セシウム吸着塔一時保管ヤードですが、Gヤードで設置で継続。ガラ撤去ですが、1,2号の開閉所付近を実施していき、本日3個のコンテナ実施。集塵機の方は、本日メンテナンス、明日からTb海側のOP10縁盤の方に入っていく。海関係では、本日テトラポットの据え付けは中止。明日は設置する予定。

(1F 建築班) 1号機カバーリング関係ですが、本日 PC ウェイトの設置、物場場の整備。明日は西面壁パネルの取り付け、パネルの海上輸送を予定。3号機ガラ撤去関係ですが、南側ヤードで変圧器廻りの解体、ガレキの片付け、北側ヤードで鉄板敷き、採石棟。地組ヤードで小建屋の解体を行って明日も継続。4号機ガラ撤去関係は、南側ヤードでガレキの小割り、片付け、明日は南側ヤードで採石鉄板敷き、H鋼の設置を行う。ガレキ運搬は本日日中に4号機のガレキを運搬、明日も継続。夜間の運搬作業は本日明日となし。スラッジ貯蔵施設ですが、スラッジ棟である3回目の基礎コンクリートの打設を予定。本日はその打設前検査。設備棟は基礎配筋の打設を継続している。

(1F所長) 集塵機の性能が出たので書面で簡単に説明したい。

(1F土木) (書面参照) 集塵機については災害復旧の中でガレキ撤去の一環として考案したもの。4つの車が一つのシステムになっている。吸引は子どもの拳大ほどのガレキの集塵ができる。試験をこれまで実施してきた。2~3号機の間レイダウエリア、事務本館前の低線量エリア、2号機のR/B大物搬入口。まずは4円盤の集塵の様子。集塵によって、mSv/hで約40%位の低減となった。低線量のエリアについて事務本館前においては、アスファルト、水たまり部については30%位、草地については50%位の低減となった。2号機の大物搬入口前の高線量ガラについても、この集塵機で回収して、線量の低減を図った。試験を実施して一定の効果があることが確認出来たので、今後活用を図って行きたい。

(1F所長) こういった集塵機が周辺監視区域外、避難区域で活用できるかもしれないという情報でした。

(保安班) モニタリングカーについては、エンジンがダメになり、外部コンセントによりモニタリングについては問題なく測定できているが、動けなくなっていることから、エンジンの積み替え等を行っている。MPが故障した際のバックアップとして業務車に機材を一式積んで対応できる状態になっている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(水処理 T) (書画) 本日のキュリオンの停止に関する報告について。14:19に処理装置全体が停止した事象は、油分離装置の下にある移送ポンプAが過負荷でトリップした。なおサリーは継続運転している。B系ポンプに切り替え、17:38に再起動している。系統の上流側であり線量が高いことから線量を考慮して調査を今後行うが、先ほど簡単に確認したところ、電動機の巻き線抵抗が少し小さめになっていること、またアース間の抵抗は大きい、つまり地絡は発生していない状況になっている。巻き線抵抗が通常時の半分くらいになっている。

(安定化C) まだ原因の追及は出来ていないが、トリップした方のポンプは高線量だが、何れキュリオンが停止してサリーだけの運転になるような状況を作って、しっかり点検を行うこととなると思う。

(広報班) 本日の広報対応は、AMは11時から20分強のレク。内容はライブカメラの一時パスワード設定の経緯、1号機の水素に関する抜き取り作業の進捗予定、2, 3号機の予定など。午後の案件は、緊急時に従事した線量評価状況の報告、8月までのデータを報告。合わせて連絡が取れない方が20名まで減っていることの説明。またキュリオンの停止について説明を実施している。

(保安班) 厚労省への報告の概要について。従事者の推移、内部被ばくにほとんど変更がない、という状況。また6月以降はほとんど内部被ばくがない状況について。また連絡が取れない方々は前回60名程度いたが、今回20名となった。今月で閉めを目指したが、まだ1ヶ月ほど企業様に協力頂き調査を継続する。

～全体会議終了～

以上